

# 鹿沼歯科醫師會史

創立90周年記念

一般社団法人 鹿沼歯科醫師会

# 倭人傳

倭人在帶方東南大海之中依山島爲國邑舊百餘國漢時有朝見者今使譯所通三十國從郡至倭循海岸水行歷韓國乍南乍東到其北岸狗邪韓國七千餘里始度一海千餘里至對海國其大能惑衆持兵猝得之則財物無窮國自爲王國皆倭種又有侏儒國在其南人長二四尺去女王四千餘里又有裸國黑齒國復在其東南船行一年可至參謂倭地絕在海中洲島之上或絕或連周旋可五年餘里景初二年六月倭女王遣大夫難升米

# 鹿沼齒科醫師會史

國自爲王



平成26年度 鹿沼歯科医師会 臨時総会 平成27年3月28日



## 発刊の辞

一般社団法人 鹿沼歯科医師会  
会長 佐川 徹三

この度、鹿沼歯科医師会90周年記念誌を発刊するにあたり、会を代表して一言ご挨拶を申し上げます。尚、5年前に上都賀歯科医師会史「創立85周年記念」を上梓させて戴きましたが、正に光陰矢の如しの例えの通り、過ぎ去りし時の流れは実に早いもので、かつ現代のように情報化が進捗している中にあっては、その間に起こった事象の膨大さに圧倒されそうな気も致します。そして何よりも、驚きと同時に非常に不安な気持ちに苛まれたのは、平成23年3月11日に発生した東日本大震災でした。被害の甚大さと原発事故等による長期節電では、この先どうなってしまうのだろうと誰もが思った筈です。また放射能問題で、福島県飯館村等から鹿沼市に500名以上の方々が避難をされてきましたが、その際には多くのボランティア活動が行われました。我歯科医師会も鹿沼市総合体育館等に率先して駆けつけ、応急処置や物資援助を行い、何よりも集団に対しての口腔ケアの実践を多少なりとも図る事が出来たのは、よい経験にもなり今となっては懐かしい思い出でもあります。

かつて、十年一昔という言葉がありましたが、昨今の巷を俯瞰してもそれは死語であると実感せざるを得ませんし、当会に取りましても間違いなく「五年一昔」がその正当性を訴えるが如く様々な事業や取り組みが行われてきました。

まず、最も大きな変換点は永らく使用していた「上都賀歯科医師会」という名称を「鹿沼歯科医師会」に変更した事ですが、これは旧西方町が栃木市に合併され、現日光市との兼合いを鑑みますと上都賀郡そのものが存在しないこと、そして一番大きな理由は平成25年4月に4年の歳月をかけて法人化を果たした事にある訳ですが、名称自体も市民にわかりやすくかつその地域を特定しやすいものにすべく「一般社団法人 鹿沼歯科医師会」として新たなスタートを切った次第でございます。また、法人化により、それまで栃木県歯科医師連盟鹿沼支部という任意団体として、許容される範囲で行ってきた政治的な活動も、政治資金規正法等の関係で不可能となり、かなりの制約が現出して参りましたので、将来展望を見据えた上で歯科医師会とは別組織として鹿沼歯科医師連盟を平成25年10月に発足させて戴きました。

また、懸案であった「鹿沼市 歯と口腔の健康づくり推進条例」も平成25年4月1日に施行されました。その策定に先立ちまして市民の代表でもある鹿沼市議会議員の皆様と幾つものテーマで勉強会を重ね、更には議会内の政策・調査・研究委員会においても議論を尽くし、鹿沼市においても稀有な議員立法によって条例が成立したことは大変意義のある事ではないかと考えております。そして、鹿沼市保健福祉部とりわけ健康課の皆様のご尽力により、広くかつ多岐にわたってアンケート調査を行う事が出来、そのデータを元に行政主導の「歯と口腔の健康づくり基本計画策定委員会」において政策立案がなされ、平成26年7月より成人歯科健診を開始する事が出来ましたのも、関係各位のご支援ご協力の賜物と心より感謝しております。

この成人歯科健診は前述のアンケート集計結果を吟味した中で誕生した訳ですので、今まで見落とされがちな年代、特に比較的若い世代、即ち20歳、25歳、30歳、35歳にスポットを当てたこと、併せて

超高齢社会への対応として65歳の方々を対象とした「歯と口のいきいき検診」を実施させて戴いた訳ですが、これらは歯や口腔の機能をきちんと維持する事により全身の健康にも繋がる事を究極の目的としており、ひいては健康寿命の延伸に寄与出来ればと考えております。

勿論、これまで通り、40、50、60、70歳対象の歯周疾患検診も更に充実させて参りたいと考えておりますが、75歳以上の人口も1590万人と、8人に1人の状況に突入した訳でございまして、予防よりもむしろ現状把握を目的に、平成27年度より保険年金課のご協力のもと、後期高齢者歯科健診として実施予定あります。このようにライフステージを通じての健診システムを的確に運用する事により、市民の更なる健康保持増進が図られる事を願ってやみません。

更に、平成26年7月28日には鹿沼市「災害時における歯科医療救護に関する協定」を締結させて戴きました。災害が無いことが一番ですが、万が一発生した場合には可及的迅速な対応をと考えておりますし、もし仮に集団での避難等が出現した場合には、阪神大震災以降、中越地震や東日本大震災等を通じて口腔ケアの有効性が実証されておりますので、肃々と対応して参りたいと決意を新たにしております。尚集団での避難の中には鹿沼市の姉妹都市である足立区や友好都市である墨田区や台東区も想定されなければなりませんし、原発事故によって避難を余儀なくされた福島県飯館村のケース等も考えられますので、そういった他地区の事も念頭におく必要があるものと思います。また不幸にもお亡くなりになり、かつ身元が不明のご遺体に対しては、全国でも比類なき鹿沼地区歯科医師警察連絡会を擁しておりますので、鹿沼警察署の皆様と連絡・連携を密にして対処して行く所存であります。

上記のようにここ数年の間で大きな転換や取り組みがありました、その他にも平成24年4月には、独協医科大学医学部口腔外科の多大なご高配のもと、上都賀総合病院に念願の歯科口腔外科が開設され、当会の準会員になって戴きました。また、歯の衛生週間行事の一環である「楽しく学ぶ親子むし歯予防教室」を40回目という節目を機に平成26年より「楽しく学ぶ親子歯と口の健康教室」に、そして平成27年4月には鹿沼市休日急患歯科診療所が新築移転され、新たなスタートを切る予定になっており、更なる充実を図って行かねばなりません。

何れに致しましても、この度の記念誌発刊に際しまして、多大なご協力を賜りました関係者の皆様並びに編纂委員会諸兄に対しまして、深甚なる感謝の意を表しますと共に、90周年を大きな分岐点と捉え、会員一同歯科医師会の原点である親睦と相互扶助を忘れることなく、研鑽を重ね市民の健康保持増進の為に、ひいては生きる力を育み、健康寿命の延伸を図るという高邁な使命を胸に一意専心、そして職責を全うする所存でございますので、関係各位におかれましては今後益々のご指導ご鞭撻を切にお願い申し上げご挨拶と致します。

～人々の努力は足し算、皆で協力すれば掛け算を願って～



# 鹿沼歯科医師会90周年 記念誌発刊を祝して

栃木県歯科医師会  
会長 柴 田 勝

このたびの鹿沼歯科医師会創立90周年記念誌発刊を心からお慶び申し上げます。

顧みますと、鹿沼歯科医師会は、大正14年4月19日に旧名称の上都賀郡歯科医師会として発会された後、平成25年4月1日の一般社団法人設立を契機に名称を鹿沼歯科医師会に改められました。

その間、歴代役員各位の献身的なご尽力と会員各位のご努力により、幾多の困難を乗り越えられ、今日58名の会員を有する会に大きく育まれたことは誠に感慨深いものがあります。

また、歴代会長の優れた指導力、その時代に合った適応力は、休日急患歯科診療事業、各種歯科検診事業、歯と口の健康週間事業など様々な形で生かされており、市民のライフステージに応じた各種歯科保健事業を積極的に展開されています。

特に鹿沼市では、「鹿沼市歯と口腔の健康づくり推進条例」の推進による施策が図られ、「20代の大人的健診」「65歳の歯と口のいきいき健診」など法の定めのない年代に対した事業が実施されています。

このことは、偏に行政機関などの関係各位のご努力とご理解の賜であり、地域住民の歯科保健の向上と福祉の増進に多大な成果を認められておりることは、衆目の認めるところであり、衷心より敬意を表する次第です。

我が国は、世界でも類を見ない速度で高齢化が進んでおります。

その中で歯科医療は「生活の医療」として、健康寿命の延伸に寄与するとされています。高齢者になつても、自分の歯で噛み、必要な栄養を身体に摂り入れることができれば、健康保持増進は確実に図れます。

そのためには口腔機能の維持と適切な口腔ケアが必要不可欠であり、更なる歯科医療の充実が求められます。

栃木県歯科医師会では、日本歯科医師会及び県内11の都市歯科医師会と連携し、県民歯科保健の向上に努めており、卓越した手腕の佐川会長が率いる鹿沼歯科医師会には、多くの期待を寄せているところであります。

終わりに、鹿沼歯科医師会が90周年記念誌発刊を機に、誇るべき伝統の上に、会員各位の強固な団結により、地域社会の歯科保健の推進拠点として、一層の飛躍と発展を遂げられることをご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします



## 祝　　辞

鹿沼市長 佐 藤 信

鹿沼歯科医師会が創立90周年を迎えられますことを心よりお祝い申し上げます。

鹿沼歯科医師会は、大正14年に発会されて以来90年にわたり本市の歯科衛生の普及活動やむし歯予防を中心とした母子保健活動、歯周疾患検診等成人や高齢者に対する歯科保健対策などにご支援ご協力を賜り、深く感謝いたします。

我が国は、世界有数の長寿国となり、人口の急速な高齢化が進み、疾病全体に占めるがん、心臓病、脳卒中、糖尿病などの生活習慣病は増加の一途をたどっております。

本市におきましては、長年にわたり鹿沼歯科医師会のご協力をいただきながら、妊娠中から学童・生徒までを対象にマタニティ歯科教室、幼児歯科健診、よい歯のコンクール、2歳児教室、楽しく学ぶ親子歯と口の健康教室、保育園・幼稚園検診、学校歯科検診などにより、歯科保健事業の推進が図られてまいりました。

また、成人・高齢者を対象とした歯周疾患検診や在宅歯科保健推進事業による在宅高齢者の歯科診療、歯科ドックや市民公開講座及び健康づくりのつどいなど多くの人に対する歯科保健の普及啓発も図ってまいりました。

更に、平成25年4月には、議員上程による「鹿沼市歯と口腔の健康づくり推進条例」、平成26年3月に鹿沼市歯と口腔の健康づくり基本計画「かぬま 笑顔とお口の歯つらつ計画」を策定し、平成26年度からは、鹿沼歯科医師会のご協力をいただきまして、65歳の方対象の「歯と口のいきいき健診」、若い方対象の「40歳未満の健診」等、更なる歯科保健の推進を図ることができました。

今後も、「第6次鹿沼市総合計画の基本目標である「歯科疾患の予防」「口腔機能の維持・向上」「歯科受診しやすい環境づくり」のため、関係機関や団体などとの連携をさらに深めながら、市民の皆様が生涯を自立して健やかに過ごされるよう、そして健康寿命の延伸に向けて健康づくりをより一層推進してまいりますので、引き続き、鹿沼歯科医師会のより一層のご支援ご協力をお願いいたします。

結びに、鹿沼歯科医師会のますますのご発展と、皆様のご活躍並びにご健勝をご祈念申し上げまして、創立90周年記念誌発刊における祝辞といたします。

# 目 次

発刊の辞	一般社団法人 鹿沼歯科医師会 会長 佐川徹三	I
祝　　辞	栃木県歯科医師会 会長 柴田 勝	III
	鹿沼市長 佐藤 信	IV
第1章		1
	役職一覧表	3
	鹿沼歯科医師会の沿革	4
	年　　表	5
	平成21年	6
	平成22年	26
	平成23年	43
	平成24年	68
	平成25年	85
第2章		115
	事業紹介	116
	鹿沼市協力事業	127
	エピソード	134
	東日本大震災における歯科医師会の対応について	134
	上都賀総合病院歯科口腔外科について	142
	法人化（総論）について	145
	法人化（各論）について	149
	鹿沼市歯科保健推進条例制定について	158
	鹿沼歯科医師連盟設立について	162
	歯と口腔の健康づくり基本計画について	165
	成人歯科健診について	170
	鹿沼市休日急患歯科診療所について	173
	鹿沼市と一般社団法人鹿沼歯科医師会の 災害時の歯科医療救護に関する協定締結される	178
	上都賀総合病院歯科口腔外科開設から現在まで	181
	県歯総会の歩み	182

第3章 .....	189
鹿沼歯考・アンケート .....	190
受章（賞）者一覧 .....	231
上都賀歯科医師会史寄贈後の礼状及び寄贈依頼 .....	232
付録 研修会・講演会等一覧 .....	233
歯科保健指導者講習会 .....	234
鹿沼市・鹿沼歯科医師会共済 市民公開講座 .....	236
鹿沼地区歯科医師警察連絡会総会特別講演会 .....	236
臨床研修会・調査委員会担当（平成25年より企画広報委員会） .....	238
公衆衛生研修会 .....	240
県央四郡市歯科医師会合同学術研修会一覧 .....	242
編集後記 .....	244

## 第1章

---

# 役職一覧表 鹿沼歯科医師会の沿革 年表

## 役職一覧表

### 上都賀歯科医師会役職一覧表

■平成21年4月1日～平成23年3月31日

会長	佐川 徹三
副会長	菊地 均
副会長	大貫 真裕
専務理事	田代 高志
総務理事	鈴木 裕之
会計理事	畠 健一
庶務理事	鈴木 定幸
理事	相馬 英人 (公衆衛生委員会担当)
理事	福島 隆夫 (調査委員会担当)
理事	小川 哲弥 (学術委員会担当)
理事	駒橋 武 (医療管理委員会担当)
監事	村本 明
監事	菊地 香
議長	中田 嘉之
副議長	瓦井 昭二
顧問	新島 剛
顧問	茂呂 允
顧問	小林 幹夫 (医政担当)

■平成23年4月1日～平成25年6月10日

会長	佐川 徹三
副会長	大貫 真裕
副会長	福島 隆夫
専務理事	田代 高志
総務理事	鈴木 裕之
会計理事	畠 健一
庶務理事	鈴木 定幸
理事	相馬 英人 (公衆衛生委員会地域保健担当)
理事	小川 哲弥 (学術委員会担当)
理事	駒橋 武 (医療管理委員会担当)
理事	手塚 史雄 (調査委員会担当)
理事	岡本 真利 (公衆衛生委員会学校歯科担当)
監事	瓦井 昭二
監事	菊地 香
議長	中田 嘉之
副議長	菊地 均
特任理事	村本 明 (編纂担当)
顧問	新島 剛
顧問	茂呂 允
顧問	小林 幹夫 (医政担当)

### 鹿沼歯科医師会役職一覧表

■平成25年6月1日～平成27年6月定時総会終結時

《役員》
会長 佐川 徹三
副会長 大貫 真裕 (医療管理・学術担当)
副会長 福島 隆夫 (企画広報担当)
専務理事 田代 高志 (総務委員会委員長)
常務理事 相馬 英人 (涉外担当 学校歯科・地域保健担当)
常務理事 畠 健一 (会計担当)
常務理事 鈴木 定幸 (総務担当)
理事 駒橋 武 (医療管理委員会委員長)
理事 手塚 史雄 (企画広報委員会委員会)
理事 岡本 真利 (学校歯科委員会委員会)
理事 石澤 隆之 (学術委員会委員長)
理事 茂呂 英運 (地域保健委員会委員会)
監事 瓦井 昭二
監事 小林 幹夫
《特別委員会》
裁定委員会委員長 菊地 香
選挙管理委員会委員長 中田 嘉之
役員報酬等検討委員会委員長 小川 哲弥

# 上都賀歯科医師会から鹿沼歯科医師会へ

大正14年（1925）4月19日 上都賀郡役所において上都賀歯科医師会発会式を13名の会員で開催した。

昭和13年（1938）8月15日 上都賀郡支部設立。

同年11月2日の県歯総会で支部設立議案が可決され、各支部制となる。

昭和30年（1955）2月20日 支部設置が保健所行政区域別となつたため、上都賀支部（鹿沼・栗野・西方）と今市支部（今市・日光・足尾）に分離された。県歯においては3月20日より実施、現在迄到ついた。

一方上都賀郡は明治17年（1884）都賀郡が上下に分離され、鹿沼地区は上都賀郡に属した。明治22年（1889）町制で鹿沼町となる。

昭和23年（1948）市制施行により10月10日鹿沼市となる。

同29年（1954）1市7村、同30年（1955）1市2村合併で大鹿沼市となる。平成18年（2006）1月1日栗野町と合併。上都賀支部は鹿沼市と西方町地区の会員構成となった。

西方町は、平成6年（1994）村から町制へ、平成23年（2011）10月11日郡境を越えた市町合併という快挙（愚拳？）により栃木市に編入。村長時代を含め13代町長で消滅した。そのため大正14年（1925）より受け継がれてきた上都賀歯科医師会は鹿沼地区のみの会員構成となり、88年の歴史を閉じ鹿沼歯科医師会と名称変更されることになった。

時は平成25年（2013）4月1日に名称変更実施。同年7月1日社団法人鹿沼歯科医師会となった。

鹿沼歯科医師会 村本 明：記

# 年 表

平成21年～平成25年

## 平成21年(2009)

- 1月7日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 1月24日 小林幹夫後援会「新春の集い」  
於) 鹿沼市 日晃そば
- 1月25日 学術・公衆衛生合同研修会  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
講師) 鶴見大学歯学部口腔病理学  
講座 斎藤一郎 教授  
テーマ) ドライマウスから考える全  
身のアンチエイジング医学
- 1月29日 税務講習会  
講師) 安納攸昌 顧問税理士  
鹿沼地区歯科医師警察連絡会 歯科  
医師対象の研修会  
講師) 栃木県警察本部 刑事部捜  
査第一課 檢視官  
警視 橋本源一郎 先生  
テーマ) 檢視業務の現状について  
新年宴会  
於) 福田屋コンベンションホール
- 2月2日 歯科ドック事業検討小委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
B型肝炎ウィルス検査及びワクチン接種  
於) 上都賀総合病院  
1) B型肝炎ウィルス検査  
期間) H21年2月2日～2月9日  
2) ワクチン接種  
期間) H21年3月末～
- 2月4日 成人病検査  
於) 宇都宮市 関湊記念会クリニック  
期間) H21年2月4日～3月12日
- 2月6日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 2月8日 鹿沼市「健康づくりのつどい」  
於) 鹿沼市民情報センター  
担当) 相馬 英人・村本 創

### 都市歯科医師会だより

#### 上都賀歯科医師会

#### 学術・公衆衛生合同研修会

平成21年1月25日（日）午後1時30分より、鹿沼市福祉センター大会議室に於いて上都賀歯科医師会『学術・公衆衛生合同研修会』が開催されました。

今回は、鶴見大学歯学部口腔病理学講座教授斎藤一郎先生をお迎えし「ドライマウスから考える全身のアンチエイジング」と題して講演を頂きました。

斎藤一郎先生のアンチエイジングとは、今までの歯科領域だけでなく全身の健康も考える事であり、将来歯科の新たな領域への進出を目指すものであると認識しました。

鶴見大学歯学部附属病院にて2002年にドライマウス外来を開設、診療をなされて感じた事は「来院患者が全身に何らかの問題、糖尿病や高血圧症などの生活習慣病やストレス等の背景がある場合が多い」と話されていました。そうした事により、ドライマウス等の歯科疾患は、生活習慣病などに左右されるという事がきっかけとなって、アンチエイジング外来が2005年に開設されたという事でした。

アンチエイジング外来では、口腔だけでなく全身の老化度検査を行い、その結果に対する対処法の提案が主な診療内容であり、その他に老化抑制を目指した臨床研究や口腔と全身の老化度の相関を解析する研究も行っているという事がありました。

日本抗加齢医学会のお話をしていただき、そこでは医科と歯科の垣根がなく、高齢医学に興味のある医師が沢山おり、歯科と医科のチーム医療を目指し、高齢者のQOLを高めて行くということでした。

老化のお話では、生理的老化と病的老化に分け、生理的なものは全ての人に起こる防御不可能なもの、病的なものは全ての人に起こるわけではなく

防御可能なものとして考える。より健康になるには、アンチエイジングの実践をする事であり、アンチエイジング医学の構成する柱として第一ステップは「知識の増大」であり、老化の仕組やどうして老いるのかを知り、老化のコントロールを



する。第2ステップは「ライフスタイルの改善」生活習慣の改善なくしてアンチエイジングの実践は不可能。第3ステップは「サプリメントの摂取」、ここではエビデンスの有るものを考える。

又、長寿の家系というものは、遺伝ではなく代々伝わるライフスタイルに有ることもあり、伝統的な日本の生活習慣を科学的に証明していく事も重要である。

老化には酸化、遺伝、ホルモンバランスが挙げられる。体の中で起こる細胞の酸化は、喫煙、排気ガス、酒、紫外線、ストレス、残留農薬等により、フリーラジカルが大量発生し酸化ストレスとなる。酸化ストレスは様々な病気に関係し、口腔内では、唾液腺が酸化ストレスにより唾液の分泌が減少する事が挙げられる。それに対抗して体内では、フリーラジカルの反応性に富んだ酸素を中和する働きを持つSOD酵素があるが、年齢と共に減少する。SODを補う物として緑黄色野菜のビタミンを取り入れる事が必要であるが、今の野菜は昔と比べるとビタミンが少ない。それは、

食物の生産性を高めるため、いろいろな処理をすることが原因である。食物は安易に生産性を高めたりするとリスクが高くなる。現在では、エンゲル係数がどんどん落ちているが、口に入る物は、お金をかけるべきである。

またカロリー制限についての、お話を頂き、40歳を境に年を取るスピードが変わってくるがカロリー制限をすることにより、年を取るスピードを抑える事が出来る。カロリー制限をする事により、体内のオートファジーの作用が活発になり有害なタンパク質を分解して取り除いてくれる。その例としてアルツハイマーは $\beta$ アミロイドが蓄積することによって起こるがカロリー制限することで減少する。

その他、カロリー制限をすると、Sirt1という長寿に関係する酵素が活性化する。赤ワインに含まれるレスベラトロールはSirtを活性化する。DHEA-Sも老化抑制があり血中DHEA濃度が高いほど長命である等。テロメアに関する話もしていただきました。

アンチエイジング医学は、健康人、半健康人に対する医療で理想的な健康を目指すものである。という斎藤先生の講演は非常に興味深く、今後一層高齢化が進む中、歯科の新たな分野であると感じました。

(上都賀歯科医師会学術委員 手塚史雄：記)



- 
- 2月17日 鹿沼地区三師会新年懇親会  
於) 福田屋コンベンションホール
- 2月25日 鹿沼地区歯科医師警察連絡会  
警察官対象の研修会  
於) 鹿沼警察署 会議室  
講師) 鈴木 定幸  
テーマ) 歯をダメにするための十ヵ条
- 2月27日 介護保険研修会(医師会主催)  
於) 福田屋コンベンションホール  
テーマ) 最近の認知症治療の流れ  
講師) 香川大学医学部 精神神経  
医学講座 中村 祐 教授
- 3月1日 調査・学術合同研修会  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
講師) 獨協医科大学 口腔外科学  
講座 今井 裕 教授  
テーマ) 医療安全管理と最近のト  
ピックス  
—改正医療法で求められる医療安  
全対策を踏まえて—
- 3月6日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編  
纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 3月9日 歯科ドック事業検討小委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
鰍原 悅郎 先生 御逝去  
佐川徹三・菊地 均・大貫真裕・  
田代高志・鈴木裕之・鈴木定幸・  
村本 明・中田嘉之・瓦井昭二  
が弔問。
- 3月13日 故 鰍原悦郎 先生 告別式  
於) 黒川ホール新鹿沼店  
※御靈前に香典,生花を供した。
- 3月16日 鹿沼薬剤師会・上都賀歯科医師会合  
同懇談会
- 3月17日 調査研修会に於ける講師陣慰労会  
於) 割烹 石ばし
- 3月26日 御見舞い  
獨協医科大学病院に入院中の越路  
昭夫先生を佐川徹三会長・瓦井昭  
二副議長が見舞う。
- 3月28日 定時総会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 4月1日 星 雅朗・三浦秀憲・鰍原治子 入会  
慰労金を下記会員に支給  
新島 剛・畠 二郎・高崎道子・  
茂呂 允
- 4月6日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編  
纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 4月27日 歯科ドック検討小委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 5月7日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編  
纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 5月20日 鹿沼地区歯科医師警察連絡会  
《役員会》  
於) 割烹石ばし  
よい歯のコンクール1次診査
- 5月21日 成人病検査 [脳ドック]  
期間) H21年5月21日～  
12月17日  
於) 池田脳神経外科
- 5月25日 在宅寝たきり老人歯科保健推進事業・  
歯科ドック事業機器説明会
- 5月28日 よい歯のコンクール1次診査  
於) 鹿沼市民情報センター
- 6月2日 歯科ドック検討小委員会  
上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 6月8日 よい歯のコンクール 審査会  
《第1回》 図画・ポスター審査  
於) 鹿沼市民情報センター

## 上都賀歯科医師会

### 平成21年度鹿沼地区歯科医師警察連絡会役員会開催

平成21年5月20日（水）午後7時より、鹿沼市「割烹 石ばし」にて鹿沼地区歯科医師会警察連絡会の平成21年度役員会が開催された。警察側は古川芳巳 鹿沼警察署署長を始め、五味渕副署長、発生川刑事課長、高津戸鑑識係長の4名、歯科医師会側は佐川徹三会長以下、菊地副会長、大貫副会長、田代専務、鈴木（裕）総務、鈴木（定）庶務、瓦井副議長、小林顧問の8名が出席した。



警察と歯科医師会との関係では、昭和60年8月に起きた日航機墜落事故での群馬県歯科医師会の活動を教訓に、昭和61年12月に栃木県警察歯科医会が発足（ちなみに栃木県警察医会はすでに昭和48年11月に発足していた）、平成7年10月に警察協力会と名称変更し現在も活動しているわけだが、この事故において、損傷した遺体の身元確認に関して、歯式による特定はDNA鑑定に勝る第一選択であったことから、法歯学の重要性は広く警察関係者にも認識されることとなった。

鹿沼地区においては、事件事故が発生した場合を想定すれば、むしろ現場に直結した地域単位でこそ日頃からの警察との連携強化が重要と考えた当時の上都賀支部長 岡本全宏先生、鹿沼警察署長 柏倉義彦氏らの尽力により平成4年2月24

日に「鹿沼地区歯科医師警察連絡会」を設立、以来17年に亘り活動している。主な活動は11月に行われる総会及び特別講演会、歯科医師、警察官それぞれが講師となる相互を対象とした研修会などを行っている。

今回の役員会では昨年度の反省と今年度の活動内容について話し合い、続く懇親会では鹿沼地区での幅広い問題について情報交換を行った。その席上、受診率向上のきっかけとすべく昨年発行した「鹿沼地区歯科医師警察連絡会会員之証」に続き、公務員の歯科検診問題の一部としてまず警察官の歯科検診を提案するなど、さらに先進的、意欲的な取り組みについても検討された。そして、この4月に着任された古川署長は偶然にも当会に佐川会長と高校時代の同級生であることもあり、今こそ全国的にも貴重な「地域単位での連絡会」を益々発展させる好機であると一同確信し、盛会のうちに開きとなった。

（広報編集モニター 鈴木 定幸：記）



## 県議会議員との勉強会

栃木県議会議員との勉強会が6月5日（金）午後6時からホテル丸治において開催された。

これは、小林幹夫県議（本会会員）の尽力により実現したもので、当日、県会議員11名と、柴田会長が歯科の重要性について話し合いをもった。

### [出席議員]

五十嵐清（小山）、岩崎信（益子）、上野通子（宇都宮）、櫛淵忠男（栃木）、小瀧信光（那須塩原）、五月女裕久彦（宇都宮）、中川幹雄（宇都宮）、花塚隆志（さくら）、早川尚秀（足利）、増渕三津男（那須）、小林幹夫（鹿沼・会員）

### [勉強会要旨]

栃木県の死因は、1位 脳卒中、2位 心筋梗塞、3位 肺炎である。特に脳卒中は全国でワーストである。

県では減塩運動により、これらの改善を図ろうとしているが必ずしも効果があがっていない。全身疾患、特に脳疾患、心疾患と歯周病菌の関連は明らかになっており、また、誤嚥性肺炎には口腔ケアが予防対策となる。今後、県民に、歯周病と全身疾患の関係、及び口腔ケアの重要性を理解していただき、歯周病患者を減らし、口腔ケアをきちんと行なうことが、栃木県の死因状況の改善に繋がるものと思われる。

そのためには、歯科の受診率を向上させる必要がある。県内の歯科医師数は人口10万人あたり全国22位であるが、受診率は39位であり、受診率アップが大きな課題である。

また、歯周病は糖尿病第6番目の原因であり、プラークコントロールを行うことで血糖値も安定して糖尿病予防にもなる。

最近、残存歯が多いほど医療費が少ないという調査結果が山梨県等から出ている。歯の残存率が高いこと及び歯周病の罹患程度が低いことは、生

活習慣病の減少に繋がり、最終的には医療費全体の抑制にもなる。

疾病別の受診率は次の通りである。

高血圧 3,600万人 受診率20%

糖尿病 1,900万人 受診率30%

歯周病 7,000万人 受診率4.7%



その他、歯科・口腔に関するトピックス・課題として次のことを話した。

○咀嚼の重要性。咀嚼は子供の知能発達の促進や老人の認知症予防に役立つ。また、肥満予防、ガン予防等に繋がる。

○マウスガード普及の必要性。主要な失歯原因是、むし歯、歯周病、スポーツ外傷である。マウスガードの装着普及を図ることにより、スポーツ外傷による失歯が防げる。また、噛み合わせの改善によるパフォーマンスの向上が期待できる。

○インフルエンザ等感染症対策についても口腔ケアが重要である。

最後に以下のことを出席者に強く訴え勉強会を終えた。

現在の歯科保健行政の根拠となる法律は、「母子保健法」や「学校保健法」に分散しており、県民のための歯科保健施策を総合的に進めるには法的基盤が脆弱である。今後県民の歯科保健、口腔衛生の向上には、歯科保健推進条例を制定することが是非とも必要であり、そのためには、県議会議員の皆様のご理解ご協力を賜り実現を図りたい。

- 6月11日 よい歯のコンクール2次診査  
於) 今市健康福祉センター
- 6月12日 臨床研修会〔調査委員会担当〕  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
講師) 上都賀歯科医師会 専務理事  
田代高志 先生  
テーマ) パワーポイントの使い方  
Part 1
- 6月15日 よい歯のコンクール 審査会  
《第2回》作文、標語審査  
於) 鹿沼市民情報センター
- 6月17日 臨床研修会〔学術委員会担当〕  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
講師) 株式会社 JBA 社員  
テーマ) ホワイトニングシステム  
beyon実演・説明会
- 6月20日 楽しく学ぶ「親子むし歯予防教室」  
於) 鹿沼市民情報センター
- 6月23日 障害児口腔衛生指導研修会《第1回》  
於) あおば園  
テーマ) ブラッシング法とおやつについて  
講師) 金子 實
- 6月25日 医療管理研修会  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
講師) カラリスト 平沢利子 先生  
テーマ) 色彩心理を学ぼう  
～色彩が人に与える印象とカラー  
コーディネートを踏まえて～
- 7月6日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 7月8日 鈴木節雄先生 御母堂  
鈴木由利子様 御逝去
- 7月11日 鈴木節雄先生 ご母堂  
故 鈴木由利子様 告別式  
於) おおのホール鹿沼緑町  
※御靈前に香典、生花を供した。

## 上都賀歯科医師会

### 第6回 パソコン講座 「PowerPoint2007の使い方 ～基礎編～」開催

平成21年6月12日（金）午後7時から、鹿沼市総合福祉センター大会議室にて上都賀歯科医師会臨床研修会（調査委員会担当）として上記研修会が行われた。



パソコンに取り組む柴田会長

近年のITの普及は目覚ましいものがあり、各種講演会、研修会においてもスライド写真の使用はまず見なくなり、皆パソコンでのプレゼンテーションとなってきた。学校歯科や行政行事などで公衆衛生教育を行う機会の多い会員にとってもパソコンでのプレゼンテーション=PowerPointの使用は必須技術となりつつある。そこで当支部の田代高志先生を講師に迎え、今回の研修を行うこととなった。やはりタイムリーな企画であったようで、当支部会員のみならず、上都賀郡市医師会や他支部からの先生方にもご参加いただいた。また、県歯の更なるIT活用を提唱している柴田県歯会長もお忙しい中、パソコン持参で一会员として参加された。向学心溢れる柴田会長が颯爽とノートPCを開いてプレゼンテーションするお姿が見られる日もそう遠くないと思われる。（もうメールの送受信は出来るそうです）

講師を務められた田代高志先生は70年代末のパソコン黎明期からPCを自作していたという

「King of PC」と呼ぶべき知識をお持ちの先生で、当支部専務理事としてのみならず、県歯でも企画調査室員として歯科医師会のIT化の実務を担うプロフェッショナルである。先生によるパソコン講座は96年の「第1回パソコンの使い方（基礎編）」に始まり、パソコンの普及の度合いに応じてレベルを上げ、今回は「PowerPoint2007」について6回目のお話をいただいた。

講習は、まず各自のPCに田代先生が作って来て下さった「学習用CD-R」をインストール、講師の説明を聞きながら実際にPowerPointを操作するという形式で行われ、初心者にも十分理解できる様工夫され、隨時質問を受け付けるなど活気あふれる研修となつた。

現代社会におけるPC利用力の重要性は言を持つない。「パソコンは苦手…」という世代の先生にとっても、外部からではなく同じ会員が講師を務める事により‘肩肘張らずに’学べる機会は好評であり、早くも「応用編」開催の要望が寄せられている。

(広報編集モニター 鈴木定幸：記)

## 上都賀歯科医師会 歯の衛生週間行事

上都賀歯科医師会の‘歯の衛生週間行事’は「よい歯のコンクール（図画・ポスター・作文・標語）審査」と「親子むし歯予防教室」の二つです。

まず、平成21年6月8日（月）午後7時より鹿沼市民情報センターにて「よい歯のコンクール」図画・ポスターの審査を行いました。歯科医師会代表11名、教育委員会4名の計15名にて、小学校低学年・高学年・中学生のそれぞれに最優秀賞・教育長賞・優秀賞・佳作を選びました。同様に6月15日（月）には作文・標語の審査を行いました。今年は応募がやや低調で昨年より169少ない応募総数468作品、応募数は学校によりばらつきが大きく、担当教諭への周知が来年への

課題となりました。

平成21年6月20日（土）午後1時30分からは、同じく鹿沼市民情報センターにて鹿沼市との共催の“楽しく学ぶ「親子むし歯予防教室」”（第35回）を開催しました。

対象は鹿沼市内の幼稚園・保育園の年長児（887名）と小学1・2年生（1854名）の希望者とその保護者の方々です。本年度は年長児、小学生合せて362名とその保護者が参加しました。前年比で対象者が144名減、参加者は51名減となり、参加率が1.1%下がりました。当日、隣の会場で母子を対象とした別のイベントが行われており、その影響かと推測されました。

当日の会場の流れは、まず1Fにて受付を行いますが、本年よりロビーで「上都賀歯科医師会統一刷掃法」のビデオを大画面テレビにて上映しました。これは鹿沼市内の小学校にて昼休みに放送し、それに合わせて児童が歯磨きを行っているものです。受付の後、歯科医師による簡単な検診を行い、その後子供は25名、保護者は50名でそれぞれグループを作り2Fへ移動します。子供たちは上都賀歯科衛生士会の衛生士によるブラッシング指導をうけた後、移動してフロリアートにてフッ素イオン導入を行います。その間、保護者の方には歯科医師による口腔衛生講話を聞いていただきます。両者は、ほぼ同時に終わる時間設定にしてあり、栄養士によるおやつ展示コーナー前にて



ブラッシング指導を受ける  
佐藤市長（左）と巻田保健福祉部長（右）

合流して終了となります。帰路には歯科相談コーナーを設け、保護者の方の質問、相談を受け付けます。以上が当日の流れですが、本年もスムーズに進行しました。

尚、昨年の開催日に就任され初仕事として来場された佐藤 信 鹿沼市長は本年も御参加ください、子供達と一緒にブラッシング指導を受けられる様子を鹿沼ケーブルテレビや下野新聞が取材するなど、この教室の広報活動にご協力いただきました。

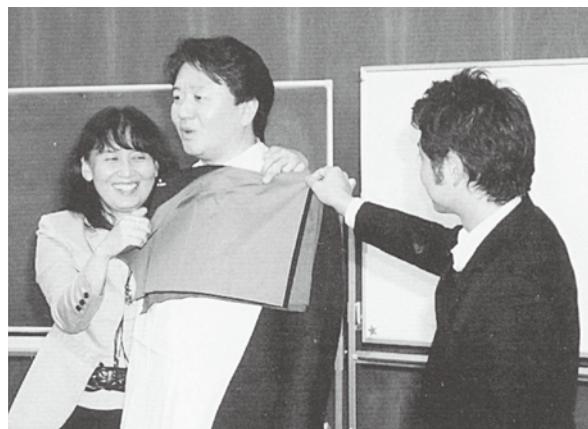
(広報編集モニター 鈴木定幸：記)

## 上都賀歯科医師会 医療管理研修会開催 「色彩心理を学ぼう ～色彩が人に与える印象とカラー コーディネートを踏まえて～」

平成21年6月25日（木）午後1時30分より、鹿沼市総合福祉センターにおいて、上都賀歯科医師会医療管理研修会が開催されました。講師にはカラリストの平沢利子先生をお迎えして「色彩心理を学ぼう～色彩が人に与える印象とカラーコーディネートを踏まえて～」という講演が行われました。

受付で赤・橙・黄・緑・青・紫の色見本の中から好きな色を一枚選び取り、カラーカードとプリントが配されました。平沢先生はまず、人の目が見分けられる色は750万～1000万色あるという話から始められました。言わせてみると確かに、普段の歯科医療においても様々な白を使用しています。色は大きく色相、明度、彩度の3つに分けられており、色相は色みのこと、受付で選んだ色見本の意味はここで説明され、それぞれの色を好む人の性格の傾向、色の与える印象等のレクチャーがありました。明度と彩度は合わせてトーンと呼ばれ、明度は色の明るさ、彩度は基本色の飽和度ということでした。色相、明度、

彩度は数値化され、ホワイトニングでも使用されています。



約10分間の休憩の後、視覚効果が心理に与える影響と見え方、パーソナルカラーについてのお話がありました。同じ肌色でも、背景が白の肌色と背景が黒の肌色とではバックが黒の肌色の方が色白に見えるのはなぜかというお話や、赤の網がけのみかんが美味しそうに見えるのはなぜかといった日常に即した納得するお話が多く、人は色に影響を強く受けているのだとつくづく実感しました。最後に顔色を良く見せる色、『パーソナルカラー』についての話だったのですが、本当に人によって多様で、他人には似合っていても自分には似合わない色があったり、似合う色があるのだなと考えさせられました。今回の研修会では先生自ら、参加者一人一人にパーソナルカラーを診断して戴き、それぞれの（スプリング、オータムの）ウォーム系、（サマー、ワインターの）クール系が分かり、ぜひ、今後の参考にさせて頂きたいと思いました。

尚、この医療管理研修会はスタッフ研修会でもあり、今後も資質の向上と会員並びにスタッフとの相互連携に寄与して参りたいと考えています。

(上都賀歯科医師会医療管理委員 鰯原治子：記)

女医会だより

## 第1回 女医会講習会 フラワーアレンジメント・ ティッシュボックス作成

平成21年7月5日（日）午後2時から、コンセーレ（宇都宮）にて、上記の講習会が開催されました。

フラワーアレンジメント・ティッシュボックスとは透明なアクリルのティッシュボックスのふたに、ニッパで好きな形に切ったシルクフラワーをグルーガン（引き金様のスイッチを押すと軟化したワックスが自動的に出て来るガンタイプの物）からワックスを出して接着し、作り上げます。講師は拠点を今市のスーパーといらや内に置き、県内各地で、生花アレンジメント、プリザーブドフラワー、リース等、幅広く活躍されている、ひこフラワー社長 瀬下ひろ子先生にお願い致しました。当日使用する材料は、わざわざ今回の女医会講習会のために東京から選りすぐりのシルクフラワーを仕入れて来て頂き、その中から各自が好きな物を選び、作り上げて行きました。ニッパやワックスの取り扱いはお手のもの。最後に金粉、銀粉、パールもどき、ダイヤモンドもどきの光物を添えて、それはそれは豪華なティッシュボックスが出来上がりました。作品はその先生の人となりが現れ、興味深いものとなりました。



約2時間にわたり、ワイワイ、ガヤガヤとおしゃべりをしながら、ひとつの作品を造り上げるのがこんなに楽しいものだとは思ってもいはず、驚き

でした。作品も良い記念になったこと思います。私は毎日作品を眺め、自己満足に浸っています。



何か興味を見付けたいと思っていても日々の診療に追われ、それに加え家事、育児等でお忙しい先生方はなかなかカルチャースクール等に通う時間が取れないことでしょう。女医会では今回のような企画を立て、少しでも何かを始めるきっかけになり、会員の皆様のお役に立てれば幸いと考えております。これからもアンテナを高くし、皆様の興味のあるような講演会、講習会等を企画致しますので、女医会会員の先生方はもとより、栃木県歯科医師会会員の先生方の参加を心よりお待ちしております。

（女医会副会長 安西未央子：記・写真）

## 上都賀歯科医師会

### 平成21年度 学術・公衆衛生合同研修会開催

平成21年7月26日（日）午後1時から、鹿沼市総合福祉センター大会議室において、標記研修会が開催された。私どもの支部の会長である佐川先生と、同窓でしかも同級生である、日本歯科大学 生命歯学部 歯科放射線学講座の代居敬教授をお招きし「エックス線による画像診断と最近のトピックス」という演題で、ほぼ4時間のご講演を頂いた。

講演は、1. 撮影法の基本と工夫 2. 最近の画

- 7月13日 歯科ドック検討小委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 7月16日 北部地区健康教育 食生活改善推進員の地区事業  
於) 鹿沼市民情報センター  
講師) 三浦 秀憲
- 7月24日 レセプトオンライン化についての説明会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 7月26日 学術・公衆衛生合同研修会  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
講師) 日本歯科大学 生命歯学部  
歯科放射線学講座  
代居 敬 教授  
テーマ) エックス線による画像診断  
と最近のトピックス
- 8月 7日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 8月10日 臨床研修会〔調査委員会担当〕  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
講師) 鹿沼市老人保健施設 かみつが  
施設長 須田啓一 先生  
テーマ) 老健からみた高齢者医療と  
介護保険  
西川公也鹿沼事務所陣中見舞訪問  
西川公也鹿沼事務所
- 8月11日 西川公也後援会鹿沼・栗野・西方地区総決起大会  
於) 鹿沼商工会議所
- 8月23日 越路昭夫先生 御逝去
- 8月26日 故 越路昭夫 先生 告別式  
於) 黒川ホール新鹿沼店  
※ 御靈前に香典,生花を供した。
- 8月27日 歯科保健指導者講習会  
於) 鹿沼市民文化センター  
講師) 財団法人 児童育成協会  
青山こどもの城小児保健部  
技術主任 太田百合子 先生  
テーマ) 離乳食から乳幼児への咀嚼  
の重要性と小児メタボリックシン  
ドロームについて
- 9月 2日 西方町成人歯科健診事後指導会  
於) 西方町保健センター
- 9月 6日 第26回県央四郡市歯科医師会合同  
学術研修会  
於) ウエルサンピア栃木  
講師) 東京歯科大学 オーラルメ  
ディシン・口腔外科学講座  
山根源之 教授  
テーマ) 口腔粘膜疾患への対応、口腔  
がんを見落とさないために
- 9月 7日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編  
纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 9月11日 講話会(慰労会) 於) 割烹 石ばし
- 9月30日 鹿沼地区歯科医師警察連絡会  
《役員会》 於) 割烹 石ばし  
西方町成人歯科健診事後指導会  
於) 西方町保健センター
- 10月 6日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編  
纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 10月14日 西方町成人歯科健診事後指導会  
於) 西方町保健センター
- 10月26日 臨床研修会〔調査委員会担当〕  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
講師) いとうこどもクリニック  
伊藤 直 実 院長  
テーマ) 新型インフルエンザについて
- 10月28日 西方町成人歯科健診事後指導会  
於) 西方町保健センター
- 10月31日 第26回福祉大会(ボーリング大会)  
於) 鹿沼トーヨーボウル  
懇親会  
於) 福田屋コンベンションホール
- 11月 1日 臨床研修会〔学術委員会担当〕  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
講師) 大阪大学 十河基文 教授

---

像検査法 3. エックス線診断の基礎 4. 各種疾患のエックス線像 5. 症例供覧 6. 質疑応答の順に行われた。

「撮影法の基本と工夫」項では、パノラマエックス線写真撮影の際の障害陰影を減らし、断層域に歯列を納めるための工夫において、教授が普段から患者を誘導する方法が大変参考となった。すなわち、まず、チンレストを高めに位置づけておき、顔を上向きにさせながら頸を乗せる。すると背筋が伸びるので、その背中をひじで押し、更に後頭部を少々押しながら、チンを下げていくというものである。こうすることで背筋が伸び、頸椎陰影が格段に軽減できる。また、診断の項では、顎骨髄炎の所見として板状、層状にぎざぎざになった下顎骨下縁皮質骨の像に注意するように指摘があった。



「最近のエックス線撮影法」では、流行のコンピームCTについてのお話を聞いていただいた。このエックス線撮影装置を使うと、従来の撮影では認知不可能であった副オトガイ孔や副下顎管の存在を確認できる場合があるそうだ。診断技術の格段の進歩に感心しつつ、今後種々治療に際し、更なる注意が必要であろうと思われる。

その他、先生の実際に経験された症例の写真を供覧して頂きながら診断に際する注意等をご教授頂いた。

他支部の先生方の参加もあり、盛況のうちに閉会となった。

(上都賀歯科医師会理事 駒橋 武：記)

## 歯科保健指導者講習会開催

### 「離乳食から乳幼児への咀嚼の重要性と小児メタボリックシンドロームについて」

平成21年8月27日（木）、午後2時30分より鹿沼市民文化センター大会議室において歯科保健指導者講習会が開催された。この研修会は小中学校養護教諭と幼稚園教諭・保育園保育士とに対象を隔年で変えながら毎年行われているものである。

本年21年度は幼稚園・保育園を対象に「離乳食から乳幼児への咀嚼の重要性と小児メタボリックシンドロームについて」というテーマで財児童育成協会、こどもの城 小児保健部技術主任、聖心女子専門学校非常勤講師の管理栄養士、太田百合子先生にご講演をしていただいた。



母親や保育園の栄養士や保育士、幼稚園の先生からの食の悩みは「離乳食を丸飲みする」「かたいものが噛めない、噛まない」などの相談が多くあり、そして学童肥満児にも「早食い、よく噛まない、大食い、孤食、偏食」などが問題にされている。これは乳幼児期からの咀嚼の学習が不足し、そのまま学童期にいたるまで噛む力が育っていないことが考えられる。この噛むことが少しでも上手になっていたら、少なくとも早食いや大食い、噛まないといった行動が減り、肥満の要因が減ることにつながるのではないかと思われる。赤ちゃんからの食べる機能の発達を理解し、上手に噛んでおいしいと味わうことができるまでの接し方などについてご講演いただいた。

### 【講演要旨】

・離乳食とは日本の食文化のなかで大切なものである。さまざまな味と舌ざわりをもった食べ物を食べられるようになるための学習期である。噛む、飲み込む能力を獲得することである。赤ちゃんの状態にあわせ、飲み込んでしまうような噛みにくい食品を理解し適当な時期に適当な物、形、量を与え自食できるようにすすめる。

・幼児期では、自分で食べたい意欲が育つ、人と食べ合う共食のすすめ、朝食をとる習慣をつける、食事の時に空腹であることが一番、前歯をつかい1口量を覚える。食べ物を口に押し込まない、水分で流し込む食べ方はしない。

・乳児肥満と幼児肥満、乳児の肥満は問題ない。3歳以降の肥満は生活習慣病につながりやすい。生活のリズムが確立する3歳、4歳時期に急に太り始める場合は注意が必要である。子どもが太り過ぎてしまってからでは生活習慣や肥満の改善は難しい。

(上都賀歯科医師会公衆衛生担当 相馬英人：記)

## 第26回 栃木県歯科医師会共催 県央四都市歯科医師会 合同学術研修会

平成21年9月6日（日曜日）午後1時ウェルサンピア栃木を会場として、東京歯科大学オーラルメディシン・口腔外科学講座主任教授 山根源之先生を講師としてお迎えし「口腔粘膜疾患への対応、口腔がんを見落とさないために」をテーマとして研修会が企画開催されました。

日光歯科医師会会长 福田新一先生の開会の辞、上都賀歯科医師会会长 佐川徹三先生の主催者挨拶、栃木県歯科医師会会长 柴田勝先生の御挨拶をいただき、宇都宮市歯科医師会会长小林豊先生の講師紹介をもって研修は開始されました。

口腔がんを早期発見することは歯科医の重要な役目であるとの考え方のもと、鑑別は腫瘍は小さくはならない、癌性潰瘍、外向性発育、出血しやすい、触診により周辺硬結、抗生素は効果無しなどでした。



口腔粘膜の病変を、アフタとして、何にでもステロイド含有の口腔軟膏を使用する傾向にあり、難治性口内炎に漫然と長期にわたりステロイド軟膏が使用され、特にカンジダ症は増悪するケースの説明をいただきました。さらに、口腔粘膜疾患の中には難治性疾患があり重症化し、口腔がん、エイズ、天疱瘡、類天疱瘡などは全身症状を合併し、死に至る場合を解説いただき、耳鼻科など他科との協力は今後さらに口腔外科にとり重要であるとの御指示でした。

患者との信頼関係を考えたときヘルパンギーナ手足口病 コクサッキー エンテロ 麻疹などの早期鑑別も重要であるとのことでした。時間を忘れるような熱のこもった講演に出席会員も真剣に受講しておりましたが、時は来てしまい、芳賀歯科医師会会长小林康彦先生の閉会の辞にて研修を終了しました。

なお山根先生からは後日の学習のために、日本歯科評論増刊「口腔粘膜疾患の診かた」を推薦いただきました。

(上都賀歯科医師会理事 小川哲弥：記)

- テーマ) “1日でわかるCT診断の最前線(iCATセミナー)”
- 11月6日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 11月11日 鹿沼地区歯科医師警察連絡会《総会》  
於) 福田屋コンベンションホール  
特別講演) 歯科的個人識別  
—その落とし穴と最新技術—  
講師) 東京歯科大学 法歯学講座  
花岡洋一 準教授
- 11月17日 歯科ドック検討小委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 11月19日 親と子のよい歯のコンクール  
於) 栃木県歯科医師会館  
《上都賀歯科医師会表彰》  
☆最優秀賞 神山孝子・優希[鹿沼市]  
障害児口腔衛生指導研修《第2回》  
於) あおば園  
テーマ) ブラッシング法とおやつについて  
講師) 金子 實
- 12月6日 上都賀歯科医師会視察研修旅行  
期間) H21年12月6日  
～12月7日  
場所) 出雲大社・松江市観光  
宿泊地) 玉造温泉 グランドホテル長生閣  
1日目 昼 島根ワイナリー(バーベキュー)  
夜 玉造グランドホテル長生閣宴会料理  
2日目 昼 神代そば
- 12月8日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 12月14日 歯科ドック検討小委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 12月22日 診療所変更 岡本歯科医院→おかもと歯科・矯正歯科クリニック

## 上都賀歯科医師会

### 第19回 鹿沼地区歯科医師警察連絡会総会開催

平成21年11月11日（水）午後3時より、鹿沼市福田屋百貨店3階コンベンションホールにて第19回鹿沼地区歯科医師警察連絡会総会が開催された。

総会では、本連絡会会長 佐川徹三先生、顧問鹿沼警察署 古川芳巳署長（代理 五味渕幸男副署長）の挨拶の後、来賓としてお越しいただいた県歯副会長 宮下 均先生より祝辞をいただいた。中田嘉之議長により議事は進行し、その中では大規模災害や事故に対しての県歯の対応が急務であるといった意見も出され、無事閉会となった。

引き続き、特別講演として東京歯科大学 法歯学講座 準教授 花岡洋一先生より「歯科的個人識別—その落とし穴と最新技術—」と題し、歯科医師23名、鹿沼署員13名にご講演いただいた。花岡先生は法歯学会での活躍はもちろん、日本歯科医師会主催の「警察歯科医会全国大会」にて中心的役割を果たすなど、知識はもちろん歯科界と警察業務に関する実務経験も大変豊富な先生である。講演では「『歯型から身元確認』は出来ない、出来るのは『歯科的個人識別』である」「歯科医師に『検視』は出来ない、出来るのは『検死』である」といった落とし穴的なものから最新のデジタル機器の実際まで、我々が警察に対し法歯学的協力をする上で欠かせない知識を学ぶことができた。時間が足りず「大規模災害時の対応」についてのお話を伺いできなかったことが心残りであった。

午後5時30分からは同所にて懇親会となり、



会員と署員が胸襟を開いて懇親を深め、より一層の連携を確認しあった。

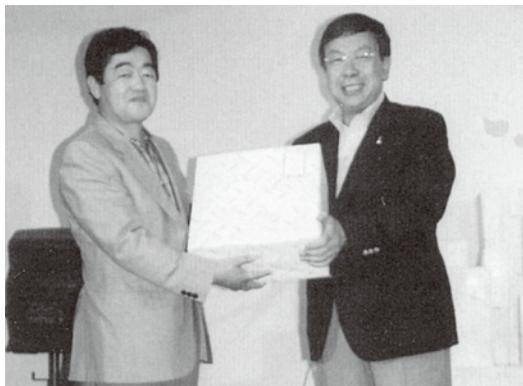
(上都賀広報編集モニター 鈴木定幸：記)

## 第26回福祉大会ボウリング開催

平成21年10月31日（土）、鹿沼トヨーボウルにおいて、上都賀歯科医師会主催の福祉大会ボウリングが開催されました。

午後2時、佐川会長の始球式でゲームはスタート、本年度は11歯科医院より64名が参加し熱戦を繰り広げました。

ゲーム終了後、午後4時半からは福田屋百貨店鹿沼店コンベンションホールにて懇親会が行われました。初めに来賓の先生に御挨拶いただき、続いて表彰式。団体優勝は大貫歯科、準優勝は田代歯科、三位川入歯科。個人優勝は瓦井昭二先生、準優勝は大柳美智子さん（小林歯科）、三位枝村真弓さん（大貫歯科）。大波賞は藤田聖子さん（相馬歯科）、小波賞は船越由美さん（大貫歯科）、以下賞の表彰に続いて恒例のbingo大会となりました。最後は個人優勝の瓦井昭二先生がカラオケにて‘十八番’の「群青」を披露、団体優勝の大貫歯科医院一同にて「学園天国」と大いに盛り上りました。



年々、福祉大会への参加が減少していますが来年は是非とも多くの、とりわけご家族や子供たちの参加をご期待申し上げ、報告とします。

(上都賀歯科医師会

医療管理担当理事：駒橋 武：記)

## 都市歯科医師会だより

### 上都賀歯科医師会

### 旅行

平成21年12月6日（日）から平成22年12月7日（月）にかけて1泊2日で、「早まわり出雲大社と松江市内観光の旅」で、「神話の郷」島根県に行ってきました。鹿沼市役所前に午前4時に集合（早い!!）、鹿沼インターチェンジ近くで何名かの先生も乗り込み、一路バスにて羽田空港に向かいました。

バスが東北自動車道に入ると、佐川徹三会長の挨拶の後、中田嘉之議長の乾杯でバスの後方は早くも上都賀歯科医師会恒例の“車中、早朝宴会”が始まりました。ほろ酔い加減で羽田に到着、飛行機に搭乗する前にも乾杯は続き羽田発午前7時35分JAL1663便出雲行きに登場し、午前9時15分出雲空港に到着しました。

出雲空港からは、地元の超一流、妙齡のバスガイドさん（推定年齢60歳はこえていると思われる？）の話を聞きながら、バスに揺られること約1時間、縁結びの神様で有名な出雲大社を参拝しました。生憎、出雲大社は60年に一度の「平成の大遷宮」中で国宝御本殿をはじめ境内諸建造物の御修造中で、本殿を拝観することはかないませんでしたが、御仮殿のしめ縄も、充分に立派で勇壮なものでした。



引き続き、隣接する古代出雲歴史博物館を観覧しました。かつて出雲大社の本殿は、現在よりも

(修造中の御本殿は、約24mの高さ) さらに高かったと伝えられ、それを裏付ける様に平成12～13年には、出雲大社境内遺跡から杉の大木3本を1組にした巨大な柱（直径約3m）の宇豆柱（うづばしら）が3ヶ所発見され、大きな注目を集めているそうです。遠い昔に思いをめぐらせました。

その後、いよいよ待ちに待った昼食です。島根ワイナリーにて、食前にワインの試飲をし、島根和牛バーベキューのお昼となりました。ここでもアルコールを補充し、おいしくいただきました。

朝、早かったこともあり、昼食後の車中は皆さんお休みになっている様子でした。（後で聞いた話ですが、幹事である駒橋武先生は、バスの前方に座ったためにベテランのガイドさんから目をそらすことができず、朦朧とする意識の中、車窓から望む風景の説明を聞いていたそうです。）

続いて宍道湖の西、平田町にある「木綿街道へ。平田木綿は質の良さで、江戸時代から明治初期にかけて幅広く流通していたそうです。その街道沿いにあった、本石橋邸を見学しました。ここの奥座敷は、松江藩主の休憩所「御成り座敷」として造られたそうで、ここからの庭園の眺めは素晴らしいものでした。

時間に多少余裕が生じたので、翌日訪れる予定だった、めのう伝承館にて、それぞれ思い思いのお土産を購入し、当日の宿泊先である玉造温泉の玉造グランドホテル長生閣に到着しました。夜の宴席の前に本年八月にご逝去された会員の越路昭夫先生に、黙祷をささげました。今回の宴会料理は事前に特にリクエストをして宍道湖の七珍料理（スズキ、シラウオ、コイ、ウナギ、モロゲエビ、アマサギ、シジミ）をいただきました。。「七珍料理を一度の宴会で見たのは初めて」と、若い仲居さんは感心していました。

翌朝は、バスの後方=宴会部は朝からアルコー

ルを補充、絶好調の盛り上がりを維持しつつ、松江に向かい、松江城内を観光しました。松江城は千鳥城とも呼ばれ、全国に現存する12天守の一つで慶長16年（1611年）出雲の領主、堀尾吉晴が5年の歳月をかけて完成したものです。天守閣は、附櫓（つけやぐら）を加えた複合天守で高さ30m、外観5層、内部は6階となっており、最上階は四方を展望できる望楼式です。新島剛先生や高崎道子先生も、城内の急な階段に閉口されつづり、なんと天守閣まで登られました!! 本当に素晴らしい!! 私たちも先生のお歳になったら登れるかどうか？見習わなければ！

天守閣からの眺めは絶景であり、思わず涙があふれてくる程でした。

近くの島根ふるさと館でお土産を買い込んだ後、城下のお堀を遊覧船で散策しました。

この堀川は、築城と同時に造られ、現在もほぼ完全に近い形で残っているという点で珍しいそうです。遊覧船には炬燵が用意しており、屋根が上下に昇降式となっており低い橋を通過する際には屋根が下がります。寒い冬でも暖かく楽しく遊覧できました。

次に小泉八雲記念館を見学しました。小泉八雲（パトリック・ラフカディオ・ハーン／1850～1904）は、ギリシャのレフカダ島でアイルランド人の父とギリシャ人の母との間に生まれ、ミドルネームの「ラフカディオ」はこの地名に因んでいるとか、1890年39歳の時、ハーパー社の特派記者として来日。松江には英語教師として赴任。武家の娘、小泉セツと出会い生活を共にしたが、松江には1年3ヶ月しかいなかつたとか、その後小泉セツと正式に結婚し、日本人小泉八雲となつた等々…いろいろ知ることができました。

お昼は、地元の人で行列ができる人気そば店「神代（かみよ）そば」でいただきました。さすが人気のある店だけにおいしく、当歯科医師会のそば打ち名人の福島隆夫先生、相馬英人先生もうなり声をあげていました。30人も入れば満席になってしまうようなお店だったので、私たちでほ

とんど貸し切り状態となってしまい、お酒の力もあって少々長居してしまって、また新たな行列を作ってしまいました。

その後、今回の旅行最後の観光場所、足立美術館を訪れました。この足立美術館は、地元出身の実業家・足立全康氏（明治32年～平成2年）が昭和45年秋に開館したものです。50,000坪の日本庭園がジャーナル・オブ・ジャパニーズ・ガーデニングで2006年から3年連続庭園日本一となるなど、その名の通り見事でした。館内には、横山大観をはじめ、竹内栖鳳、川合玉堂、橋本関雪、榎原紫峯、上村松園など、近代日本画壇の巨匠たちの作品約1300点を収蔵。また、陶芸館では、河井寛次郎と、北大路魯山人の二巨匠の作品も観られ圧巻でした。

帰路は、再び出雲空港へ戻り、16時30分発のJAL1688便東京行きに搭乗し、21時頃鹿沼に到着しました。



医療管理委員会担当理事の駒橋武先生、初めての支部旅行幹事の仕事で何かと大変だったと思います。ありがとうございました。またいろいろとお気遣いいただいた総務部会の先生方にも、この場をお借りして感謝申し上げます。

(広報編集室員 大貫真裕：記)

## 広報編集室の思い出

上都賀歯科医師会

元広報編集室長 鰐原悦郎先生を偲んで

(平成6年4月～平成9年3月 編集室長)

栄歎会報「No.600号」記念特集号の企画として、編集室員としてご活躍された先生に取材をすることになり、鰐原悦郎先生の自宅に伺った。当歯科医師会の県歯編集員は、故駒橋秀光先生が昭和34年4月から10年間、鰐原悦郎先生が昭和44年4月から12年間、そして私が昭和56年から現在まで在室している。鰐原先生は、平成6年4月から3年間室長を勤められた。



最近眼が不自由なので自宅のベッドに座っての取材となった。戦時中、元々文科系で仏文学専攻なのに何で歯科医になったのか。「入学したら100名定員のところ250～300名いた。技工をやって腕をみがいた。」という話から始まった。「戦後の何もない時代は食べるのも大変だったが、俺は、はしごかったので何とか凌いだ。」と続いた。

編集室にいた時は、東京にでかける仕事が多かった。話は前回の県歯の会長選挙、今回の選挙、プール制や上都賀歯科医師会史、支部全般など多岐にわたった県歯執行部在任中は、学校歯科や政治連盟などを担当し、役員歴が永かったので写真是たくさんあったが、自宅が全焼し全て失った。

編集室での一番の思い出は何ですかの問い合わせ、「今から40年前、現室長名取先生の大好きな「加仁湯」に行った時、何も知らずに背広に革靴で出かけた。温泉に行くには、当時川が道であった。宿泊した夜、大雨が降った。翌日増水し道がなくなっていた。下山するには川の浅瀬を探して歩かなくてはならなかつた。ひどい目に合つた。」と笑った。

取材は約1時間半に及んだ。体調不良の折、長

時間はお疲れ様でした。

3月9日、鰐原悦郎先生の突然の訃報に接した。2月の取材の時はまだまだお元気で話してくれたことが目に浮かぶ。紙上に載せられないこともたくさん教えてくれた。あの時伺って本当によかったと肝に銘じている。心から御冥福をお祈りいたします。

(取材：広報編集室員 村本明)

## モニター通信

“我が支部この人”リターンズ

### 「匠」のそば職人

上都賀歯科医師会 鈴木 定幸

今回のモニター通信は、約10年前の名企画“我が支部この人”をフューチャーし、当上都賀歯科医師会が誇る“「匠のそば職人”であるお二人の先生をご紹介します。歯科会報誌上でも、上都賀発の記事中にその名を見かけた方も多いであろう福島隆夫先生と相馬英人先生のお二人です。

お二人の「そば打ち」との出会いは平成8年の夏、当時「そば打ち」を趣味としていた木村立男先生（現在「そば」は卒業され、津軽三味線を求道しておられます）の打った蕎麦を食べ、その“うまさ”に衝撃を受けたことに始まります。「これは!!」と思った福島先生は、早速そば粉を買って本を見ながら自分で打ってみたところ…ブツブツの“スプーンそば?”になってしまったそうです。「こりゃダメだ」と宇都宮東警察署そばにある「そばの実」にて行われている“そば教室”に通い本格的に「そば打ち」を学び始めます。一通りの技術を習得した後、三女の出産で里帰りされていた奥様のご実家にて「そば打ち」を初披露、大絶賛を受けたことで…最早“まっしぐら！”に。

—ここで“そば”について少々。そばは他の穀物に比べ栽培期間が短く8~90日で収穫でき

る。収穫した殻つきそばを「玄そば」といい、生きているそばの種である。玄そばから殻（鬼ガラ）を取り除いたものが「丸抜き」、これを製粉し、はじめに取れる内層部の真っ白な粉が「一番粉」（別名：御膳粉、さらしな粉）、次に出て来る中層部が「二番粉」（香り、風味、栄養価に富む標準的そば粉）、最後に表層部の「三番粉」（香りはさらに強いが食味的には劣る）が挽かれてくる。また、玄そばを挽き潰した「挽きぐるみ」という粉もある。次に「そば打ち」について。その手順は大きく分けて①木鉢（水まわし、練り、くくり）②のし台（丸出し、四つ出し、本のし）③包丁（たたむ、切る）④仕上げ（茹でる、盛る）の四工程となる。この道では「包丁3日、のし3月、木鉢3年」などといわれていて、一番難しいのは木鉢の中でも「水まわし」だそうである—



「水まわし」に集中する相馬三段

話はもどって、平成8年の冬、西会津は高畠の玄そばを入手した福島先生は自家製粉に挑戦、難しかったが…「すっごくうまい！！」このとき同席した相馬先生もすっかり虜となり、更なる深み「自家畠でそばの栽培」を目指します。そして平成9年夏、当会の村本 明先生の紹介で小来川に畠を確保し“真のそば作り” [from畠to手打ちそば] を始めました。（その後、小来川の畠はイノブタの食害により断念し現在は壬生の畠で栽培しているそうです）次の

転機となったのは平成13年「栃木のうまいそばを食べる会」に入会し、“筋金入り”的そば打つ達に出会ったことです。この会を通じて全麺協（全国麺類文化地域間交流推進協議会）の「素人そば打ち段位認定」への挑戦が始まりました。福島先生は平成15年に初めて挑んだ初段の試験で最優秀賞、平成19年の四段試験でも最優秀賞を獲得、今年は「たくみの里そば祭り」にて優勝し「名人」の称号を得るなどその才能を開花させ、“この道の甲子園「全日本大会」にも出場を果しています。ともに“そば道”を歩む相馬先生は平成16年に初段、平成20年に三段とこちらも素晴らしい技術をお持ちですが、同時に「鮎釣り」も名人級の腕を持つ趣味“二刀流”的な「そばは福島先生にはかなわない」そうです。お二人の‘そば’を食べてみたい方は、9月6日に行われる県央四都市合同学術研修会の懇親会に「そば屋台」を出店する予定ですがこの号の発行時には…。次の機会は10月31～11月3日に行われる「日光そばまつり」に出店されるそうですので、ぜひお試し下さい。



競技中の福島名人

そんなプロレベルの趣味をお持ちの両先生ですが、診療の充実はもちろん、会務においても福島先生は調査委員会、相馬先生は公衆衛生委員会の担当理事として各委員会を所掌するのみならず、現在鋭意編纂中の「上都賀歯科医師会誌」作製、上都賀歯科医師会独自の「歯科ドック」マニュアル

の改訂作業でも中心となって活動されるなど、パワフルに活動される姿は歯科医師として一つの理想像と言えるお二人ではないでしょうか。

## プラハと音楽

上都賀歯科医師会

日本大学大学院総合科学研究所

茂呂 周

小生の恩師、ジリー・メステッキー教授はチェコ人で、例の「プラハの春」事件で米国に亡命し34歳でアラバマ大学の教授になった秀才である。約3年の留学中、免疫学、特に粘膜免疫学を学び帰国後、日本大学歯学部で研究・教育に従事してきた。留学以来、30数年にわたりボスとは家族ぐるみのつき合いをし、チェコ人をはじめ多くの研究者を紹介され、親しい友人となっている。

小生がボスの生まれ故郷であるプラハを最初に訪れたのは1985年で、未だチェコスロバキア共和国で共産主義国であった。その後、機会のある度にプラハを訪れ、10数回となり共産主義国から資本主義国への変貌を複雑な気持ちで観察してきた。

チェコ人は昔の日本人同様、義理人情、に厚く、数学に強く、通常は大酒飲みで音楽好きである。酒はビールがうまくピルツナー、ブドバイザー（米国のバドワイザー）などが有名であるが、女性用キャラメル入りビール、チェコ人男性が薬と称する酵母入りビールまで多くの種類がある。音楽好きという面ではプラハの国民劇場は市民の寄付であっという間に完成したし、モーツアルトの晩年を支えたのもプラハ市民である。スマタナやドヴォルザークは有名だが、小生はヤナーチェクが好きである。

プラハのメイン・ストリート、バーツラフ広場をつきあたった路地にエステート劇場がある。モーツアルトはザルツブルグが主な活躍の場であったが、モーツアルト自身がオーケストラを指揮し現在まで当時のまま残っている劇場は唯一

1ヶ所エステート劇場のみである。約10数年前、国際微生物学会に参加の折、教室員10数名とエステート劇場2階正面の個室に座り、モーツアルトの「魔笛」を観たが全員、大感激であった。

この劇場は映画「アマデウス」の撮影現場でもあり、モーツアルトがどこに立ち、サリエリがどこに座っていたかも直ぐわかる。現在もオペラの演奏が行われ、入場料も安く、ホテルのフロントに頼めば観劇可能である。チケットがないと云われても劇場のそばのプレイガイドで早期に買えることが多い。プラハに行く機会があったら、是非おすすめである。

## わが家の休日

平成21年当たり年会員

上都賀歯科医師会 鈴木 裕之

特段予定がない日は朝食後、9時を過ぎると、アルトサックスの練習を始める。約2年半前になるが、市内の音楽教室でレッスンをしてくれることを知り、申し込んだ。かねてから興味があったが、市外にしか通うところが無く断念した経緯がある。サックスには数種類あるが、ナベサダこと渡辺貞夫さんと同じアルトに決めた。1978年、「カリフォルニア・シャワー」がヒットし、大学のピックバンドに同級生が所属していたことにも影響を受けた。ちなみにサックスをかじったことがある人はナベサダと呼び捨てにせず、敬意を表して貞夫さんと呼ぶそうである。

音楽経験がほとんど無い私にとって、毎月30分のレッスンを3回受けているが、楽譜に忠実に吹くという基本がなかなか難しい。音符、休符の長さがきちんとしないといけないのだが、一定のリズムがとれない。レッスンは学生の吹奏楽部の練習のようには厳しくないのだが、基本は自己流ではなくきちんとプロから教わることが上達の近道なのだそうだ。

レッスン以外の練習は昼休みの30~40分又は

診療後なので、集中して行うのは休日になってしまふ。ロングトーン、タンギング、スケール練習など基礎を行った後、曲の練習を行う。今は音色を良くする発音の仕方に重点を置いている。曲はポップス、映画音楽、ジャズ、ボサノバなどで、これから徐々に難易度の高いものに挑戦してゆく。長女も私がサックスを始めた後、中学で吹奏楽部に入りフルートを吹いているのだが、さすがに学生の練習量は多く、場数を踏んでいて上達度は娘には及ばない。私は、今のところ音楽教室の発表会が主な演奏場所であるが、今年までにまだ3回しか行っておらず、舞台での演奏後は反省しきりである。

現在、家族6人のうち母、妻以外の4人が音楽教室に通っており、いずれ家族での演奏会ができることが望みでもある。練習の終わった後、



時間があれば楽器店に立ち寄ったり、楽譜を探しにいくことも多くなり、コンサートにも足を運ぶようになった。今月は御茶ノ水まで楽器を見にいく予定である。最後に、サックスを始めてから、腹式呼吸を行うためか、当初より体重が5kg近く減ったことも意外な収穫であった。

## 会長日誌

- 1月9日 鹿沼市介護認定審査会班長会議  
於) 鹿沼市役所
- 2月9日 鹿沼地区保健医療協議会  
於) 鹿沼市民情報センター
- 2月26日 栃歯連盟役員会  
於) 栃歯会館
- 2月26日 郡市歯科医師会長会議  
於) 栃歯会館
- 2月26日 全国歯科医師国保組合栃木県支部運営委員会  
於) 栃歯会館
- 3月2日 栃木県県西健康福祉センター協議会  
於) 鹿沼市民文化センター
- 4月19日 全歯国保組合栃木県支部運営委員会  
於) 栃歯会館
- 4月19日 郡市歯科医師会長会議  
於) 栃歯会館
- 4月19日 栃歯連盟役員会  
於) とちぎ歯の健康センター
- 6月15日 県西健康福祉センター健康危機管理連絡会議  
於) 鹿沼市文化センター
- 6月23日 鹿沼地区保健医療協議会  
於) 鹿沼市民情報センター
- 7月4日 獨協医大口腔外科創立35周年記念式典  
於) 宇都宮市 東武ホテルグランデ
- 7月29日 鹿沼警察署被害者支援連絡協議会総会  
於) 鹿沼警察署
- 7月30日 栃歯連盟役員会  
於) とちぎ歯の健康センター
- 8月12日 地域医療再生計画（骨子案）に係る説明会  
於) 上都賀庁舎
- 9月17日 全歯国保組合栃木県支部運営委員会  
於) 栃歯会館
- 9月17日 郡市歯科医師会長会議

於) 栃歯会館

- 10月7日 栃歯連盟役員会  
於) とちぎ歯の健康センター
- 10月29日 法人改革検討委員会  
於) 栃歯会館

---

## 世 相

---

- |       |   |
|-------|---|
| 政 治   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・政権交代（民主党圧勝） 第93代内閣総理大臣に鳩山由紀夫氏</li> <li>・第44代米大統領にバラク・オバマが就任（米史上初の黒人大統領）</li> </ul>  |
| 社 会   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・裁判員裁判スタート</li> </ul>  |
| 映画・芸能 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・Believe/曇りのち快晴(嵐/矢野健太 starring Satoshi Ohno)</li> <li>・Poker Face (レディー ガガ)</li> <li>・JIN-仁- (ドラマ)</li> <li>・マイケルジャクソンさん (米 歌手)<br/>死去 (享年50歳)</li> </ul> |
-

## 平成22年(2010)

- 1月6日 保険相談会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 1月25日 歯科ドッグ検討小委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 1月28日 税務講習会  
講師) 安納弘昌 税理士  
鹿沼地区歯科医師警察連絡会  
講師) 栃木県警本部  
警視 野本陽一  
『薬物銃器犯罪の現状』
- 新年宴会  
於) 福田屋コンベンションホール
- 1月31日 小林幹夫後援会『新春の集い』  
於) 鹿沼市 日光そば
- 2月1日 B型肝炎ウィルス検査  
期間) 2月1日～2月4日
- 3月末～ ワクチン接種  
於) 上都賀総合病院
- 2月4日～2月25日 成人病検査  
於) 関湊記念会クリニック
- 2月8日 保険相談会  
上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 2月10日 臨床研修会〔学術委員会担当〕  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
講師) G.C社員  
テーマ) 治療用顕微鏡説明会
- 2月12日 歯科ドッグ検討小委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 2月16日 鹿沼地区三師会新年懇親会  
於) 福田屋コンベンションホール
- 2月21日 鹿沼市・上都賀歯科医師会共催  
市民公開講座  
於) 鹿沼市民情報センター  
講師) 米山歯科クリニック院長  
医学博士 米山武義 先生  
テーマ) 口は長寿の門  
… 正しい口腔ケアでQOLの  
維持と介護予防

### 上都賀歯科医師会

#### 上都賀歯科医師会新年宴会及び税務講習会・鹿沼地区歯科医師警察連絡会研修会 開催

平成22年1月28日（木）福田屋鹿沼店コンベンションホールにて恒例の「上都賀歯科医師会新年宴会」が催行された。

これに先立ち、まず午後3時より「税務講習会」が行われた。この講習会は会員の正しい納税と適正な節税を目的に、当会顧問税理士である安納攸昌先生を講師にお迎えし、確定申告前のこの時期に毎年ご講演いただいているものである。本年は都合により、ご子息の安納弘昌税理士より平成21年税制改正についてなどのお話をいただき会員25名が聴講した。

続いて4時30分より「鹿沼地区歯科医師警察連絡会研修会」が行われた。全国的にも稀有な‘地域単位’での歯科医師と警察の連絡会である当連絡会は、毎年‘歯科医師を対象に警察側から’と‘警察官を対象に歯科医師会側から’の研修会を行っており、今回は栃木県警察本部 刑事部組織犯罪対策課特捜指導官である野本陽一警視を講師に迎え「薬物銃器犯罪の現状」をテーマに近年の薬物・銃器事犯についての解説を受けた。会員30名が参加した。

そして午後6時、「新年宴会」が開会された。佐川徹三会長の挨拶につづき、佐藤信鹿沼市長、



柴田勝県歯会長、梶田俊行県西健康福祉センター所長からご挨拶をいただいた。併せてご臨席の19名の来賓の方々の御紹介ののち、中田嘉之議長の発声により乾杯となった。当会会員38名と

もども本年の充実に向け互いに杯を重ねた。

「割烹 石ばし」にて行われた第二会場にも柴田会長をはじめ県歯役員の先生方、古川鹿沼警察署長、襲田保健福祉部長ら行政関係者にご臨席いただき、さらなる親睦と懇親を深め、盛会のうちにお開きとなった。

(上都賀広報編集モニター 鈴木定幸：記)

## 平成21年度 鹿沼市・上都賀歯科医師会共催 市民公開講座 開催報告

平成22年2月21日（日）午後1時30分より、鹿沼市市民情報センターにて鹿沼市・上都賀歯科医師会共催の市民公開講座として「口は長寿の門…正しい口腔ケアでQOLの維持と介護予防」をテーマに米山武義先生による講演を開催した。

米山先生は、誤嚥性肺炎の発生率低下のために口腔ケアが大変有効であることを実証するデータを最初に示された先生で、その研究内容は日本はもとより世界的にも高く評価され「口腔ケア」という概念を広く介護・福祉の分野にまで浸透させた第一人者として知られる先生である。関係者待望の講演会は上都賀会員16名、柴田県歯会長をはじめ他都市会員16名、佐藤鹿沼市長など行政関係15名、このほか医師会、福祉関係者、一般市民等80名の計127名を集め大盛況のうちに行われた。

### [講演要旨]

- ・NHKラジオ深夜便「心の時代」に出演した折、「何ゆえ歯科医師が心の時代なのか？」と自問していたが、放送後の反響の大きさに「歯科が実は心のケアと密接な関係にある」ことを再認識した。
- ・「口は健康（病気）の入口、魂の出口」と言われるが、特老ホームにおける臨床研究から要介護者における誤嚥性肺炎予防と口腔衛生との間に注目すべき関係がある事に気づいた。（各種データを供覧し）口腔ケアによって40%前後

の誤嚥性肺炎予防効果が期待できる。

- ・80年代には「口腔ケア」という言葉は社会的にほとんど認知されていなかったが、1999年日本老年医学会雑誌に掲載された「老人性肺炎の病態と治療」という論文に新しい老人性肺炎の戦略が示され、2002年米国老年医学会雑誌に掲載された「Oral Health is CostEffective to Maintain but Costly to Ignore」という論文では、口腔ケアが経済効率の上からもQOL維持のためにも医学的効果が高いことが伝えられるなどして、現在ではいろいろな雑誌等で毎月特集が組まれるまでにその重要性が認識されてきた。
- ・要介護者には比較的低栄養の方が多いが、口腔機能を改善することで血清ALB値が0.3～0.5g/dlも上昇するというデータもある。しかし、「NST（栄養サポートチーム）」に歯科医師が加わっていない例も多い。歯科界としてなんらかの対策が必要ではないか？

以上のように今回の講演で「口腔ケアと口腔機能の重要性」が広く地域社会に認識され、健康と福祉の向上の一助けとなったことは間違いない。そして我々歯科医師もその期待に充分応えるべく、さらなる研鑽の必要性を感じさせる講演会であった。

(上都賀広報編集モニター 鈴木定幸：記)



- 3月1日 歯科ドック事業検討小委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 3月4日 鹿沼地区歯科医師警察連絡会  
於) 鹿沼警察署 会議室  
講師) 駒橋 武  
テーマ) 喫煙と歯周病について
- 3月8日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 3月27日 定時総会  
於) 鹿沼市 まちなか交流プラザ
- 3月31日 木村佐智子先生  
ご母堂 中條富枝 御逝去
- 4月1日 入会 越路千佳子  
診療所移転 石沢デンタルクリニック
- 4月2日 葬儀 木村佐智子先生 ご母堂  
故 中條富枝 告別式  
於) ごくらくやホール
- 4月6日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 4月7日 自民党鹿沼支部役員会  
於) 鹿沼市 西川公也事務所
- 4月19日 歯科ドック検討小委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 4月29日 上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 5月7日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 5月10日 楽しく学ぶ「親子むし歯予防教室」  
打ち合わせ  
於) 市民情報センター
- 5月13日 成人病検査【脳ドック】  
於) 池田脳神経外科  
期間) 5月13日～10月7日
- 5月18日 歯科ドック検討小委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 5月19日 鹿沼地区歯科医師警察連絡会役員会  
於) 季節料理とき
- 5月24日 在宅寝たきり老人歯科保健推進事業・歯科ドック事業機器説明会  
於) 鹿沼市民情報センター
- 5月27日 よい歯のコンクール1次診査  
於) 鹿沼市民情報センター
- 5月30日 西村まさみ先生を励ます会  
於) 栃歯会館
- 6月3日 よい歯のコンクール2次診査  
於) 県西健康福祉センター
- 6月8日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 6月7日 よい歯のコンクール第1回 図画・ポスター審査会  
於) 鹿沼市民情報センター
- 6月9日 第27回県央四郡市歯科医師会合同学術研修会打合わせ会  
於) 宇都宮市 ホテルニューイタヤ
- 6月10日 医療管理研修会  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
講師) フリーアナウンサー  
松本慶子 先生  
テーマ) 話を伝える  
ビジネストーク～ 話言葉で伝える  
1.あなたの話は伝わっています  
か～普段の話し方  
2.伝える情報の整理～話の内容
- 6月11日 楽しく学ぶ「親子むし歯予防教室」  
衛生教育担当打合せ会  
於) 鹿沼市福祉センター



## 上都賀歯科医師会

### 平成22年度医療管理研修会開催

平成22年6月10日（木）午後2時から鹿沼市総合福祉センター大会議室に於いて、上記研修会が開催された。

本支部及び他支部からの会員ならびに従業員の方々にご参加頂き、講師としてフリーナンサーの松本慶子様をお招きし、「話を伝える」という演題でお話を頂いた。サブタイトルは“ビジネストーク～話し言葉で伝える” 1.あなたの話は伝わっていますか～普段の話し方 2. 伝える



情報の整理～話の内容 3.プレゼンテーション～実践編であった。

一般的に、口頭で伝えることが可能な情報量は、話した内容の約3割であると言われている。より多くの情報を相手に伝えるためには、余計な言葉を省き簡潔で分かりやすい内容にして、言葉を伝えるべきである。…分かっているようで、話しているうちにについていき難い経験はないだろうか。そんな失敗を防ぐためのテクニックを、実際の例文を示しながら解説していただいた。

要約すると、話の目的を考え（話の大枠、全体像）情報を取捨選択し項目分けして（聞き手との標準合わせ）、その順番を聞き手の立場で組み立てていく（情報の伝え方の順序を考える）といったところだろうか。

途中、会員の鋭い突っ込みで、演者がたじたじとなるシーンもあったが、討論形式の活発で有意義な研修会となった。

(上都賀歯科医師会

医療管理担当理事 駒橋 武：記)



#### お知らせ

この度、上都賀歯科医師会では独自ドメインを取得しました。

それに伴いましてホームページのURLが変更になりましたのでお知らせいたします。

旧URL http://homepage3.nifty.com/kda/



新URL http://www.k-da.org/

- 
- 6月14日 よい歯のコンクール第2回 作文・標語審査会  
於) 鹿沼市民情報センター
- 6月19日 楽しく学ぶ「親子むし歯予防教室」  
於) 鹿沼市民情報センター  
反省会
- 6月24日 拡大臨床研修会 [学術委員会担当]  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
講師) 東京医科歯科大学  
客員教授 西村耕三 博士  
テーマ) 初歩のインプラント研修  
[希望者に骨埋入実習]
- 6月25日 上野みちこ候補出陣式  
於) 鹿沼商工会議所
- 6月30日 病気療養中の手塚忠雄先生を、ご自宅に佐川徹三会長・菊地均副会長・大貫真裕副会長が見舞う。  
病気療養中の鈴木裕之先生を、ご自宅に佐川徹三会長・菊地均副会長・大貫真裕副会長が見舞う。
- 7月4日 公衆衛生・学術合同研修会  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
講師) 東京歯科大学 市川総合病院 臨床検査科病理  
田中陽一 教授  
テーマ) 口腔ガン細胞診解説と実技
- 7月6日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 7月8日 日光・上都賀歯科医師会合同地区別社保講習会  
於) 福田屋コンベンションホール
- 7月19日 歯科ドック検討小委員会 慰労会  
於) 季節料理とき
- 7月29日 歯科保健指導者講習会  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
講師) (財) ライオン歯科衛生研究所 口腔保健部  
チーフ歯科衛生士 黒川亜紀子 先生
- 8月3日 テーマ) 学校歯科保健の実際  
—現在取り組んでいる事例紹介—  
歯科ドック検討小委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 8月6日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 9月6日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 9月5日 第27回県央四郡市歯科医師会合同学術研修会  
於) ホテルニューイタヤ  
講師) 神奈川歯科大学顎口腔機能修復科学講座  
歯科補綴学分野診療科  
附属病院咬み合わせリエゾン診療科  
玉置勝司 教授  
テーマ) 歯科臨床における知っておきたい咬合の基本  
—シークエンシャル咬合から咬み合わせリエゾン診療科で患者が訴える咬合まで—
- 9月15日 講話会(慰労会)並びに記念誌の為の座談会  
於) 割烹 石ばし  
終身会員: 新島剛 高崎道子  
茂呂允
- 9月22日 歯科ドック検討小委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 9月28日 保健福祉部との懇談会  
鹿沼市長(佐藤信市長)を囲む会  
於) 日本料理 若駒
- 9月30日 鹿沼地区歯科医師警察連絡会役員会  
於) 季節料理とき
- 10月6日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 10月23日 平成22年度移動編集会議  
於) 古峰神社

## 上都賀歯科医師会 公衆衛生・学術合同研修会開催報告 テーマ「口腔ガン細胞診解説と実技」

平成22年7月4日（日）午後1時30分、鹿沼福祉センター大会議室において、東京歯科大学市川総合病院臨床検査科病理 教授 田中陽一先生を御招きし上都賀歯科医師会会員15名、小山歯科医師会会員2名、下都賀歯科医師会会員1名、上都賀衛生士会会員3名の御参加を頂き、上都賀歯科医師会会长 佐川徹三先生の挨拶講師紹介を持ちまして研修会を開始致しました。

口腔軟組織疾患については、昨年東京歯科大学オーラルメディシン・口腔外科学講座教授 山根源之先生の御指導を頂いた際、口腔内のガン検診の必要性も示唆を受け、かつ細胞診の指導を田中教授に受けてみてはどうかとの御紹介をして頂き本講習会となりました。上都賀歯科医師会としては歯科ドックの内容再検討の最中でもあり、ガン検診をどうするかの大変な研修会となりました。



口腔癌は全癌のなかで14位の罹患率でありわが国は先進国で唯一死亡者が増加しており対策はおくれている。1970年以降増加しており死者数は30年で倍増している。近年は若年者の増加が目立ってきている。更に口腔咽頭ガンの5年生存率は50.9%で、これはがん罹患28部位のなかで20番目の低い治療成績である等々の解説から始まり、口腔軟組織の病変と診断を特に口腔がんを中心に話して頂きました。

本題の口腔ガン早期発見への糸口として液状検体による口腔ガン細胞診の解説を頂きました。液状検体採取の実習では最後には田中教授自らの舌辺縁を用いての標本採取まで御指導頂きました。感謝致します。

研修会後、懇親会にも出席頂き、心ばかりではありますが会員との楽しい時間を過ごして頂きました。

(上都賀歯科医師会 学術担当理事  
小川哲弥：記)

## 平成22年度歯科保健指導者講習会開催 『学校歯科保健の実際 —現在取り組んでいる事例紹介—』

平成22年7月29日（木）午後2時30分より、鹿沼市総合福祉センターにおいて歯科保健指導者講習会が開催され、鹿沼市、西方町の小中学校の養護教諭並びに歯科医師、歯科衛生士、教育委員会や保健福祉部の方々が熱心に聴講した。この研修会は小中学校の養護教諭と幼稚園教諭、保育園保育士を対象に隔年毎に行われているものである。

本年の講師は（財）ライオン歯科衛生研究所、口腔保健部、チーフ歯科衛生士、黒川亜紀子先生で、『学校歯科保健の実際—現在取り組んでいる事例紹介—』というテーマで行なわれた。

佐川上都賀歯科医師会会长、角田鹿沼市教育委員会教育長の挨拶の後講演となった。

歯と口は健康の入り口であり、健康は自己実現を図るための資源である。特に小学校、中学校の

学童期は乳歯から永久歯への交換期であり、歯と口は健康教育のスタートでもあり貴重な学習素材=教材である。また学童期は、他律的な時期から自立的な時期への転換期である。この時期にきちんとした健康意識と健康習慣（自分の健康は自分で守る）を身につけることは将来への健康づくり、生活習慣病予防などのため重要であるということを力説しておられた。



#### 「講演要旨」

##### 学校歯科保健を行なう意義として

1. 健康とは自己実現を図るための資源である。生活習慣病の素地は学童期から始まると言われている。この生活習慣病は病気の実態が見えにくいためこれを理解することは容易でない。歯と口は鏡を見ることによって歯や歯肉の変化を直接的に観察することができる。歯垢が付着して発生した歯肉炎が適切な歯みがきで短期間に改善する。自分の体は自分で気をつけて大切にすれば応えてくれるという実感を体験することができる。歯と口は貴重な学習教材である。

2. 生涯にわたる健康づくりは「他律的健康づくり」乳児期の保護者等の手に委ねられ管理から、成人期以降の自らの思考、判断による「自立的な健康づくり」へ移行していくかなければならない。この大きな転換期が学童期である。

学校歯科保健の行動変容を起こす3つのサイクルとして、知識習得、課題発見、体験解決、このような中で小学生のプログラムでは「かむことの大切さ」をテーマに、中学生のプログラムでは「歯肉炎を深く知ってみよう」というテーマで、

ニキビと歯肉炎の発症とメカニズムの共通点を見い出すことで歯肉炎予防=口腔内を清潔に保つことが必要であること。飲み物を知るというプログラムでは、飲み物のPH値を知り飲み物と飲み方が口腔内疾患と関係があることに気づき自分自身で考える力を養う。

上記のような概略で（財）ライオン歯科衛生研究所は全国の幼稚園、小学校、中学校、高等学校で年間500校、4万人を対象に実施しているそうである。また歯の衛生習慣協賛行事として学童歯みがき大会を小学生の歯と口に対する健康意識を育てる目的で毎年開催されており、今年で67回を迎えるそうである。「生きる力」を育むことに重点を置き実験や映像を交え楽しく歯科保健の大切さを学ぶそうで、インターネットにより全国の小学生が在校のまま参加できる大会なので来年度参加したい方はライオン歯科研究所に申し込みをしてほしいと話されておられた。

結びに当たり、学校保健委員会を含めて、学校歯科医の果す役割は益々重要性を増してくるものと思われ、養護教諭と共に有意義な講演であったものと思う。

（上都賀歯科医師会 公衆衛生担当  
相馬英人：記）

#### 上都賀歯科医師会

#### 第25回「藹藹会」開催

平成22年9月15日（水）午後7時より、割烹“石ばし”にて、第25回「藹藹（あいあい）会」が



開催されました。(藪藪会という名称では23回目)

この藪藪会は、上都賀歯科医師会会員相互の「和気藪々」を理念に、古稀を超えていたる大先輩の先生方を囲み、敬意とねぎらいの気持ちを表す会として、昭和61年より毎年この時期に行われています。

本年度は、大先輩であられる5名の先生方をご招待いたしました。畠二郎先生、茂呂周先生は残念ながら欠席となりましたが、新島剛先生、高崎道子先生、茂呂允先生がご多忙のなかご出席くださいました。

出席者一同の拍手の中、先生方をお迎えし、佐川会長より花束を贈呈し、恒例の記念撮影をしました。本年は上都賀歯科医師会85周年記念誌に掲載する座談会を兼ねての祝宴として、編纂担当の福島隆夫先生が進行を務め各先生方より入会当時の上都賀の様子や歯科界への提言など貴重なお話を伺いました。

また、もはや恒例となった【そば打ち実演】は、相馬先生(そば打ち三段)がおひとりで全員分を打つ大活躍、今年も「うまいうまい」と皆の箸は止まらず、その名通り「和気藪々」の楽しい宴となりました。



そして、是非また来年もお元気でこの会にご出席いただけますことを願いつつお開きとなりました。

(上都賀広報編集モニター 鈴木定幸：記)



## 平成22年度移動編集会議

平成22年10月23日(土)24日(日)鹿沼市古峰ヶ原、古峯神社にて広報移動編集会議が行われた。会場となった古峯神社は日光の開祖でもある勝道上人の修験場であったという歴史ある神社である。日本武尊を祀り火防・盜難除・海上安全・五穀豊穣にご利益があるとされ、東北・関東信越に広く信仰圏をもつ。また多くの講中をもつ神社としても著名であり、その数は二万余をこえる。

(※講とは 古峯神社を参拝するため、崇敬する人々が集まって組織する仲間の事。講元・世話人が中心となり、神社参拝に関する費用の事などすべての運営を行う。) 神社への参拝者は古峰ヶ原の神の身許に抱かれて一夜を過ごし、朝一番の御祈祷を受ける事により、一段のご利益があるとされている。

会議は16時より柴田勝県歯会長、井上清志室長のもと、栃歯会報No621(12月発行)の編集に加えて、よい歯のコンクール特集号の校正などが議題とされた。古峰ヶ原射



撃場の瑞々しい芝生を見おろす瀟洒なゲストハウ



スのダイニングルームの大テーブルに資料を広げ、いつもと違う雰囲気の中、活発な討議が行われた。

会議が終わる頃、上都賀歯科医師会より会長の佐川徹三先生、同専務理事の田代高志先生、広報編集モニターの鈴木定幸先生、村本明前広報室員がお見えになり、懇親会が始まった。天沼隆次長の音頭で乾杯、美味しい食事と美味しいお酒、美味しい会話に時を忘れた。デザートのお皿が綺麗になる頃、宮田輝夫室員の手締めにてひとまず閉会し、2次会へ向けてもう一頑張り、という次第

となった。例年この時期であれば紅葉の盛りでおかしくないのだが、今年の猛暑の影響か葉の色付きは遅れていたようだ。けれど参加者の頬だけは紅葉（潮）真っ盛りであったかもしれない。

翌日は朝から晴天であった。茅葺きの大拝殿で御祈祷を受け、身も心も浄められた後、古峰神社の庭園、古峰園へと向かった。2万5千坪の大庭園の杉木立のなかに、数寄を凝らした茶室、峯松庵がひっそりと佇んでいる。案内され、濡れ縁越しに見える庭園の風景を愛でながら抹茶をいただいた。深秋の凛とした空気と、濡れた落ち葉のえもいわれぬ香りのなかいただく一服は清涼の一言であった。しばし談笑ののち、日程終了、解散となつた。

このたび、上都賀歯科医師会の先生方には大変お世話になりました。この場を借りて皆様に厚く御礼申し上げます。

（広報編集員 若林 守：記 大貫真裕：写真）



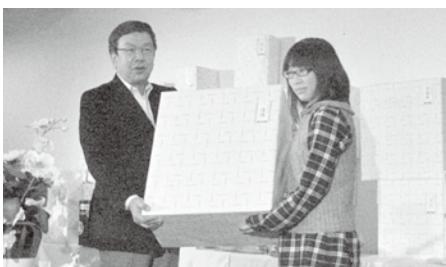
- 10月30日 第27回 福祉大会ボウリング大会  
於) 鹿沼トーヨーボウル  
懇親会  
於) 福田屋コンベンションホール
- 11月3日 病気療養中の鈴木裕之先生をご自宅に佐川徹三会長・大貫真裕副会長が見舞う。
- 11月8日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 11月18日 鹿沼地区歯科医師警察連絡会  
《総会(第20回記念)》  
於) 福田屋コンベンションホール  
特別講演) 家族内の対立と葛藤  
-家族の絆とセイフティ・ネット-  
〔講師〕 国家公安委員会委員  
総合研究大学院大学  
長谷川眞理子 教授
- 12月4日～12月5日 上都賀歯科医師会旅行  
京都方面 京都祇園ホテル・ホテルサンルート京都  
1日目 昼食) 草喰なかひがし  
夕食) 菊乃井  
2日目 昼食) わらじや
- 12月8日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 12月12日 獨協医科大学病院に入院中の小川哲弥先生を佐川徹三会長・大貫真裕副会長・瓦井昭二副議長が見舞う。
- 12月14日 歯科ドック検討小委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 12月20日 法人化検討委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター

## 第27回 福祉大会ボウリング開催

平成22年10月30日(土)、鹿沼トーヨーボウルにおいて、上都賀歯科医師会主催の福祉大会ボウリングが開催されました。

午後2時、佐川会長の始球式でゲームはスタート。本年度は11歯科医院より61名が参加し熱戦を繰り広げました。

ゲーム終了後、4時半からは福田屋鹿沼店コンベンションホールにて懇親会が行われました。初めに来賓の先生にご挨拶いただき、続いて表彰式。団体優勝は田島歯科、準優勝は相馬歯科、三位小林歯科。個人優勝は稻毛智子さん(田島歯科)、準優勝は相馬英人先生、三位田島雅哉先生。大波賞は田代啓子夫人(田代歯科)、小波賞は小林経子さん(鈴木歯科)、以下各賞の表彰に続いて恒例のビンゴ大会となりました。最後は団体優勝の



▲個人優勝

▼団体優勝



ボウリング風景

田島歯科医院一同がカラオケにて「津軽海峡冬景色」を披露、個人準優勝の相馬英人先生が従業員の皆さんを率い「世界にひとつだけの花」と大い

に盛り上りました。

年々、福祉大会への参加が減少していますが来年は是非とも多くの、とりわけご家族やお子様たちの参加をご期待申し上げ、報告とします。

(上都賀歯科医師会

医療管理担当理事 駒橋 武：記)



## 第20回記念鹿沼地区歯科医師 警察連絡会 総会開催

平成22年11月18日（木）午後3時より、鹿沼市福田屋百貨店コンベンションホールにて第20回記念鹿沼地区歯科医師警察連絡会総会が開催された。

総会では、本連絡会会长 佐川徹三先生、顧問鹿沼警察署 鬼木精二署長の挨拶の後、来賓としてお越しいただいた県歯副会長 宮下 均先生より祝辞をいただいた。中田嘉之議長により議事は円滑に進行され無事閉会となった。

引き続き、特別講演として総合研究大学院大学先導科学研究科教授、また国家公安委員会委員でもある 長谷川真理子先生より「家族内の対立と葛藤：家族の絆とセイフティ・ネット」をテーマにご講演をいただいた。

平成4年に発足した本連絡会は今回20回目の総会となる。そこで「第20回記念」と冠し、歯科医師、鹿沼警察署員に加え鹿沼市健康課、・こども支援課等行政関係者にも受講対象を拡げ例年を大きく上回る参加者となった。

講演では、生物学的にみたヒトの家族の特徴を

ふまえた上で家族内の対立と葛藤がどのように存在するのか、対立を最小限にするにはどうしたらよいかを児童虐待を中心にお話いただき、歯科医師、警察、行政、それぞれの立場に大変意義深いものであった。

5時からは同所にて懇親会となり、佐藤 信鹿沼市長にもご臨席いただき、会員と署員、行政が胸襟を開いて懇親を深め、より一層の連携を確認しあわせた。

(上都賀広報編集モニター 鈴木定幸：記)



## 上都賀歯科医師会

### 京都旅行～おかわり！編

京都は旨い。そして深い。

平成22年12月4日（土）、5日（日）に今年度の上都賀歯科医師会旅行として24名参加のもと京都へ行ってきました。はい、そうです、3年前（平成19年）も京都でした。でも、また行きたくなっちゃったんです。まあ「おかわり！」ってことですね。

午前5時30分、まだ暗いJR鹿沼駅出発。

早速車中でビール、焼酎、日本酒…これは京都と関係なし。いつもの事です。赤ら顔で10時京都着、とりあえず集合写真を撮りに東寺へ。一回りしたらもうお昼。うしし…銀閣寺前の〈草喰なかひがし〉です。

ここはぜひ「えっ！〈なかひがし〉に団体で！？」と驚いて下さい。ミシュランこそ2つ星ですが、小人数でさえ3ヶ月前からの予約が取れるかどうか…という店なんですから！

[⇒京都では何を予約するにも〈お茶屋さん〉経由が一番強いのですが、今回一度はお茶屋さんですら断られたのにーなんと、京都大学の名誉教授N、当会のMやSらの団体と言ったらOKが！お茶屋の女将もビックリの人脈です]



さて、この「なかひがし」は洛北の花背にある「美山荘」先代当主の弟さんが始めた店で、美山荘の摘草料理（摘み取った季節の草花や旬の野菜に魚を取り入れた京都門外不出と言われた料理）

の流れを汲んだ懐石料理です。もちろん私には紙面に味を再現する筆力はないので、献立の一部を記すと一焼大根醜醤まぶし、むかご飯蒸、揚板餅、隼人瓜白味噌はさみ、寒鯉平造り、聖護院大根、堀川牛蒡、坂本菊おひたし、青万願寺いため、そしてメインディッシュの「丸干と‘お竈さん’で炊いた白飯」等々。これ、どう考えても‘with日本酒’ですよねえ～。皆が「まだ店を出たくない…」と結局予定よりかなり長居してしまいました。

後ろ髪を引かれつつ向かったのは大徳寺。今回のもう1つの目玉企画「金毛閣」へ。



これは大徳寺の伽藍の一部「三門」と呼ばれる二層の山門（重要文化財）のことで、上層を完成させた千利休が「金毛閣」と命名したのですが、この上層部に利休自身の木像を安置したことから（つまり門をくぐる者は利休の下を通過することになるので）豊臣秀吉の怒りを買い、千利休切腹の原因となったという歴史的な門。当然一切非公開なのですが…そう、今回なぜか（もちろん…？）門に上らせて貰えたのです！そこに安置された利休像は往時のまま。歴史の現場を生で見てしまつよいのかと畏怖の念すら覚える経験となりました。因に同行したバスガイドさんも「金毛閣に上るなんて聞いたこともない！」と大興奮の様子でした。さらに大徳寺では遠州流茶道の開祖小堀遠州が建立した塔頭「孤蓬庵」を見学（ここも通常一般拝観不可。でも特別参観日はあるようです）著名な茶室「忘筌（ぼうせん）千利休とはまた違う武人らしい配慮がされており（正直、説明を受けなければ私には判りませんでしたが…）ホント「京都

の奥深さ」全開！でした。つくづく…

その後、今宮神社脇の名物あぶり餅を食べながらホテルへ。一服したらもう夕飯。皆さんご存知、ミシュラン三ツ星の「菊乃井本店」へ。

季節を味わう京懐石の名料亭ですから、お料理はもちろん…が、しかし、お昼終えてから4時間しか経っていないんですよ、まだ。しかも一品一品のボリュウムがたっぷり…ちょっともったいないことをしてしまったかも。でもそこは「心で味わう料理」を標榜するお店。器やしつらえ、女将や仲居さんのおもてなしは完璧、そこに舞妓さんや芸妓さんを呼んで…お酌してもらい…舞を見て…ここには日常とは（というか栃木とは）全く違う空間と時間が…はああ、やっぱり京都、好き！



すっかりご機嫌。でもお茶屋に上がらなくては京都に行ったとは言えないですから！ということでお祇園「みの家」へ。前回も利用したお茶屋さんですし、大半はもう「一見さん」ではない訳で、すっかり広いだ余裕の宴を楽しみ、延々飲み続けた初日はお開きになりました。〔でも～翌朝話してみたら、例の事件でよくTVに映っていた南座（←祇園近く）で市川海老蔵の‘まねき’を深夜に外している現場を見ていた人が何人も…うん？〕

翌朝9時今日も晴れ。

智積院へ。真言宗智山派の総本山であるこのお寺でも、謎の檀徒総代（但し栃木弁）が現れ「なぜか」非公開の奥宿坊（同じ宗派である成田山や川崎大師の管主が泊まる部屋）や田淵俊夫画伯の襖絵、また国宝の長谷川等伯一門の障壁画を収めた収蔵庫では照明を落として「桜図」の夜桜を見させて頂くなど充実の内容。その後皇室ゆかりの「泉涌寺」に立ち寄り、昼食は当会お約束の「わらじや」へ。こここの「う鍋＆う雑炊」は本当に〈お酒に疲れた胃〉にやさしくして…（と言いつつ‘白焼き’や‘うざく’でぬる燶ゲイグイ～になってしまうのもお約束）



あとは京の台所「錦市場」でお土産買って新幹線。今年の旅行も無事終了となりました。

で、次はいつ行く？

（上都賀広報編集モニター 鈴木定幸：記）



## わが家の休日

### 花たちよ！

上都賀歯科医師会 瓦井紀子

秋、園芸店に行くと、一輪ずつ花をつけた色とりどりのビオラとパンジーのポット苗がたくさん並んでいます。それを見ると私はもうドキドキしてたまりません。紫、赤、黄、クリーム、白、ピンク、ブロッヂ、フリルなど色も形も多種多様で、どれを買うか迷うのです。ここで欲望のまま買ってしまうと、後でまた失敗したということになります。ひとつひとつの花はどれもかわいくて欲しいのですが、花壇に植えたり、プランターに寄せ植えしたものが、春になってウワアーっと咲き始めた時、配色が悪くてゴチャゴチャ暑苦しく見えたり、ボケた感じになったりするのです。何年も失敗してやっとこの頃は、全体の色のテーマをきめてから苗を選ぶようになりました。ビオラとパンジーは、ほんとうにありがたい花です。それらが無かったら冬の庭はどんなに寂しいことかと思います。

今は初夏。千鳥草、黒種草、矢車草、虫とり、なでしこ、フロックスドラモンティなど、毎年こぼれ種で生き続けている花たちが咲いています。ビオラもまだ咲いているけれど、ごめんと言ひながら抜いてしまって夏の花に植えかえているところです。夏の花壇には昔ながらに、百日草、ひまわり、グラジオラス、ほうせん花などを咲かせたいと思います。6月になってからひまわりを蒔きました。去年買ったまま忘れていた種でしたが、4日目にちゃんと発芽しました。3ヶ月で咲くはずなので9月が楽しみです。こぼれ種のメランポジウム、千日紅、サルビアも出て来ました。今から夏に向かって雑草との戦いが待っています。負ければ雑草花壇です。去年の夏に頑張って、花壇全体の土を天地がえして、スギナやヤブカラシの根を除去したためか、今年は今のところ、雑草より花の方が圧倒的に優勢です。メデタシ！

## フリートーク

### 「夏だ 海だ」

上都賀歯科医師会 駒橋一永

フリートークと言うことで、平成22年7月下旬に親子で訪れた沖縄県石垣島2泊3日の旅行記を書こうと思います。これから行かれる会員の参考になれば。ここで一言、朝が早いですが羽田、石垣島直行便を選択されると良いと思います。那覇経由は折角の時間が無駄になります。私達は石垣島空港に12時に到着しました。レンタカーを借り急いで辺銀食堂へ「石垣島ラー油」をゲットしようと向かいましたが残念、午前9時には整理券は無くなるそうです。

次の日午前8時には長蛇の行列でした。路駐危険パトカーいます。駐車後ゲットが安全。その後、離島ターミナルのパーキングを確認。ここも午前9時には満車になるそうで午前8時には駐車したほうが。その後、川平湾へ色が変わる海を見に行きました。川平公園茶屋のソバはさっぱり系でおいしかったです。

次に米原ビーチに向かいました。ここは遊泳禁止のビーチですが、リーフの外に出なければ安全だそうです。しかし、クラゲネットは無く監視員も居ませんでした。自己責任で。しかし、お勧めのビーチです。

最後に今日のメインディッシュの「石垣島の青の洞窟」見学です。ジャングルをしばらく歩いてビーチに出て洞窟に入ります。午後4時でしたが神秘的な青でした。午前中が本当は良いそうです。その後、シュノーケリングをしてカクレクマノミとご対面、あっという間の時間が過ぎました。「NOBUガイドワークス」と言う専門店はお勧めです。

次の日の午前は西表島に行きました。ここで一言、離島移動のフェリーバスは便利です。西表島の上原港と鳩間島との間の「サンゴの島バスラ島」シュノーケリングツアーは大変綺麗で、龍宮

城にいる気分でした。専門店「レイリーフ」はお勧め。

午後は竹富島でサイクリング。コンドイ浜はシュノーケリングには向かないかも？石垣島はマグロ料理もおいしかったです。あつというまの旅行でした。しかし、一番の思いでは島民の暖かい親切さでした。医療人はぜひ一度訪問を。帰ってきたばかりなのに、また石垣島に行きたい病に掛っています。

## モニター通信

### なにも書けなくて…夏

上都賀歯科医師会 鈴木定幸

暑い、暑すぎる…そりや夏だから。で、♪夏が来れば思い出す～のは尾瀬じゃなくてモニター通信の締め切り…（今年は8月6日でした）こんな夏ももう8年目。

さて、なにを書く？8年目、8月、8、はち「Hachi？」byリチャド・ギア…いまさら？…すみません。そんな茹だった頭でふと窓の外を見てみると、なんと鳩が巣を造っている！！そうだ、8月10日は「鳩の日」だし、ちょうど（7年後は）トリ年だし…「整いました！」byねづっち今回は鳩の話を少々。

ウチの診療所、窓の外に紅カナメの生垣があるのですが、昨年ちょっとした工事をした関係上「今年はあまり枝を切らない方がよい」とのことでの、すっかり伸び放題。気が付くとやたら小鳥が来るようになり、そのうち鳩も止まるようになってきて。鳩は木に止まるよりも平面を好むようで、生垣に並んである看板の上を意味無く行ったり来たりしていると思っていたら…先日、スタッフが

「鳩の巣がある」と！！。窓から数十センチ、すぐ横を患者さんが通るような場所に住みついてしまったのです。しかもよく見ると卵を生んでいる！いや？ホントびっくり。こんなの初めて間近で見て、一同興味津々。「夏休みの自由研

究」として毎日観察しています。

[自由研究一ハトについて] すずきさだゆき

鳩はハト目ハト科に属する鳥類の総称で、42首290種に分類されるが、日本に生息するのはドバトとキジバトが大半である。ドバトは堂鳩または塔鳩と呼ばれていたものから転じて土鳩になったといわれており、本来河原に生息していたカワラバトが家禽化された後、再野生化したもの指す。キジバトは別名ヤマバトと言うように、かつては山地に生息していたが都市部で狩猟が禁止されてからは広く生息するようになった。

旧約聖書中のノアの箱舟の話にも登場するようにヒトと鳩との付き合いは長く、その高い帰巣本能を利用し通信手段として用いられ、またヨーロッパやアラブ諸国では雑食性で繁殖力が高い点



から重要な食料とされてきた。

都市部においては年中繁殖し、1回に2卵（1卵うんで1日おいて2卵目）を産む。2卵は通常、雄と雌である。抱卵きかんは15～16日、育雛期間はキジバト14～19日、ドバト35～40日。親鳥の餌は穀類や豆類など基本的に植物質だがミミズ

やバッタなども食べる。雛は「ピジョンミルク」というハト類独特の餌で育つ。これは嗉囊（そのう）の内壁が剥離した乳白色の物質でタンパク質や脂質に富み、雄、雌ともに分泌する。



営巣場所となった場合の主な被害は糞害である。汚損はもちろん、放置すると金属の腐食を促進させる作用がある。またクリプトコッカス症などの病原菌やダニ類を伝播する。しかし、卵を産んでいる場合や雛がいる場合は鳥獣保護法により知事の捕獲許可なく取り除くことは出来ない。

ま、鳩は平和の象徴ですけどねえ。玄関先でハトを飼っている歯科医院って…いいんですか？ダメですね、はい。それにしても、こんな何の実もない駄文を記名で出稿するのは勇気がいるようですよ、本当。でも提出しちゃう。

平和と勇気の2010年、夏…



## 会長日誌

- 1月4日 鹿沼市・鹿沼商工会議所賀詞交換会  
於) 鹿沼商工会議所 催事ホール
- 2月23日 鹿沼地区保健医療協議会  
於) 鹿沼市民情報センター
- 3月2日 栃木県県西健康福祉センター協議会  
於) 鹿沼市民情報センター
- 3月4日 全国歯科医師国保組合栃木県支部運営委員会  
栃歯連盟役員会  
都市歯科医師会長会議  
於) 栃歯会館
- 4月8日 栃歯連盟役員会  
法人改革検討委員会  
於) 栃歯会館
- 4月16日 栃木県議会自民党歯科保健議員連盟  
設立総会  
於) 宇都宮市 ホテル丸治
- 4月18日 自民党栃木県連セミナー  
於) 宇都宮市栃木県文化センター
- 4月19日 みちネット鹿沼・栗野・西方設立準備委員会  
於) 自民党鹿沼支部事務所
- 4月25日 上野みちこ後援会設立総会  
於) 鹿沼商工会議所 催事ホール
- 5月15日 神谷幸伸副議長就任祝賀会  
於) 鹿沼市ニューサンピア栃木
- 6月6日 西村まさみ君を支援する総決起大会  
於) 新宿京王プラザ
- 6月17日 法人改革検討委員会  
於) 栃歯会館
- 7月2日 鹿沼市教育ビジョン検討委員会  
於) 鹿沼市役所
- 7月9日 鹿沼市休日急患歯科診療所運営委員会  
於) 鹿沼市民情報センター
- 7月26日 財古澤育英会評議員選定委員会  
於) 鹿沼市役所

- 
- 8月2日 県西健康福祉センター協議会  
　　於) 鹿沼市文化センター
- 8月10日 鹿沼地区保健医療協議会  
　　於) 鹿沼市民情報センター
- 8月20日 上都賀総合病院院長と三師会との懇談会  
　　於) 鹿沼市 阿津満寿司
- 9月14日 県西地域医療再生コンソーシアム  
　　於) 栃木県庁本館大会議室
- 9月16日 栄養連盟役員会  
　　全歯国保組合栃木県支部運営委員会  
　　都市歯科医師会長会議  
　　於) 栄養会館
- 9月29日 鹿沼市教育ビジョン検討委員会  
　　於) 鹿沼市民情報センター
- 法人改革検討委員会  
　　於) 栄養会館
- 11月16日 鹿沼警察署被害者支援連絡協議会総会  
　　於) 鹿沼警察署
- 11月22日 鹿沼市教育ビジョン検討委員会  
　　於) 鹿沼市民情報センター
- 11月30日 法人改革検討委員会  
　　於) 栄養会館
- 12月10日 歯科保険議員連盟との懇談会  
　　於) ホテルニューイタヤ
- 12月13日 県西地域医療再生コンソーシアム  
　　於) 菊沢コミュニティセンター

---

## 世 相

---

- 社 会
- ・小惑星探査機「はやぶさ」が小惑星イトカワから帰還
  - ・尖閣諸島で中国漁船が巡視船に衝突
  - ・「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」（書籍）
- 流 行 語
- ・イクメン
  - ・AKB48
- 食 品
- ・食べるラー油
  - ・午後の紅茶
- 映画・芸能
- ・アバター
  - ・龍馬伝（ドラマ）
  - ・ゲゲゲの女房（ドラマ）
- 流 行 歌
- ・トイレの神様
  - ・ヘビーローテーション

## 平成23年(2011)

- 1月7日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 1月16日 小林みきお後援会「新春の集い」  
於) 鹿沼市 ニューサンピア栃木
- 1月19日 臨床研修会〔調査委員会担当〕  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
講師) 鹿沼市 上都賀総合病院 リウマチ膠原病内科  
医長 花岡亮輔 先生  
テーマ) リウマチ膠原病について
- 1月27日 法人化検討委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
税務講習会  
講師) 安納弘昌 顧問税理士  
テーマ)  
1) 平成22年 税制改正  
2) 平成22年度版 暮らしの税情報  
3) こんなときこんな税金～私の税金ナビ～H22年版  
4) e-Tax ご利用案内  
5) 日本の財政関係資料  
6) その他  
鹿沼地区歯科医師警察連絡会  
歯科医師対象の研修会  
講師) 鹿沼警察署刑事課長  
発生川 剛 先生  
テーマ) 栃木県暴力団排除条例について  
新年宴会  
於) 福田屋コンベンションホール
- 1月31日 法人化検討委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 2月1日 B型肝炎ウィルス検査及びワクチン接種  
於) 上都賀総合病院  
1) B型肝炎ウィルス検査  
期間) H23年2月1日～3月22日  
2) ワクチン接種  
期間) H23年3月末～  
成人病検査  
日時) H23年2月1日～3月3日
- 場所) 関湊記念会クリニック
- 2月7日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 2月11日 鹿沼市・上都賀歯科医師会共催 市民公開講座  
於) 鹿沼市民文化センター
- 2月15日 鹿沼地区三師会新年懇親会  
於) 福田屋コンベンションホール
- 2月24日 独立行政法人「水資源機構思川開発建設所」歯科健診  
於) 独立行政法人「水資源機構思川開発建設所」
- 2月28日 鹿沼地区歯科医師警察連絡会  
警察官対象の研修会  
於) 鹿沼警察署  
講師) 石澤隆之  
テーマ) 口の健康
- 3月7日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 3月9日 法人化検討委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 3月10日 神谷幸伸県議選候補者への陣中見舞  
(為書・推薦書を届ける)  
於) 鹿沼市 神谷幸伸選挙事務所
- 3月18日 小林幹夫県議選候補者への陣中見舞  
(為書・推薦書を届ける)  
於) 小林幹夫選挙事務所
- 3月22日 第1回 鹿沼市被災者避難所への支援活動  
於) 鹿沼市総合体育館・菊沢コミュニティーセンター
- 3月26日 第2回 鹿沼市被災者避難所への支援活動  
於) 鹿沼市総合体育館  
定時総会  
於) 鹿沼市 まちなか交流プラザ 2階  
会議室B

- 
- 4月1日 慰労金を下記会員に支給  
新島 剛・畠 二郎・高崎道子・茂  
呂 允・茂呂 周  
小林幹夫県議選候補者選挙事務所詰  
め活動・陣中見舞（1日午後7:00）  
於）小林幹夫選挙事務所前  
期間）4月1日～4月9日
- 4月7日 小林幹夫県議選候補者街頭演説会  
於）小林幹夫選挙事務所前  
保険相談会・上都賀歯科医師会史編  
纂委員会  
於）鹿沼市総合福祉センター
- 4月13日 法人化検討委員会  
於）鹿沼市総合福祉センター  
今井一郎 先生 御逝去
- 4月18日 故今井一郎 先生 告別式  
於）川崎市
- 4月28日 臨床研修会【調査委員会担当】  
於）鹿沼市総合福祉センター  
講師）上都賀歯科医師会  
専務理事 田代高志 先生  
テーマ）パワーポイント2010の使い方  
～応用編～
- 5月7日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編  
纂委員会  
於）鹿沼市総合福祉センター
- 5月10日 臨床研修会【調査委員会担当】  
於）鹿沼市総合福祉センター  
講師）大井田医院  
院長 大井田宗継 先生  
テーマ）放射線被曝 今せまる危機
- 5月12日 障害児口腔衛生指導研修会  
於）あおば園  
テーマ）ブラッシング指導とおやつ  
指導  
講師）金子 實
- 5月13日 楽しく学ぶ「親子むし歯予防教室」  
(打合せ会)  
於）市民情報センター
- 5月16日 法人化検討委員会  
於）鹿沼市総合福祉センター
- 5月19日 よい歯のコンクール1次診査  
於）鹿沼市民情報センター
- 5月25日 在宅寝たきり老人歯科保健推進事業  
・歯科ドック事業機器説明会  
於）鹿沼市総合福祉センター  
よい歯のコンクール1次診査  
於）西方町保健センター
- 5月26日 成人病検査【脳ドック】  
於）池田脳神経外科  
期間）5月26日～12月15日
- 6月6日 よい歯のコンクール審査会  
《第1回》 図画・ポスター診査  
於）鹿沼市民情報センター
- 6月7日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編  
纂委員会  
於）鹿沼市総合福祉センター
- 6月8日 第28回県央四郡市歯科医師会合同  
学术研修会《打合せ会》  
於）ホテルニューイタヤ  
楽しく学ぶ「親子むし歯予防教室」  
(衛生教育担当打合せ会)  
於）鹿沼市総合福祉センター
- 6月9日 よい歯のコンクール2次診査  
於）今市保健福祉センター
- 6月13日 よい歯のコンクール審査会  
《第2回》 作文・標語審査  
法人化検討委員会 鹿沼市総合福祉  
センター  
於）鹿沼市民情報センター
- 6月16日 菊地香先生・菊地均先生 ご母堂  
菊地千代子 様 御逝去
- 6月18日 楽しく学ぶ「親子むし歯予防教室」  
・反省会  
於）鹿沼市民情報センター
- 6月20日 菊地香先生・菊地均先生 ご母堂  
故菊地千代子 様 告別式  
於）黒川ホール新鹿沼店  
※御靈前に香典,生花を供した。
- 6月29日 上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於）鹿沼市総合福祉センター

## 都市歯科医師会だより

上都賀歯科医師会

### 平成23年度第1回臨床研修会 (調査委員会担当)報告

平成23年4月28日（木）、鹿沼市総合福祉センター大会議室において臨床研修会が開催されました。

今回は当上都賀歯科医師会専務理事の田代高志先生に『パワーポイント2010の使い方～応用編～』について講演をして戴きました。

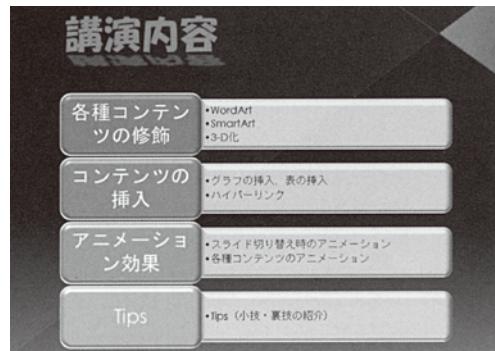


田代先生のパソコンについての講演は今回で第7回目になります。

パワーポイントについては、5回目に『パワーポイント2003の使い方』、6回目に『パワーポイント2007の使い方～基礎編～』の講演をして戴いています。パワーポイント2010は、パワーポイント2007の改良と機能の追加により非常に使いやすくなっているということです。

講演内容は、まず各種コンテンツの修飾について、その中にはワードアート、スマートアート、コンテンツの3D化（立体化）というものがあり、文字に様々な修飾、デザインの効果を与える機能、何種類ものひな形から概念図や組織図を作成する機能、文字や図形を立体化させる機能などについて説明して戴きました。次にコンテンツの挿入ではグラフ、表の挿入時、棒グラフ・円グラフ・折れ線グラフなどの中から目的に合ったグラフを選択出来たり、ハイパーリンクについては、インターネットや他のスライドにプレゼンソフトをリンクさせたりするような方法を教えて戴

きました。



また、スライド切り替え時や、各種コンテンツでのアニメーション効果についての説明（スライド内のテキストや図形などのコンテンツのアニメーション）の他、Tipsとして小技、裏技の拡張機能を教えて戴き、図形やテキスト位置の微調整、複数の字形の位置を合わせる方法、YouTubeの動画の埋め込む為の便利な方法や、プレゼンテーション時に目的に合ったスライドを選択することが出来る目的別スライドショー。レーザーポインタを手に待つことなく画面上にレーザーポインタを出現させたり、プロジェクター（外部出力）にはスライドのみを表示、発表者用のパソコンには発表者用の画面を表示させる方法などを知る事が出来ました。

さらには、学会等で既成のデザインを使うと前の演者と同じデザインで恥ずかしい思いをすることがありますが、背景となる画像を自分で用意しオリジナルのテンプレートを作成する方法もお教え戴きました。

最後に、これからトレンドのお話として、パソコンやインターネットなど情報技術（IT）を使いこなせる者と使いこなせない者の間に待遇、貧富、機会の格差が生じる。又個人だけではなく国家間でも格差が生じるといった意味のデジタルデバイト（digital divide）の話。また、最近話題のクラウドコンピューティング（cloud computing）についても解説して戴きました。クラウドとは雲で、雲（≠インターネット）からいつでもどこに居ても各種データが降ってくるというお話でした。雲の中にはハードウェアやソフトウェアが用意され、そこから自分のパソコンや

携帯電話等端末機器にサービスが提供され、またクラウド（雲）上に自分のデータを共有出来る時代が来ているということでした。



今回の講演を拝聴し、多くの知識を得る事が出来ました。これから事を駆使することにより、より効果的なプレゼンテーションが可能になるのではないかと思いました。また、これからのITによる格差社会についてなど、考えさせられる内容もありました。

(調査委員会担当理事 手塚史雄：記  
鈴木定幸：写真)

## 平成23年度第2回臨床研修会 (調査委員会担当)報告

東日本大震災から2ヶ月が経過した5月10日(火)PM7時より、医療法人源清会大井田医院院長の大井田宗継先生をお招きして『放射線被曝!!今、差し迫る危機について』のテーマのもと標記の研修会を開催しました。



この臨床研修会は、約15年前より上都賀郡市医師会との緊密な連携を図るべく講師を派遣して戴き、毎年2~3回開催しているもので、会員の

要望も多いもの、あるいは時局に合ったものをテーマに行っているのですが、今回は福島原発に端を発した放射能とその被曝について、正しい知識を得るべく開催したものです。他の地区的歯科医師会の先生方や衛生士会の会員にもご出席を戴き、総数40名で聴講しました。

私達が考えていたもの以上に深刻な状態である事も分かりましたが、身を守る術も理解する事が出来、有意義な研修会ではなかったかと思います。

以下、当日の要旨について資料を提示し、開催報告いたします。



放射線被曝!!今、さし迫る危機について  
INTRODUCTION

「見えない敵」に対する脅威あるいは不安が募り、社会的混乱状態  
安全⇒安心

現状及び将来における不条理・憤り  
政府の対応が国民に対して、

リーダーシップが取れない  
情報の共有化あるいは一元化されていない  
情報発信の姿勢（開示情報の信憑性）、これに伴う不信感

悲惨的な現況を把握していない  
情報のエビデンスの確立化?  
中途半端な初動対応の不備により、抜本的な対策の遅れ  
危機感の欠如=究極の決断を下せない!!

### I 災害に伴う原発事故とは？

原子炉内核燃料損傷（安全と謳われた5重構造の破堤）

原子炉の炉心溶融＝メルトダウン  
＝原子炉内燃料が漏れ、放射能が拡散することで、環境を汚染し、人体に影響を及ぼしている状態

#### 原発事故（災害）に対しての三大原則

- ①拡散を止める 早急事項
  - ②炉心を冷やす 緊急事項
  - ③汚染施設を閉じ込める 長期的事項
- 本来であれば「時間との戦い」であるため、短期間に事態収拾すべき事案である。
- しかし、現状では4月17日東京電力は、収束に向けた工程表を発表するも、実現可能性や実効性は不透明である。

したがって、残念ながら長期化は避けられない状態。

#### II 放射線障害

- ①電離放射線 電離作用を示す  
電離放射線障害 $\Leftrightarrow$ 放射線被曝  
X線・ $\alpha$ 線・ $\beta$ 線・ $\gamma$ 線・中性子線・電離線など
- ②非電離放射線  
紫外線・赤外線・マイクロ波・レーザー光線・磁場など

#### III 被曝の形式

- 外部被曝 放射線源が外部に存在  
現場・近距離において急激あるいは大量被曝した状態
- 例) チェルノブイリ原発事故・東海村JCO臨界事故  
国際評価レベル7 レベル4
- 内部被曝 放射線源が吸入・経口・経皮的に体内に侵入し被曝した状態  
現在の我々の立場

#### IV 被曝の分類

早期症状 被曝後、数週間以内に症状出現

晚期症状 数ヶ月以上経過後に症状出現  
急性被曝  
LD50/60(60日観察で50%死亡する線量)  
4～6 Gy  
LD100 (100%死亡する線量) 10Gy

#### V 線量の単位

放射能の単位 Bq (ベクレル)  
吸收線量 Gy (グレイ)  
等価線量の単位 Sv (シーベルト)  
体内摂取した放射性核種から、人体に影響を受ける被曝線量  
表示方法/Hour・/Year・/L・/Kg

#### VI 原因核種と障害

3H (トリチウム)		
131I 134I (ヨウ素)	半減期	8日
134Cs 137Cs (セシウム)	半減期	30年
135Xe (キセノン)		
235U (ウラン)		
238Pu 239Pu 240Pu (プルトニウム)	半減期	24000年
$\beta$ 線・ $\gamma$ 線 $\Rightarrow$ 急性障害		
$\alpha$ 線 $\Rightarrow$ 発癌物質		
妊娠の障害 2～8w時期 $\Rightarrow$ 胎児の奇形		
8w以降 $\Rightarrow$ 胎児の精神遅滞		

#### VII 人体に及ぼす影響について

日本平均自然放射線量 1.48mSv/Hour

##### ①環境条件

核種と放出された電離放射線の種類  
(進達度・臓器特異性)  
気象条件 (雨・雪・風向き・風力)  
地形 (平地・山間)  
時間 (同量被曝でも短期間か長期)  
距離

##### ②個体の感受性

年齢差 小児は成人許容量の1/3  
妊娠 母体及び胎児への影響

③積算量 毎時×被曝期間（総量）

年間8760倍

④発生期間

甲状腺癌 5～10年

白血病 平均12年

固形癌 20～25年

## VIII 予防及び治療

①被曝線量を下げる

②一般的な治療開始時期 20mSv/Year以上

一般人の被曝線量基準 2.4mSv/Year

放射線作業従事者の基準 100mSv/5Year  
(20mSv/Year)

③具体的治療薬

131I 134I (ヨウ素) ヨウ化カリウム

134Cs 137Cs (セシウム) プルシアンブルー

ゼオライト (鉱物)

吸着剤

238Pu 239Pu (プルトニウム) キレート剤  
(Ca-DTPA)

## IX 結論

One for all, all for one

震災から、約2ヶ月経過した現在、個人が自覚をもって日々、「自分で出来る事を実行することにより、我々の真価が問われ、これが、我々国民全体に、協力体制あるいは強固な絆が芽生え、この危機をいかに乗り越えたかが、より早い復旧・復興に結びつき、「将来あるべき日本の姿」に新しい光を見出せるのではないかと考えます。

（調査委員会担当理事 手塚史雄：記）

## 歯の衛生週間行事

上都賀歯科医師会の“歯の衛生週間行事”は「よい歯のコンクール（図画・ポスター・作文・標語）審査」と「親子むし歯予防教室」の2つです。

まず、平成23年6月6日（月）午後7時より、

鹿沼市民情報センターにて「よい歯のコンクール」図画・ポスターの審査を行いました。歯科医師会代表10名、鹿沼市・西方町教育委員会7名の計17名にて、小学校低学年・高学年・中学生のそれぞれに最優秀賞・教育長賞・優秀賞・佳作を選びました。同様に6月13（月）には作文・標語の審査を行いました。今年の応募数は昨年より44増えて応募総数552作品でした。



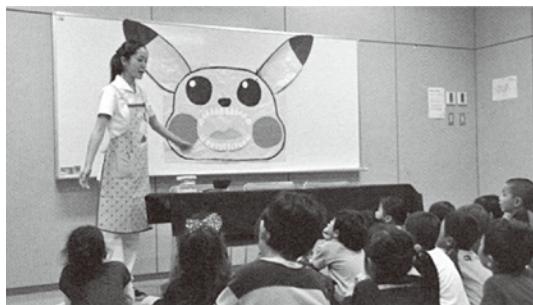
図画・ポスター審査

平成23年6月18日（土）午後1時30分からは、同じく鹿沼市民情報センターにて鹿沼市との共催の“楽しく学ぶ「親子むし歯予防教室」”（第37回）を開催しました。

対象は鹿沼市内の幼稚園・保育園の年長児（799名）と小学1・2年生（1800名）の希望者とその保護者の方々です。本年度は年長児、小学生合わせて359名とその保護者が参加しました。前年比で対象者が120名減、参加者は52名減となり、参加率は1.3%下がりました。

当日の会場の流れは、まず1Fにて受付を行います。そのロビーでは「上都賀歯科医師会統一刷掃法」のビデオを大画面テレビにて上映しました。これは鹿沼市内の小学校にて昼休みに放送し、それに合わせて児童が歯磨きを行っているものです。受付の後、歯科医師による簡単な検診を行い、その後子供は25名、保護者は50名でそれぞれグループを作り2Fへ移動します。子供たちは上都賀歯科衛生士会の衛生士によるブラッシング指導をうけた後、移動してフロリアートにてフッ素イオン導入を行います。その間、保護者の方に

は歯科医師による口腔衛生講話を聞いていただきます。両者はほぼ同時に終わる時間設定にしてあり、栄養士によるおやつ展示コーナー前にて合流して終了となります。帰路には歯科相談コーナーを設け、保護者の方の質問、相談も受け付けます。以上が当日の流れですが、本年もスムーズに進行しました。



歯科衛生士会によるブラッシング指導



フロリアートによるフッ素イオン導入

また、就任以来欠かさずご来場されている佐藤信鹿沼市長は本年も小森基伊鹿沼市保健福祉部長と共に御参加下さいました。そしてやはり恒例の「子供達と一緒にブラッシング指導を受ける」など、この教室の広報活動にもご協力いただきました。



子供達とブラッシング指導を受ける  
(左) 小森基伊保健福祉部長 (右) 佐藤信鹿沼市長  
(上都賀広報編集モニター 鈴木定幸:記)

- 6月30日 医療管理研修会  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
講師) 日本茶ソムリエ協会 栃木県支部  
インストラクター 佐藤結佳 先生  
テーマ) 「心を癒そう日本茶で」  
～一緒に味わいませんか？  
深く美味しい日本茶を～
- 7月1日 上都賀歯科医師会「85周年記念」  
出版記念祝賀会  
於) 福田屋コンベンションホール
- 7月6日 保険相談会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 7月7日 上都賀総合病院口腔外科開設に向けての懇談会  
於) すしやのよし勘
- 7月11日 鹿沼地区歯科医師警察連絡会《役員会》  
於) 季節料理とき
- 7月19日 法人化検討委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 7月14日 飯塚鹿沼市議会議長に面談（歯科保健推進条例について）  
於) 鹿沼市役所
- 7月22日 臨時総会  
於) 鹿沼市民情報センター
- 7月24日 学術・調査合同研修会  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
講師) 足利日本赤十字病院  
口腔外科 部長 山根伸夫 先生  
テーマ)  
1) 最近の口腔外科のトピックス  
と日常臨床において注意しなければならないこと  
～医療安全管理を踏まえて～  
2) 救急蘇生法の実習
- 7月30日 神谷幸伸県議会議長就任祝賀会〔栃木県主催〕  
於) 宇都宮グランドホテル
- 8月5日 保険相談会・法人化検討委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター

## 平成23年度医療管理研修会 (スタッフ研修会)報告

6月30日（木）午後1時30分から、日本茶ソムリエ協会栃木県支部のインストラクター 佐藤結佳先生をお招きして「心を癒す日本茶で」～一緒に味わいませんか？深く美味しい日本茶を～というテーマでスタッフ研修会が開催された。40名弱の参加者で、うち2名は他支部の先生ならびにご家族であった。司会は私が担当し、大貫副会長の開会挨拶、佐川会長の挨拶、講師紹介の順で会は進み、その後研修会となった。



8グループに分かれ(1)日本茶雑学クイズ、(2)実際のお茶の入れ方、(3)ティーコーディネイトの3セクションを設け進行した。

(1)のクイズは20問あり、○×形式でグループごとの解答で行われた。あてずっぽうでも、半分は当たるはずだが意外と難問が多く、最高の正解率のグループでも13問（2グループ）であった。例えば第5問目。緑茶を普段飲む濃さの倍くらいいれると、大腸菌〇-157や黄色ブドウ球菌にも殺菌効果を發揮する？…答えは×。この問題に対する解説をそのまま引用しておく。

{～お茶の強い殺菌効果を知っていますか？～お茶カテキン類には古くからコレラ菌に対して殺菌効果があることが知られていました。食中毒を起こす細菌には感染型と毒素型がありますが、その両方に対してお茶は通常の半分位の濃度で阻止効果があると証明されています。また、大腸菌〇-157や黄色ブドウ球菌（MRSA）に対しても、4分の1程度の濃度で殺菌効果を発揮します。} 他

にも難しい問題が散在した。もし興味のある方は、私の方までご連絡頂ければ資料をご紹介したい。

(2)のセクションでは、鹿児島産の「ゆたかみどり」と静岡産の「やぶきた」をブレンドした100g1,000円位するという上級煎茶を、美味しい淹れ方の解説をして頂きながら実践した。美味しいお茶の淹れ方には6つのポイントがある。すなわち、①お茶の葉の量。1人分約2g（ティースプーン軽く1杯）②お湯の量。1人分約60cc。③お湯の温度。60℃～70℃位。必ず一度沸騰させたものを使います。カルキ臭のある場合には、5分ほど煮沸させます。④待ち時間。1分が目安です。⑤廻し過ぎ。濃さが均一になるよう各茶碗に少しづつ繰り返し注ぎます。⑥最後の一滴まで絞り出す。最後の一滴は美味しさが詰まっています。（ゴールデンドロップという）また、急須にお湯を残さないことで2煎目も渋くありません。

この6つのポイントに気をつけながらお茶をいただくと、今までに味わったことのないような美味しいお茶が頂けた。特に2煎目は、とてもマイルドで甘い味わいだった。



(3)のティーコーディネイトでは、ティーマット、コースター、湯呑み、急須それぞれ好みのものを選び、宇治茶（お茶の香りを大切にしたもの）嬉野茶（すっきり、さっぱり）、茎茶・雁が音茶（さわやかな甘み）の3種類のお茶から1種類を選び、更に、和菓子の中でも季節感溢れる佐川会長肝煎の練り切り3種（さつき、葛蒲、露バラ）から1



種類とおせんべいをコーディネイトして楽しんだ。皆、リラックスして楽しんでいる中、閉会となり、4時少し過ぎに散会となった。

(医療管理担当理事 駒橋 武：記)

## 「85周年記念誌」出版記念祝賀会開催報告

平成23年7月1日（金）午後6時30分より、福田屋鹿沼店コンベンションホールに於いて、上都賀歯科医師会「85周年記念誌」出版記念祝賀会が開催されました。

開会が迫るにつれ、内外から多数のご来賓をお迎えし祝賀会を主管する記念誌編纂委員会メンバーの緊張は弥が上にも高まりました。

大貫副会長の司会の下、駒橋委員の開会挨拶（落ち着いているゾ）、佐川会長の主催者挨拶、委員長の経過報告（ン～硬い、カミカミだ）と続きました。（以下その抜粋）



出版の経緯説明をする福島隆夫編纂委員長

平成18年から上都賀歯科医師会史の資料整備が始まりました。1つは大正14年1月25日から記された「鹿沼歯科医師団記録」の整備でありました。難解な旧文字文章でありましたが村本明委員の奮闘で解読され、内容は本記念誌の根幹を成しております。もう1つは先輩諸氏への聞き取り調査を行いました。第1回は本会長老であり第15代支部長を歴任された新島剛顧問宅でした。以下第9回まで貴重な情報を得ることができ心より感謝しております。平成19年より「上都賀歯科医師会史編纂小委員会」（20年に委員会に昇

格）を立ち上げ、平成23年に本会85周年記念誌を発刊することを目標として本格的に活動を開始しました。庶務ノート、総会資料、栃歯会報等膨大な資料を整理して明治36年鹿沼初の歯科医師開業から、大正14年4月上都賀歯科医師会発足、そして今日まで、本会の生い立ち、年表を作成しました。足掛け6年、委員会48回、聞き取り調査9回、委員の先生には永きに亘り毎回遅くまでご苦労をおかけしました。本日このような席で記念誌をお披露目できることはご協力戴いた内外の皆様のお陰であり感謝に堪えません。

続いて壇上、村本委員から佐川会長に記念誌が引き渡され、委員一同万感の思いでその光景を見つめておりました。



佐川会長に完成した記念誌を引き渡す  
村本明編纂特任理事

今度はお世話になりました晃南印刷小野口様へ会長からの感謝状贈呈が行われました。そしてここで本日のサプライズ、茂呂英運委員から（1番若いのに堂々の風格）式次第になかった村本委員へ感謝状が贈呈されました。先生は栃歯広報編集委員として栃木県歯科医師会100周年記念誌の編集に携わり、その経験と豊かな知識で委員会を正しい方向に導いてくださいました。なにより目が不自由になりながらもライト付拡大鏡を片手に書き上げられた、歯科界を取り巻く世相をも網羅した歯科医師会の生い立ち、大正14年から昭和49年までの年表、題字、扉、歯にまつわる話は全て先生の入魂の力作であります。本当にあり

がとうございました。

セレモニーは進みお忙しい中ご臨席いただいた鹿沼市長佐藤信様、栃木県歯科医師会会长柴田勝様よりご祝辞を頂戴した後、田島委員の来賓紹介（人柄通りやさしい話し方）、祝電披露、中田議長の乾杯へと移り、しばし和やかな懇談となりました。

いよいよ長かった編纂丸の航海もクライマックスへ、手塚史雄委員の閉会の辞は待たれ続けたプレッシャーのなか、全てを乗り越えた喜びがはじけた挨拶で、療養中であり大事をとって祝賀会に参加できなかった鈴木裕之委員の分まで会場の喝采を浴びました。

最後の難関を無事乗り越えて終着点を迎えたかに思えた編纂丸でしたが、どうやらやっと中継点にたどり着いたところであったようあります。鈴木委員も記念誌上梓に合わせたかのように全快して診療に復帰されており、これから全員で100周年に向かい新たな航海に旅立ちたいと思います。

PS：この原稿が掲載されるころには各歯科医師会に記念誌が届いていることと存じます。是非ともご一読戴きますよう編纂委員一同心よりお願ひ申し上げます。

（上都賀歯科医師会史編纂委員会委員長 福島隆夫：記）



## 平成23年度上都賀歯科医師会 学術、調査合同研修会(兼医療 安全管理講習会)開催報告

平成23年7月24日（日）、午後1時30分より鹿沼市総合福祉センターに於いて、足利赤十字病院 口腔外科部長 山根伸夫先生を御招きして、『最近のトピックスと日常臨床に置いて注意しなければならないこと』と題して御講演を戴きました。

山根先生の本会での御講演は10回以上となっており、口腔外科臨床の最新情報のみならず、医療安全管理や救急蘇生法についてほぼ2年に一度、お越し戴いています。今回は上都賀歯科医師会の会員のみならず他の地区の先生や衛生士会の会員の方にも御出席戴きました。

講演内容は、まずMRM [メディカルリスクマネジメント 医療安全管理]について話され、医療を安全に行うために医療ミスを起こさないシステム構築、再発防止、事故を起こす問題点の解析や、何故、想定出来なかったのかについて、ヒューマンエラー、ヒヤリハット、ハイインリッヒの法則、3H、等の、キーワードから講演をして戴きました。



- ・ヒューマンエラー [ダブルチェック、危険予知トレーニング、指差喚呼]
- ・ヒヤリハット [ヒヤリハットの解析、小さな都合の悪い出来事の解析]
- ・ハイインリッヒの法則 [一件の重大事故の下に29件の軽微な事故そして300件のヒヤリハット]

・ 3 H [初めて、久しぶり、変更、の時に事故が起こりやすい]

続いて、感染対策の話では、1996年、アメリカで提唱されたスタンダードプリコーションの概念や感染、減菌、日常臨床に於いての歯科器材、ターピン、グローブ等の取扱いのお話を戴きました。

その後、休憩をはさんで、救急蘇生法の実習では、人形を使ってバックマスクでの人工呼吸、心マッサージ、AEDの一連の救急蘇生と2人でペアになり静脈確保の練習等を行いました。尚、静脈確保の際には、チューブ等の接続を如何に効率よく行うかを重点に、実際に翼針を互いに刺し合う多少緊張感を伴う中でも有益な実習ではなかつたかと思います。



後半の講演では、BSL [一次救命処置] とALS [二次救命処置] の話から始まり、パルスオキシメーターや高血圧、喘息、徐脈、胸痛、痙攣、等の救急薬品の使い方、カーラーの救命曲線、ハイムリック法、心室細動、等のお話を伺いました。

今回、MRMの講演の中で歯科臨床で想定し得る事は沢山あるが、想定外の事は実際にはあまりなりという事を伺い、これから歯科診療に於いて医療安全管理というものを改めて意識していくなければ感じました。何れにしても日常臨床においてGPとして担保しておかなければならぬ事ばかりでしたが、参加者にとっては有意義な研修会であり最後に会長より受講証が全員に手渡され散会となりました。

(上都賀歯科医師会 調査委員会担当理事 手塚史雄：記)

8月6日 編纂委員会並びに歯科ドック検討会  
小委員会合同慰労会

於) 古峯神社「迎賓館」

8月14日 安納攸昌様(顧問税理士)御逝去

8月18日 故安納攸昌様告別式

於) サルナート淨邦 宇都宮式場

※御靈前に香典、生花を供した。

8月25日 歯科保健指導者講習会

於) 鹿沼市総合福祉センター

講師) 日本歯科大学生命歯学部准教授  
小児歯科科長

田村文誉先生

テーマ) 乳幼児期において上手に  
食べるため

～乳幼児の摂食指導を中心～

9月4日 第28回県央四都市歯科医師会合同  
学術研修会《研修会》

於) 宇都宮市 ホテルニューイタヤ

講師) 日本歯科大学生命歯学部  
再生・発生医学講座

中原貴教授

テーマ) 21世紀型一歯科用インプラントに向けた挑戦

～臨床応用できる歯の再生とは～

9月6日 保険相談会

於) 鹿沼市総合福祉センター

9月14日 講義会

於) 割烹石ばし

9月22日 保健福祉部との懇談会・佐藤市長を囲む会

於) 和の心若駒

9月20日 法人化検討委員会

於) 鹿沼市総合福祉センター

9月29日 鹿沼地区歯科医師警察連絡会《役員会》  
於) 季節料理とき

10月6日 障害児口腔衛生指導研修会

於) あおば園

テーマ) ブラッシング指導とおやつ指導

- 講師) 金子 實  
保険相談会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 10月18日 小川哲弥先生 御尊父 小川一弥 様  
御逝去
- 10月20日 富久田鹿沼市議会議長・橋本副議長  
に面談(歯科保健推進条例に関して)  
於) 鹿沼市役所
- 10月22日 小川哲弥先生 ご尊父 小川一弥様  
告別式  
於) 黒川ホール千手町店  
※御靈前に香典,生花を供した。
- 10月29日 福祉大会(第27回)  
於) 福田屋コンベンションホール  
《第1部》食事タイム  
《第2部》ショータイム  
《第3部》大bingoゲームタイム
- 11月1日 歯科疾患実態調査  
於) 鹿沼市板荷地区コミュニティ  
センター
- 11月7日 保険相談会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 11月10日 鹿沼市警察連絡会《総会》  
於) 福田屋コンベンションホール
- 11月14日 法人化検討委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 11月16日 臨床研修会〔学術委員会担当〕  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
講師) 国際医療福祉大学三田病院  
歯科口腔外科部長  
矢郷 香 准教授  
テーマ) 抗血栓薬服用患者の抜歯及  
びインプラント治療  
～ガイドラインにそって服薬継続  
のまま抜歯およびインプラント治  
療をするために～
- 11月20日 保険請求に関する講習会  
於) 栃歯会館

## 平成23年度歯科保健指導者講習会報告

平成23年8月25日(木)午後2時から、日本歯科大学生命歯学部の准教授 小児歯科科長 田村文薈先生をお招きして“乳幼児期において上手に食べるため”～乳幼児の摂取指導を中心に～というテーマで講習会が行なわれました。



歯科医師、歯科衛生士、保育士、養護教諭、行政等から計83名と幅広い参加となりました。大貫副会長の開会挨拶、佐川会長の挨拶、鹿沼市保健福祉部長小森基伊様からの挨拶を戴き、スタートからいきなりのコンピュータートラブルがありましたが、田村先生は全く動じずに、淡々とレジュメを用いて研修会を始めました。コンピューターの復旧後は、動画を交えながら、発達の順番を知ることの重要性、全身の発達とのバランスを考えることを学びました。

その中でも、乳児期の指しゃぶりは食べ物を受け入れる準備として、また、気持ちを落ち着かせることからも非常に大切で、どんどんやらせてほしい。障害があるお子さんは意外にも指しゃぶりを殆どしていない。

また、哺乳期の唇周囲への刺激により、探求反射があるが、未熟児ではこの反射が無いことから、この反射の確認後に哺乳を開始する必要がある。さらに、咀嚼機能の発達ではマンチング(頸の動き)から発達を確認して離乳期を判断する。

食べ物の処理の仕方では、まず口唇で食べ物をとり込んでから嚥下に至るまでに次の3つを順番に獲得させることが重要である。

①口腔内におく

②押しつぶす

③咀嚼する

①→③まで、早ければ良い訳ではない。

さらに、水分摂取機能については、離乳期、哺乳瓶からの移行期にはスプーンでの吸い込む動作が出来てからコップに移行する。

小児の摂食・嚥下障害の原因については未熟性や神経学的障害があるが、特に感覚運動体験が少ない。知的障害者の幼少期の摂食機能の遅れを見過ごされやすい。その為早食い、丸呑みになり、誤嚥の危険性もある。



また、摂食外来の約2割に拒食傾向があり、拒食の子供の多くに過敏があり、嚥下障害がない子供の方が拒食の割合が多い。さらに、過敏がある子供は過敏が取れると拒食も改善することが多い。

というように非常に内容の濃い講習会でした。個人的には、嚥下時に舌を突出させる患者が年齢をとわず多いと感じていましたので、改善方法を質問した所、嚥下訓練以外には、たたたたた…らららら…と発音させる方法が有効であると教えて戴きました。

何れにしても、今回の講習会を聴講した者にとって乳幼児の摂食のみならず、口腔機能の重要性について新たな認識を得るよい機会になったのではないかと思います。

(上都賀歯科医師会 公衆衛生担当理事  
岡本真利：記)

## 第26回「藷藷会」開催

平成23年9月14日（水）午後7時より、割烹“石ばし”にて、第26回「藷藷（あいあい）会」が開催されました。

この藷藷会は上都賀歯科医師会会員相互の「和氣藷々」を理念に、めでたく古希を超えた大先輩の先生方を囲み、敬意とねぎらいの気持ちを表す会として、昭和61年より毎年この時期に行われています。

本年度は、大先輩であられる5名の先生方をご招待いたしました。畠二郎先生は残念ながらご欠席となりましたが、新島剛先生、高崎道子先生、茂呂允先 新入会の茂呂周先生、そして今年古希を迎える新会員(!?)の茂呂周先生がご多忙のなか、ご出席くださいました。



出席者一同の拍手の中、先生方をお迎えし、佐川会長より花束を贈呈しました。恒例の記念撮影の後、祝宴となり各先生方より近況や入会当時の歯科界の様子など貴重なお話を伺いました。また、もはや上都賀名物となった福島、相馬両先生による【そば打ち実演】も行われ、今年も「うまいうまい」と皆の箸は止まらず、初めて食べた茂呂周先生にも「このそばが食べれるなら来年も参加する！」とお褒めの言葉を頂きました。一同大満足し、その名の通り「和氣藷々」の楽しい宴となりました。そして、是非また来年もお元気でこの会にご出席いただけますことを願いつつお開きとなりました。

(上都賀広報編集モニター 鈴木定幸：記)



## 鹿沼市保健福祉部との懇談会 市長を囲む会開催

平成23年9月22日(木)午後6時より、鹿沼市「日本料理 若駒」にて上記の会合が開催された。

この会は歯科公衆衛生を担う行政と歯科医師会の両者による意見交換の為、毎年この時期に行われるものである。



本年は行政側から小森基伊保健福祉部長以下、日向野健康課長、山口課長補佐兼保健指導係長、諫訪健康増進係長の4名、歯科医師会側から佐川徹三会長以下役員13名が出席した。

まず、佐川会長、小森部長の挨拶、相馬担当理事より平成22年度の事業報告が行われ、つづく協議では「在宅寝たきり老人歯科保健推進事業」「歯周疾患検診」「親子むし歯予防教室」「休日急患歯科診療所」など、10のテーマについて協議した。

7時からは佐藤 信

鹿沼市長にご臨席を賜り「市長を囲む会」として保健行政をはじめ市政全般に亘るご講演を戴いた。



その後は懇親会となり、歯科公衆衛生事業のより一層の充実のため、更には市民の益々の健康増進のために胸襟をひらいて話し合いをすることが出来、大変有意義な一時であったと思われる。  
(上都賀歯科医師会 庶務理事 鈴木定幸：記)

## 平成23年度 福祉大会開催報告

10月29日（土）午後6時から、福田屋鹿沼店3Fコンベンションホールにて上記大会が行われた。昨年まで四半世紀に亘ってボウリング大会を行っていたが、トヨーボウル鹿沼店が本年3月に閉店となつたため、本年度は福祉大会の原点に立ち返り、デンタルスタッフの慰労とリフレッシュを願い、懇親会の席でショータイムをメインに楽しむこととなった。

私ども支部の佐川会長が、人脈の広さを生かし、東京コメディーシアター※1から芸人さん（ものまね鉄人 マロン陵、ものまねグランプリ出演パワフル聖子）を招いて「爆笑！そっくりものまねショー」※2と銘打ち、①懇親会、②ものまねショー、③bingo大会の3部構成での福祉大会とした。

※1 御興味のある方は上都賀の佐川会長か駒橋（武）までご連絡下さい。

※2 佐川会長命名



午後6時に開会セレモニーを行い、6時10分ごろから懇親会が始まった。歓談の中、いよいよお待ちかねのショータイム開始。まずはパワフル聖子のものまねから。『松田聖子のものまねから始まり、あやや、はるな愛、くれよんしんちゃんetc…似ている！？似ていない！？…既にものまねという呼び方は超越して、力強い、名前の通りパワフルな聖子、あやや、はるな愛…』デフォルメの極みであった。でも、笑えた。とても笑えた。あれはものまねというよりはパワフル聖子の芸であろう。



ひとしきりパワフル聖子が笑いを取った後、マロン陵にバトンタッチ。『まずは美空ひばりのものまねから…定番の美空ひばりのステージ衣装（あれよりは値は張らないだろうが…）をまとって熱唱。続いて谷村真司、美川憲一、松山千春etc…見事な早業で衣装を変える！』す、素晴らしい…やはり、ものまねというよりは、マロン陵の芸であった。会員＆スタッフ一同、大爆笑の中、あっという間の1時間であった。



続いてbingo大会。今日は空くじなしのbingo大会で、最後まで盛り上がり幕を閉じた。

最後に…福祉大会の進行を仰せつかり本年で3年目になりますが、ご協力頂いた会員の先生方に感謝の意を表し、開催報告とさせて戴きます。

（上都賀歯科医師会医療管理担当理事 駒橋武：記）

## 第21回鹿沼地区歯科医師警察連絡会総会開催

平成23年11月10日（木）午後3時30分より、鹿沼市福田屋百貨店3階コンベンションホールにて第21回鹿沼地区歯科医師警察連絡会総会が開催された。



総会では、本連絡会会長 佐川徹三先生、顧問鹿沼警察署 赤坂 浩署長の挨拶の後、来賓としてお越し頂いた県歯副会長 宮下 均先生より祝辞を頂いた。中田嘉之議長により議事は円滑に進行され無事閉会となった。

引き続き、特別講演として東京歯科大学 法歯学講座 准教授 花岡洋一先生より「歯科の個人識別 実習編—東日本大震災における活動報告とともに—」と題しご講演いただき、歯科医師26名、鹿沼署員27名が聴講した。

**【鹿沼】上都賀歯科医の必要がある」と話す  
医師や歯科医でつく  
る「鹿沼地区歯科医師  
警察連絡会」はこのほ  
ど、歯科医と要員がへ  
アを組み、歯の記録か  
ら身元不明者を確認す  
る実習を行った。  
連絡会は、口内を総  
合的に確認する「歯科  
の個人識別」で歯科医  
と警察の協力関係を確  
定して20年前に設  
置された。佐川徹三上  
都賀歯科医師会会長は  
「私たちは多くの遺体が  
身元確認されており、  
私たちも知識を高め  
てください。東日本大震  
災では多くの遺体が発  
見られました。東日本大震  
災では少なくとも、歯の状  
態が全国で最も多く、  
同様の組織は全国で  
まだない。」と語った。  
鹿沼署員と市の消防委員会が協力し、  
連絡会に取り組んだ。**

**歯の記録から身元を  
連携基に確認作業実習**

洋一准教授は、1998年の日航機墜落事故のほか、大震災後の宮城・岩手・福島3県で被災者の身元認定に携わったデータラン。「推測だけの記録が多かった」と、確認作業のポイントを指導した。その後、署員と歯科医が協力し、半ば骨化した遺体に該当する可能性のある人物が2人との想定で確認作業に取り組んだ。

花岡先生には一昨年にもご講演いただきており、前回は我々が警察に対し法歯学的協力をする上で欠かせない最新の知識を学んだが、時間が足りず「大規模災害時の対応」についてお話を伺いすることができなかった。そして「次の機会…」を検討していたところに東日本大震災が発生。今回は、特に被害の甚大であった岩手、宮城、福島の3県すべてに派遣された唯一の歯科医師として先生が従事された経験から、身元確認作業現場の実際や浮き彫りとなった課題など、一般の報道では知ることの出来ない貴重なお話をご紹介いただいた。また、今回は歯科医師と警察官が同席する講演という特殊性を生かし「警察官がご遺体（写真）から作製した『死後の歯科記録』と、歯科医師が診療録やレントゲン写真から作製した『生前の歯科記録』との異同識別」の実習を行った。歯科医師と警察官がペアとなって症例資料を検討する様子は被災地で今日も行われている光景でもあり、皆緊張感を持って実習に取り組んだ。

その後の質疑応答でも、大規模災害に対応しうる組織作り等のソフト面、またポータブル式レントゲン装置の配備等のハード面など、さまざまな視点から活発に意見が交わされた。

6時からは同所にて懇親会となり佐藤 信鹿沼市長にもご臨席いただき、会員と署員、行政が胸襟を開いて懇親を深め、より一層の連携を確認しあけ合った。

追記—この総会・研修会についての記事が12月3日付下野新聞でも紹介されました。

（上都賀広報編集モニター 鈴木定幸：記）

- 11月29日 獨協医科大学口腔外科分室開設に向けての懇談会  
於) 上都賀総合病院
- 12月4日 上都賀歯科医師会視察研修旅行  
期間) 12月4日～12月5日  
場所) 伊勢・志摩・名古屋方面  
宿泊地) 鳥羽シーサイドホテル  
1日目 昼食) 牛銀本店  
夕食) 鳥羽シーサイドホテル宴會料理  
2日目 昼食) あつた蓬莱軒(神宮店)
- 12月7日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 12月11日 鹿沼市・上都賀歯科医師会共催 市民公開講座  
於) 鹿沼市民文化センター  
講師) 日本歯科大学附属病院  
原 節宏 准教授  
テーマ) 食は地球とのコミュニケーション  
～世界で一番おいしさがわかる日本人の咬み合わせ～
- 12月19日 法人化検討委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター



## 上都賀歯科医師会 視察・研修旅行 伊勢志摩・名古屋方面

平成23年12月4日・5日の両日、本年度の上都賀歯科医師会の旅行が、伊勢志摩・名古屋方面へ向け行われました。

12月4日、JR鹿沼駅に集合し6時27分に出発。JR宇都宮駅でさらに数名の先生方と合流し、お酒・おつまみを持参して新幹線『なすの』に乗車。総勢25名での出発となりました。東京駅で乗り替え一路名古屋へ。天候にも恵まれ、車窓から富士が雄大な裾野を広げる姿を見ることが出来感動しました。

名古屋駅からはバスで移動。車窓から名古屋城、愛知県庁を眺め昼過ぎに松坂市へ到着。牛銀本店にて松坂牛のすき焼きをいただきました。牛銀本店は趣のある木造の建物で伝統を感じました。食事のすきやきは、仲居さんが人数分（5～6人分）のお肉を鍋に敷き、砂糖と醤油のみで味付けをしたものを溶き卵でいただきます。あー美味しい。お肉は少し厚みがありボリュームのあるものでした。お肉をいただいた後野菜や豆腐を煮てもう一枚お肉を追加し、最後にご飯とお味噌汁をいただきました。お酒もすすみ、皆、上機嫌です。すき焼きを堪能した後はバスで伊勢神宮（内宮）へ。伊勢神宮の正式名称は『神宮』で、地名はつかないということでした。五十鈴川に架かる宇治橋（20年に一度架け替え、もしくは大改修が行われる）を渡り、樹木に囲まれた参道を歩くと神楽殿です。そこでは古峯神社宮司（栃木県神社庁長官）の格別のお計らいにより総務部長慶光院利致様の神宮についての故事由来を拝聴しお抹茶を戴きました。更には神官と巫女十数名による御祈祷を受けました。御神礼と神饌が供えられ、雅楽が奏でられる中での巫女の優雅な舞。その中でお祓いを受け、神聖な気持ちになりました。その後、天照大神を祀る皇大神宮（内宮）正宮をお参りし、神宮を後に

しました。バスで宿泊先の『鳥羽シーサイドホテル』に到着。まず温泉でひと風呂浴び、それから夕食となりました。そして部屋に戻り2次会。2次会後ラーメンを食べに行くという先生方も。

翌日も天候良く暖かでした。ホテル前で記念写真を撮りホテルを出発。伊勢市二見町にある『夫婦岩』を観光。男岩は16m、女岩は10m、仲良く並ぶ岩の間をしめ縄で結んであります。そして、そこに鎮座する神社は天照大御神の命による天孫降臨の際に道案内を務めた猿田彦大神を祀っており、『道開き』の神として有名で、その使いのカエルの像もどれだけ撫ぜられたことか早速、ご利益があったみたいで某Padが治ったり、夫婦円満がさらに成就されたり…。その後前日に行った



伊勢神宮の前にあるおかげ横丁を散策。赤福本店にて赤福をいただき（バスガイドさんも一緒）、お土産の赤福を購入。牛肉専門店の豚捨（ぶたすて）では揚げたてのコロッケを戴きました。コロッケだけでなく串カツもメンチも一口サイズで食べやすく老若男女に人気があるようです。おかげ横丁は江戸時代末期から明治初期の門前町の街並みを再現しているとの事で、その木造の建物は、古くなればなるほど味わいある街並みを再現していくのだろうと思いました。次はバスにて名古屋市へ。あつた蓬莱軒（神宮店）にて、ひつまぶしの昼食を戴きました。ひつまぶしの食べ方は、御櫃の中のご飯を十文字に切って四分割し、その四分の一をお茶碗に盛りそのまま食す、食べ終わったらまた四分の一をお茶碗に盛り薬味

を加えていただく。また同じようにお茶碗に盛り薬味と露をかけてお茶づけにして、残りの四分の一はお好みでいただく。とお店の方が説明してくれました。かなりの量がありましたが味に飽きることなく、う巻き、うざく、肝焼きと共に最後まで美味しく食べることが出来ました。案の定、徳利の空の山があっちにもこっちにも、いわば恒例ですので大した驚きもありませんが、その中で自然発生的に「帰る日の昼は何れにしても鰻に限るね」でお開きです。



今回の旅行の最後は、三種の神器の一つの『草薙剣』が収められている『熱田神宮』の参拝です。この熱田神宮には、織田信長が桶狭間の戦いで熱田神宮に必勝祈願をして大勝した事でそのお礼として奉納した屏、『信長屏』や、名古屋最古の石橋『二十五丁橋』などがありました。この二十五丁橋は今や苔むした太鼓橋でしたが、こんないわれがあるそうです。

「西行法師が出家して東国之旅に出たとき、夏のある日、熱田の二十五丁橋のたもとまで来て休息をとり詩を詠んだ。一かくばかり木陰すずしき宮立ちを誰が熱たと名づけ初めけむ

一するとどこからか歌が返ってきた一やよ法師、東の方へ行きながら、など西行と名告り初めむ一西行はきまり悪そうにして、そそくさと立ち去ったといふ。」樹木が豊かに生い茂った熱田神宮の参道を歩くのはとても気持ちの良いものでした。帰路の時間も近くなりバスで名古屋駅へ移動。駅では土産物を買い足し新幹線に乗車。そして一路宇都宮へ。

今回の旅行は、御祈祷を受け敬虔な気持ちにな

れ、また伊勢、熱田と二大神宮の神域に佇むだけでも心から癒された気持ちになりました。来年の旅行も今から楽しみになってきました。

(上都賀歯科医師会 手塚史雄：記)



## 平成23年度市民公開講座開催報告

平成23年12月11日（日）午後2時30分より、鹿沼市民文化センター小ホールにおいて、平成23年度鹿沼市・上都賀歯科医師会共催、(社)栃木県歯科医師会、下野新聞社、鹿沼地区介護支援専門員連絡会、鹿沼市老人クラブ連合会後援の市民公開講座が開催された。

今回のテーマは☆歯医者さんの食育講座☆「食は地球とのコミュニケーション」～世界で一番おいしさがわかる日本人の咬み合せ～ 講師として日本歯科大学歯学部 准教授 日本歯科大学附属病院総合診療科 頸関節症診療センター長 原節宏先生をお迎えしご講演戴いた。

上都賀歯科医師会会長 佐川徹三先生の開会挨拶並びに司会進行のもと、主催者を代表して佐藤信鹿沼市長のご挨拶、そして柴田勝県歯会長にもご挨拶を戴き講演となった。



その要旨として、世界的な日本食ブームの後押しもあり、健康面においても、クールな日本食のよさが注目を集めている。日本食のよさは栄養面で高い評価を得ているばかりでなく、その調理法や食器、食卓などが「よく噛む」ということに関連していて、海外の料理や食器と一線を画す優れた特徴を持っている。ご飯、煮物、味噌汁、香の物といった日本の伝統的な献立は、食材の中に潜んでいる素材の味やダシの味、香りや風味にこだわり、奥歯で噛むことで、はじめておいしさを感じることができる。一方、ビーフステーキ、ハンバーグといった欧米のメニューは素材の質や味よりも、周囲にからめるソースやドレッシングなどの調味料の味でおいしく感じるよう工夫してあるので、よく噛まなくても済む料理が多い。食卓のスタイルにいたっては、卓袱台に正座して食べる日本の伝統的な食事スタイルは、おいしさの感じ方や健康面で優れている。さらに、私たちは、日本食に敵した歯の形や歯の角度を遺伝的に獲得している。など姿勢を正しくよく噛んで食べる事が大切であると力説しておられた。



講演後一般市民からの質問も多く、大盛況となった講演会であった。結びにあたり、講演の中で要旨的な部分を紹介して開催報告をしたい。

#### 正面咀嚼：食事中の基本姿勢

- 正面を向いて姿勢よく、回数多くごはんを咬む
1. 足は着地する。
  2. すべての足の指に軽く力を入れる。
  3. 腰を立て直す。

4. わざかに前傾して腹筋を意識する。

5. イスの背もたれに頼らない。

6. 肩甲骨を意識して後ろへ下へ。

7. ご飯茶碗を少し高く持ち上げる。

8. 顔が少し起き上がる。

#### ☆食事指導の目的

食事をして疲れない姿勢をとらせる。

#### おいしく咬んで健康になるために

1. 世界の料理をおいしく味わうために普段は日本食にしよう。

2. 正面を向いて飯碗を持ち上げて食事をしてみよう。

3. 食事中はテレビを消し、食べ物に集中しよう。

4. ご飯を口に入れたら回数多く咬むことを心がける。

5. カタカナ料理の日を少なくしてみよう。

6. たまには正座で食事をしてみよう。

7. 微妙な味、風味を大切にしよう。

8. 硬い食品に対する過信と咬みすぎに注意しよう。

9. 日本の伝統文化を守り若い世代に伝えていこう。

10. 地域とコミュニケーションを意識して食事しよう。

(上都賀歯科医師会 公衆衛生担当理事 相馬英人：記 庶務理事 鈴木定幸：写真)

## フリートーク とちの葉

### 想定外？

上都賀歯科医師会 中田 嘉之

東日本大震災と大津波、さらに原発事故は信じられない出来事で、被災者の苦しみとこれから的生活を考えた時、義援金以外では何も協力できない自分に苛立ちを覚えます。しかし、今回の出来事は想定外だったのでしょうか？昭和45年に出版された吉村昭著「三陸海岸大津波」によると、

三陸海岸ではリアス式地形の影響で、過去何回も30m以上の大津波に襲われています。近くでは昭和8年3月の大津波で2,995名が亡くなり、その前の明治29年6月の大津波では26,360名が亡くなっています。集落によっては、先祖からの言い伝えを守って高台に住居を構え被災を免れた所もありますが、漁業で生活している為、多くの人は海辺に住むようになってしましました。三陸沖地震の予想は専門家から出されていましたが、誰もが自分の時代に大津波は来ないであろうと思っていました。原発事故も同じです。経済の成長に不可欠な電力を安価で確保するために、産業界の要請で原発を未来のエネルギーとして取り上げてきました。電力業界と政府と原子力安全委員会と保安院が一体となって原発を推進するため原発安全神話を探し、安全性に批判的な研究者や地震学者を排除しながら54基もの原発を造りました。福島第一原発は、設計時の津波想定は5.7m。しかし実際はその2倍半の14mに達しました。福島で地震と大津波を予想して原発に警鐘を鳴らす研究者は何人もいましたが、班目原子力安全委員長の言葉「そんな事をいちいち心配していたら何も出来ない」に代表されるように、原発の安全性確保の想定が甘過ぎたとしか思えません。結果として、何年後に故郷に帰れるかわからない原発難民を7万1千名も出してしまったのですから、その罪は非常に大きいです。私が想定外だったのは、優秀な人材がそろった民主党が、こんなに仲間割れが多く、国民の為にならない事と、長期政権下で原発を推進して来た自民党が原発災害処理の不手際から、あたかも民主党に原発の責任があるかのように攻撃していることです。とにかく、拳銃一致で戦後最大の難局を乗り切り、放射能を封じ込め、避難している方が早く郷里に帰れるようにする事と、津波で壊滅的な被害を受けた地域の復興と生活再建に全力で取り組んでほしいです。

## 大正に考えて 昭和2年に建築 「駒橋歯科医院、国登録文化財に」



初代、駒橋寅春が自ら設計し建てた歯科医院です。初代寅春、二代秀光、三代私と85年間現役です。

当時、地元に洋館風建物を設計する人がいないため、自らが建築学を学び設計しました。登録された理由に素人による設計の面白さと、地元の大工さんの素晴らしい技術と知識のコラボレーションが評価されたそうです。

また、大工さんが地元の木材・材料を利用する事が丈夫で長持ちに一番と言っていたそうですが、大震災を経験し匠の経験の正しさが証明された気がします。

歯も自分の歯が一番だと思います。

上都賀歯科医師会 駒橋一永：撮影・記

## フレートーク とちの葉

### 「コーラスは楽しい」

上都賀歯科医師会 木村佐智子

私の所属の混声合唱団は老若男女70名を超す大世帯です。あまり上手にはなれないかもしれないが、少し進歩があってそれなりに楽しい団体です。30年位かかわっているが、コーラスを通じ

いろいろな事を学んできた。かなり個性の強い、独特な性格の仲間の集まりで、当然、はみ出しあり、それがぶつかり合いながらも、次第に包みこまれ、合唱のハーモニーがつくられるように融和してしまうんです。音楽が好きという共通事項が大切なんです。私もともと宗教曲に魅せられて、始まったのですが、音楽はジャンルを問わず、大好きです。でも宗教曲は飽きが来ないので。又コーラスをする事により現代曲にも出会えます。作曲は勿論、作詞もすばらしくその琴線に添うことが出来る。何よりです。

昨年、オペラ的な一部分を演奏会で試みたのですが、派手な衣裳をつけて貴婦人になったみたいでした。オペラは自分達だけでなく他の人も楽しめるものと確信しました。

新曲との出逢いは、ちょっと苦しい。でもいつかは出来るようになる。仕上った時の感激は又ひとしお。四声部の中から自分のパートを聞きわけることは、少しスリルがあって、楽しくて気分が良い。混声なので男声部の厚みも力強く欠かせない存在です。私のパートはアルト、難しいけれど、縁の下の力持ち、低温ゆえのチエロのようなうれいがあり深くて味わいがある大人のパートだと、誇りさえ覚えます。

30年の間、仲間も当然うつりかわる。先輩達から人生を学ぶ。終わりがあるその時迄、出来る限り歌いたい。歌を忘れたカナリヤにはなりたくない。



## わが家の休日

平成21年当たり年会員

上都賀歯科医師会 鈴木 節雄

午前3時 自宅を出発。一路待合せの栃木市大平町に向かう。深夜の田舎の国道は我が車の専用道路。交通標識はあっても無いが如し。友達を拾い、国道50号経由 太田インターより北関東道路上にのり関越道渋川インターを目指す。渋滞の名所 佐野アウトレットの交差点もスムーズに通過。日々体にムチ打ちながら仕事をしている老体と、擦り傷で満身創痍の老車、お互いをかばいながら高速道路を疾走、渋川インターへ。そこで一般道の中之条 長野県へと。途中 建設中止の八ッ場ダムの付近を通る。数十mの高さに作られた新設道路の橋とコンクリート製の支柱で作られる巨大な十字形は薄暗い闇夜に浮き出て、さらながら谷間に浮かぶ現代のモニュメント。長野原より 尻焼温泉野反湖へ。闇夜が少しづつ明けると共に低く垂れ込めた雲も上がり 湖畔の登山口に無事つく。約170km 3時間半だった。ここより 目的の白砂山 (2,139m 群馬 新潟 長野の県境に位置する) を目指す。昨年11月にこの山に登ったが 雪の為途中で断念、今回はそのリベンジ。野反湖を遠望しながら約1時間半の登り後、昨年の引き返した地点—昨年は膝まで雪が有った—も無事通過。時々急峻になる道を更に1時間、堂岩山へ着く。ここからは目指す白砂山を見る事ができる。馬の背の道が一筋連なってひとつの山を超えて、その奥に白砂山は有った。再び登り始めて間もなく、下山中の一人の男性一髭は丁寧に剃ってあり小綺麗だった。感じ良いーとすれ違う。話をすると「白砂山より更に奥の山を目指したが、天候が悪く昨日は白砂山でテントした。」とのこと。白砂山より先に道はなく、藪こぎのこと。強者だ。ただ髪の毛はボサボサ 鬚は伸び放題と言う一般的な山の強者のイメージとは少し違う。「山

でも小綺麗にすべきだ」と、思った。馬の背の道を時々難儀しながら、頂上に着く。もう足を挙げなくて良いと思い安堵する、と同時に達成感、充足感が沸き上がってくる。360度の展望に感激し、遠くの苗場山を眺めながら食事し昼寝をする。至福の時を過ごした後、山頂をあとにし帰途に着く。車での帰り道温泉に入って行く。この道沿いには幾つかの日帰り温泉がありそれも楽しみの一つだ。特に尻焼温泉には川の底から温泉が湧き出て川一面が大浴場化している所がある。以前何の予備知識もなくここを通った時、その光景に驚いた。「こんな山奥に、ヌーディストの村が有るのかな?」と。

9月のある日曜日の事を書きました。こんな事が休日の過ごし方であり、健康法でありストレス解消である。(平成22年10月記)

平成22年当たり年会員

上都賀歯科医師会 鈴木節雄

(編集上の手違いで掲載が遅れましたことをお詫び申し上げます)

## モニター通信

‘我が支部この人’ Re2

Dentist ≤ Rock' n' roller!?

上都賀歯科医師会 鈴木 定幸

今回のモニター通信は、名企画‘我が支部この人’を再度フューチャーし、当上都賀歯科医師会が誇る‘ロックンローラー’である駒橋 武先生をご紹介します。

では、とある酒場でオネエちゃん相手に語っていたその音楽人生とは…(あくまで設定だから!!一駒橋先生お酒嫌いだしい～そういうお店行かないしい～。あ、その人！笑わないつつ！！)

俺、幼少時代からテレビっ子でさ。アニメの主題歌を覚えては事あるごとに人前で歌っていた。

歌謡曲も大好きで、小学校の時に沢田研二の「危険な二人」を歌ってたら「意味も分からぬ歌を歌うな！」と母親に怒られたよ。ちなみにその曲は1973年4月発売で、俺は当時9歳。♪今日まで二人は恋という名の～旅をしていたと言えるあなたは～年上の人美しすぎる、ああ、ああ、それでも愛しているのに♪…今でも歌詞カードなしで歌えるよ。脳みそに詰まっている歌詞を全部学間に変えられたら、きっと東大でも合格したかな…ふつ、まあそれはないだろう。

小学6年生の時、臨時教員として教鞭に立った音楽の宇賀神先生というきれいな女性の先生が、授業中に井上陽水のアルバム「断絶」を聞かせてくれて。衝撃を受けたよ。ギターを手に取るようになったのはその頃から。当時、お昼の校内放送係だった俺は、給食の時間中「断絶」を校内放送で流したんだ。怒られることを覚悟して…でも、注意さえ受けなかったよ。その後は陽水→かぐや姫→アリスとフォーク路線をひた走っていたなあ。そんな中学2年生の時に矢沢永吉の「時間よ止まれ」が大ブレイク。これでロックに目覚めたんだ。当然、矢沢の自伝「成り上がり」を読み「自分になりたかったら自分で曲を作れ」という一説に打たれて、早速曲作りに取り掛かったよ。



それ以来、中学時代は早くバンドを結成したいと思うばかり、当然、勉強は疎かになっていたね。ちなみに、駒橋家では、長男はクラシック、二男は洋楽、三男の俺は邦楽を聞いていて、なんともにぎやかな家だったな。

高校に入学するとギターのうまい同級生と早速バンドを作つて…あの頃はオリジナル曲やキャラクルのコピーなどを演っていたよ。そんな生活を送っていたから当然大学受験には失敗、浪人して当時川越にあった「医大予備校」という全寮制の予備校に入学したんだ。その頃かな、知り合った予備校の先輩（確か二浪して医学部へ行ったよ）に洋楽を教えてもらったんだ。えっU2、エレクトリック・サン、エイジア、バンデンバーグ、スティング、フィル・コリンズとかだよ。



大学に入学すると、またバンドを組みオリジナル曲に専念してた。だけど、当時バンドをしていた同級生の大半がハードロック好きだったから、途中からは主にディープパープルのコピーバンドになつていったなあ。



で、その後大学6年生から20年間、すっかりバンドからは遠ざかっていたんだけど、今年8月、大学の頃のバンド仲間と渋谷の「スターラウンジ」というライブハウスで（ほら、夏にライブハウスにガソリンばら撒かれた事件があったでしょ、そこと同じビルだよ！）久々にライブをやつたん

だよ!!やっぱりすっげー気持ちいい。味をしましたつか、来年も新横浜のライブハウスでやるつもり。暇があったら見に来てよ！ホントにさ！でも、惚れちゃっても知らないよ、俺かみさん愛してるし（笑）

冗談はおいといで、ライブに来てくれるのって本当に嬉しいんだよ。この前の渋谷にも何人の先生がわざわざ来てくれたんだ。心から感謝だよ。

ねえねえ、ところで今夜さあ～…

（不適切な内容に付き、以降の発言は自主規制させていただきます）

繰り返しますが、これは事実を基にしていますが、フィクションですので…書いといてなんですが、実際の駒橋先生はこんな話し方しませんから、念のため!!

でも、こんな風に描かれても笑って許してくれる肝の太さこそ～やっぱり唯の歯医者じゃない、むしろロッカー。それが駒橋 武。



駒橋武先生 音楽を除く略歴

昭和39年12月3日生まれ

鶴見大学歯学部卒 博士（歯学）

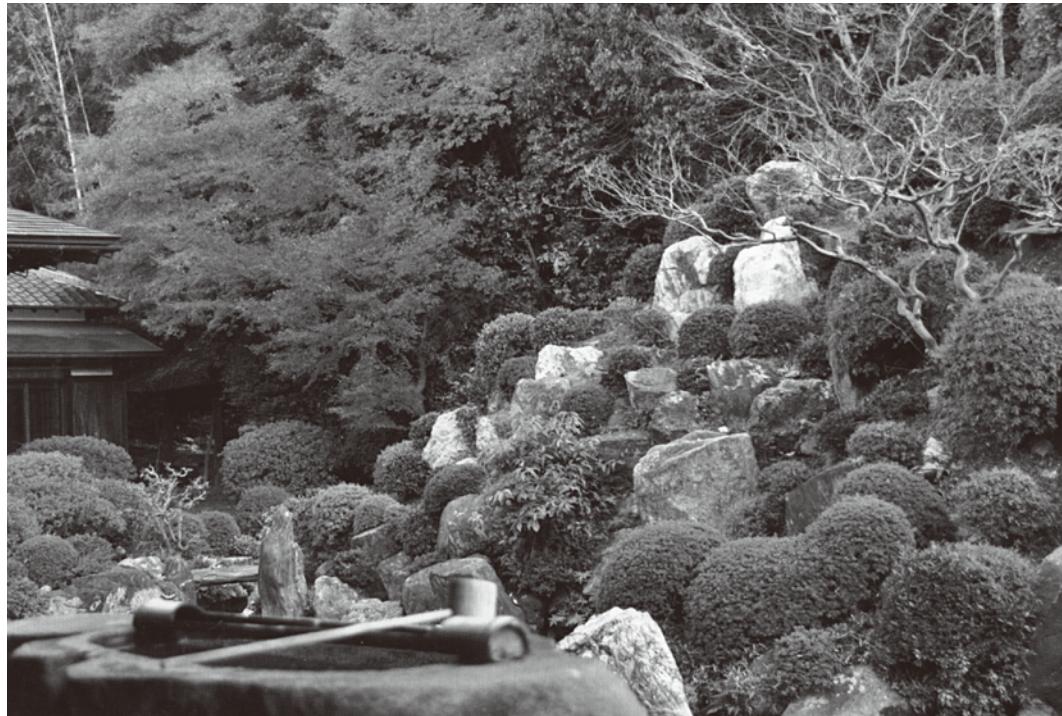
特定医療法人 清和会 鹿沼病院 常務理事

上都賀歯科医師会 理事（医療管理担当）

栃鶴会理事

鶴見大学歯学部非常勤講師

栃木県立衛生福祉大学校非常勤講師



「晩秋の京都」

昨年上都賀歯科医師会旅行で行った智積院・大書院から見た庭園の風景です。

見事な築山と色鮮やかな紅葉のコントラストに暫し見とれてしまいました。(H22.12.5 撮影)

上都賀歯科医師会 鈴木定幸：撮影・記

## 会長日誌

- 1月4日 鹿沼市・鹿沼商工会議所共催  
「新春賀詞交歎会」  
於)鹿沼商工会議所アザレアホール
- 1月27日 鹿沼市・鹿沼商工会議所共催  
「新春賀詞交歎会」  
於)鹿沼市民情報センター
- 2月9日 鹿沼地区保健医療協議会  
於)鹿沼市民情報センター
- 2月17日 栃歯連盟役員会  
於)栃歯会館
- 2月28日 栃木県県西健康福祉センター健康危機管理連絡会議・栃木県県西健康福議会  
於)鹿沼市民文化センター
- 3月3日 全国歯科医師国保組合栃木県支部運営委員会

- 於)栃歯会館  
都市歯科医師会長会議  
於)栃歯会館
- 3月14日 県西地域医療再生コンソーシアム  
於)栃木県庁
- 3月27日 都市歯科医師会長会議  
於)とちぎ歯の健康センター
- 3月31日 NHK FM “とちぎ6時です！  
すこやかダイアリー”にて  
「避難所での口腔ケア」について放送  
於)NHK宇都宮放送局  
収録：H23年3月31日  
放送：H23年4月6日
- 4月17日 都市歯科医師会長会議・栃歯連盟役員会  
於)栃歯会館
- 4月28日 鹿沼市教育ビジョン検討委員会  
於)市民情報センター

- 5月11日 獨協医科大学口腔外科学講座  
今井教授と懇談  
於) 日本料理 花ゆず
- 5月24日 西村まさみ参議院議員・柴田 勝県  
歯会長と(株)ナカニシに表敬訪問  
於) (株)ナカニシ
- 5月31日 神谷幸伸県議会議長就任祝賀会  
[鹿沼地区主催]  
於) ニューサンピア栃木
- 6月9日 法人改革委員会  
於) 栃歯会館
- 6月23日 鹿沼地区保健医療協議会  
於) 鹿沼市民情報センター
- 6月24日 県西健康福祉センター健康危機管理  
連絡会議  
於) 鹿沼市民文化センター
- 7月14日 法人改革委員会  
於) 栃歯会館
- 8月3日 県西健康福祉センター協議会  
於) 鹿沼市民文化センター
- 8月11日 鹿沼市教育ビジョン検討委員会  
於) 鹿沼市民情報センター
- 8月26日 鹿沼市健康づくりのつどい打合せ会  
於) 鹿沼市民文化センター
- 9月15日 郡市歯科医師会長会議・栃歯連盟役  
員会・法人改革委員会  
全国歯科医師国保組合栃木県支部運  
営委員会  
於) 栃歯会館
- 9月27日 鹿沼地区保健医療協議会  
於) 鹿沼市民情報センター
- 11月5日 栃木県法医談話会  
於) 宇都宮市 東日本ホテル
- 11月9日 法人改革委員会  
於) 栃歯会館
- 11月27日 富久田鹿沼市議会議長就任を祝う会  
於) 鹿沼市「日晃そば」
- 12月9日 鹿沼市教育ビジョン検討委員会  
於) 鹿沼市民情報センター

## 世 相

- 
- |         |   |
|---------|---|
| 社 会     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・3.11東日本大震災（宮城県沖約130キロを震源とした地震が発生。震度7、マグニチュード(M) 9.0と日本の観測史上最大規模）</li> <li>・福島第一原発事故</li> <li>・計画停電</li> <li>・地デジ開始</li> <li>・なでしこジャパン初優勝（女子ワールドカップ初制覇）</li> </ul> |
| 流 行 語   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホ</li> <li>・ドヤ顔</li> </ul>  |
| 映 画・芸 能 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴールデンボンバー</li> <li>・家政婦のみた（ドラマ）</li> <li>・おひさま（井上真央）</li> <li>・カーネーション（尾野真千子）</li> </ul>  |
| 流 行 歌   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・フライングゲット（AKB48）</li> <li>・家族になろうよ（福山雅治）</li> </ul>  |
-

## 平成24年(2012)

- 1月6日 保険相談会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 1月18日 鹿沼市歯科保健推進条例検討勉強会  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
研修)  
(1)総論「何故今(仮)歯科保健推進条例が必要か」  
佐川徹三  
(2)「生涯にわたる口腔ケアについて」  
福島隆夫  
出席者) 鹿沼市議会議員: 17名  
議会事務局: 2名  
会員: 11名
- 1月23日 法人化検討委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 1月26日 税務講習会  
於) 福田屋コンベンションホール  
講師) 安納弘昌 税理士  
鹿沼地区歯科医師警察連絡会  
講師) 栃木県警察本部 刑事部科学捜査研究所  
松島和己 科学捜査管理官  
テーマ) 科学捜査研究所の実際と研究  
新年宴会
- 2月6日 保険相談会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 2月15日 臨床研修会 [調査委員会担当]  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
講師) 鹿沼市 特定医療法人 清和  
会鹿沼病院  
院長 駒橋 徹 先生  
テーマ) 「心の闇について考える  
……実は精神科医もよくわ  
からない」
- 2月17日 法人化検討委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 3月7日 保険相談会・法人化検討委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター

### 都市歯科医師会だより

#### 上都賀歯科医師会

#### 第1回(仮)鹿沼市歯科保健推進条例 検討勉強会 開催

平24年1月18日(水)午後7時より、鹿沼市保健福祉センター大会議室にて標記勉強会が開催された。

この勉強会は平成23年4月1日に「栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例」が施行されたことを受けて、この条例の理念を実現させるための地域(市)単位での条例制定のため開催されたものである。

当会では多年に亘り行政と協力し歯や口腔に関する市民の健康保持増進を図ってきた訳だが、この条例制定を機に更に一步踏み出し「鹿沼らしさ」を加味した事業・施策を行うためには、市民の代表である鹿沼市議会議員の先生方に歯や口腔に対する正しい理解と認識を持っていただきた上で「市民目線の実のある条例」を「議員立法」として作っていただくことが肝要と考え、市議会関係者と協議を重ねてきた。昨秋に統一地方選挙が行われた影響もあり協議は一時中断していたが、この度ついに富久田議長を中心に党派の垣根を越えて鹿沼市議全26名の賛同を得るに至り、条例制定に向けて議員を対象とした勉強会を行う運びとなった。



第1回の今回は当会「歯科保健推進条例検討小委員会」のメンバー11名と鹿沼市議17名、議会事務局2名が参加。はじめに佐川会長が「何故今

(仮) 歯科保健推進条例が必要か?」と題し、歯や口腔の役割、むし歯や歯周病の罹患率やとちぎ健康21プランにおける歯科保健目標の推移、歯科疾患と全身疾患との関わり等の総論を述べた。続いて〈各論その1〉として福島副会長より「生涯にわたる口腔ケア」をテーマに口腔ケアの目的と現在取られている対策(施策)について妊娠期から高齢期に至るライフステージ毎に解説した。勉強会終了後も議員諸氏から活発に質問がなされ「大変勉強になった」と好評のうちに閉会となった。今後、各論として「アンチエイジング」や「口腔ガン検診」等を取り上げ更なる理解の深化を図り、真に市民の為となる条例作りを目指していく予定である。



## 上都賀歯科医師会 新年宴会及び税務講習会・ 鹿沼地区歯科医師警察連絡会 研修会 開催

平成24年1月26日(木) 福田屋鹿沼店コンベンションホールにて恒例の「上都賀歯科医師会新年宴会」が開催された。

これに先立ち、まず午後3時より「税務講習会」が行われた。この講習会は会員の正しい納税と適正な節税を目的に、当会顧問税理士である安納弘昌先生を講師にお迎えし、確定申告前のこの時期に毎年ご講演いただいているものである。平成23年税制改正についてなどのお話をいただき会員20名が聴講した。

続いて4時30分より「鹿沼地区歯科医師警察

連絡会研修会」が行われた。全国的にも稀有な「地域単位」での歯科医師と警察の連絡会である当連絡会は、毎年「歯科医師を対象に警察側から」と「警察官を対象に歯科医師会側から」の研修会を行っており、今回は栃木県警察本部 刑事部科学捜査研究所科学捜査管理官である松島和己先生を講師に迎え「科学捜査研究所の実際と研究」をテーマにテレビドラマでおなじみのいわゆる「科捜研」の実際についての解説を受けた。会員30名が参加した。

そして午後6時、「新年宴会」が開会された。佐川徹三会長の挨拶につづき、福田康行鹿沼市副市长、柴田 勝県歯会長からご挨拶をいただいた。併せてご臨席の19名の来賓の方々の御紹介のち、中田嘉之議長の発声により乾杯となった。当会会員37名ともども本年の充実に向け互いに杯を重ねた。

「割烹 石ばし」にて行われた第二会場にも柴田会長をはじめ県歯役員の先生方、角田昭夫教育委員会委員長、小森基伊保健福祉部長ら行政関係者にご臨席いただき、さらなる親睦と懇親を深め、盛会のうちに開会となった。



## 上都賀歯科医師会

### 臨床研修会(調査委員会担当)報告

平成24年2月15日（水）午後7時より、鹿沼市総合福祉センターにて、臨床研修会が開催されました。今回は『心の闇について考える…実は精神科医も良く分からぬ』と題して、鹿沼市特定医療法人 清和会 鹿沼病院理事長 駒場徹先生に御講演をいただきました。

日々の歯科診療を行っている間には、患者からの様々な訴えがあり、それは近年の社会情勢、景気低迷、震災などによるストレス等により、うつ病又は認知症など、心の病気にかかる人が増加しているのではないか、そういう事から人間の理解や対処法等の知識を得るべく研修が開催されました。

心の闇は、その人が何を考えどう感じるのかを、その人に答えてもらい初めて分かるのだそうで嘘をつかれたらその真意は分からない。真意を聞く為の一つには目線の位置に注意し、目線の高さを相手に合わせることが大切。歯科治療では上から覗き込む形になるので圧迫感を与えやすく、患者さんは口を開けたままの状態なので気持ちを伝えにくい訳で日常の忙しい歯科診療の中で注意をしなければならないと感じました。

話し方に関しては、妄想を抱いている人にはその妄想については否定も肯定もしない事や、人は誰かに話をすると楽になる。死にたいと考えている人が「死にたい」と打ち明けると、自殺の危機は軽減する。等の話もいただきました。

精神疾患の治療法にはTDC-10、DSM-IV、従来診断（クレペリンが考案）の3つの診断方法についての話がありました。

神経症（パニック発作、恐怖症、脅迫神経症、ヒステリー etc）とは、精神的原因によって起こり、精神的原因は個人の性格要因と表裏一貫の関係にあります。

精神病には、脳に原因がある場合、脳以外の身体

臓器に原因がある場合、中毒神経障害、の外因性精神障害と、内因性精神障害（ドバミンの異常、セトロニン、ノルアドレナリンの異常）また、非定型心因性精神障害があります。

心身症とはストレスが原因で内分泌系、自立神経系、免疫系に異常をきたす等、定義やメカニズムについて話されました。

神経科領域のトピックスとしては、まず自殺問題があり、平成12年以降年間3万人の自殺者があり、自殺動機の1位 健康問題48% 2位 経済、生活問題23% 3位 家庭の問題12%となっている。また自殺と神経症を照らし合わせると1位が気分障害（うつ病、双極性障害 等）30.2% 2位が物質関連障害17.6% 3位が総合失調症となっている。

次のトピックスは認知症で、日本人の平均寿命は1960年代、男性が65歳、女性が70歳でしたが2010年には男性が79歳、女性が86歳と伸びています。認知症の年齢出現率が70歳頃から増加する事から、高齢化にしたがい認知症が年々増加傾向になっているとのことでした。

第3のトピックスはうつの治りにくさの問題があるということでした。

以前、うつの診断は、原因を推測して診断していたそうですが、背景原因が検査等で明らかに出来ない事がが多い為、現在では原因を考慮せず、その時に認められる症状によって診断するDSM-IVによる診断になったそうです。従来のうつ病は、団塊の世代やその少し前の世代に多いメランコリー親和型（生真面目、融通が利かない）、執着気質（仕事熱心、凝り）であったが、最近で



は広い年齢層に広がり、執着よりも自由気まま、仕事はほどほど、自罰より他罰といったディスチニア親和型性格の30代のうつ。20歳過ぎまで周囲に保護され葛藤の少ない生活を過ごしてきた20代後半から40代の男女におこる未熟型うつ病、若い女性に多く『いい子』と言われて、根底に人見知り等対人恐怖症があり、無理をして人に合わせてしまう性格に多い非定型うつ病があり、それぞれの特徴や比較について伺いました。その他、軽微双極性障害、4回以上のうつエピソードの経験がある、最初のエピソードが25歳以前にある、うつ状態で無い時はいつも気分と意欲が普段より高い、過度の睡眠、他人の行動や反応に対し極めて敏感で、食欲が減るよりも増加傾向にあり炭水化物渴望になる等の特徴あり。この事もトピックスとして挙げられていきました。

うつ病の治療には、身体療法（薬物療法、電気けいれん療法）精神療法（支持的精神療法、認知療法、対人関係療法）があり、薬物の治療薬には、脳内のセロトニン系に作用してうつ状態を緩和する効果のあるSSRIと、シナプス間隙におけるセロトニン、ノルアドレナリンの再取り込みを阻害する事で神経伝達物質の濃度を増加させ情報伝達をうまく行かせ、うつ症状を改善させるSSIA。また神経伝達物質受容体に対する親和性の高いNaSSAがあります。電気けいれん療法は1938年イタリアで考案された治療法のことです。

うつ病患者特有の考え方は『全か無』かの思考、過剰な一般化、肯定面の否認があり、これを訂正する療法を認知療法といいます。

講演内容はかなり広範囲であり精神科の基礎的なことを学ぶことが出来たと感じました。今回の講演を活かすためには、また新たに歯科心身医学といった研修が行えれば日々の診療に役立つ物になるのではないかと思いました。何れにせよこの研修会は、上都賀郡市医師会のご協力のもとに行われているものであり、更に連携を深めるべく様々なテーマで開催出来れば考えております。

(上都賀歯科医師会調査委員会担当 手塚史雄:記)

- 3月15日 鹿沼市歯科保健推進条例検討勉強会  
於) 鹿沼市まちなか交流プラザ  
研修) (3)「アンチエイジングについて」相馬英人  
(4)「唾液について」岡本真利  
出席者) 鹿沼市議会議員：18名  
議会事務局：2名  
会員：14名
- 3月16日 上都賀地区がん患者支援研修会  
於) 上都賀総合病院
- 4月6日 保険相談会・上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 3月29日 社保点数改正講習会
- 5月7日 保険相談会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 5月9日 臨床研修会〔学術委員会担当〕  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
機器説明) シロナ営業部  
テーマ) セレック(現代CAD/CAM)  
システムの説明  
出席者) 会員：14名
- 5月10日 障害児口腔衛生指導研修会  
於) あおば園  
テーマ) 口腔清掃の仕方とおやつ指導  
講師) 金子 實
- 5月11日・9月6日2回  
マタニティ歯科教室  
於) 鹿沼市民情報センター  
講師) 狐塚 行弘・石澤 隆之
- 5月17日 よい歯のコンクール1次診査  
於) 鹿沼市民情報センター
- 5月21日 在宅寝たきり老人歯科保健推進事業  
・歯科ドック事業機器説明会  
於) 鹿沼市民情報センター  
子育て情報室B  
出席者) 健康課：2名  
会員：13名
- 6月4日 よい歯のコンクール 審査会  
《第1回》 図画・ポスター審査  
於) 鹿沼市民情報センター
- 6月5日 保険相談会  
於) 鹿沼市総合福祉センター

## 都市歯科医師会だより

上都賀歯科医師会

### 第2回(仮)鹿沼市歯科保健推進条例 検討勉強会 開催

平成24年3月15日（木）午後4時30分より、鹿沼市まちなか交流プラザに於いて、標記勉強会が開催されました。

第1回は今年1月に開催され、「何故（仮）歯科保健推進条例が必要か？」「生涯にわたる口腔ケア」の2つのテーマで議員を対象に勉強会が行われました。今回は「アンチエイジングについて」を相馬英人理事、「唾液について」を岡本真利理事が解説。鹿沼市議18名、議会事務局2名、当歯科医師会から14名が出席しました。老化とは何か、そのメカニズム、老化（酸化）を防ぐにはどうすれば良いか（赤ワインに含まれるレスベラトロール等）。良く噛むことによってどんな事が起こるのか、唾液は何で作られているのか、唾液検査で分かる事、唾液の働き、ドライマウス等について、説明がありました。私達も勉強になりましたが、議員の方からの目線からはなおさら新鮮で、興味を持てるものであったのではと感じました。



議員立法に向けての条例作成の為の勉強会は、今後も「口腔がん検診」「成人検診システム」と予定されており、議員の方には歯や口腔の健康は全身の健康と深い関係がある事、生涯にわたる健づくりにおいて非常に重要となるテーマとなる

事を認識していただき、また、「鹿沼らしさ」をどのように組み入れるかを課題とし、市民の代表である議員自らが、市民の為の「推進条例」制定を目指して戴きたいと考えております。



（上都賀歯科医師会 手塚史雄：記）

### 臨床研修会(機器説明会)開催報告

平成24年5月9日（水）午後7時より、鹿沼市総合福祉センター大会議室にて標記研修会が開催されました。「セレック（現代CAD/CAM）システムの説明」というテーマのもと、モリタの社員（テクニシャン）によるデモ付き説明会という形式で行われました。

御存知の方も多いと思いますが、セレックとはコンピューター制御によって歯の被せ物や詰め物を設計・製作するオールセラミックシステムのことです。

セレックの大きな特徴として、最先端の3D光学カメラを使用して患部を撮影（スキャン）し患部の歯列をモニター上に再現しますので、今まで当然のように行われていた印象採得が必要なく、また咬合採得も同様に行え、まずここに驚きました。

コンピューター上にスキャンされたデータから自動的にミリングマシンがセラミックブロックを削りだしていくのですが、当日のデモでは小白歯単冠1歯分をわずか12分で削りだしました。

光学カメラで行う印象採得から自動で対合歯との咬合関係の設定や隣在歯との接触関係も自由に

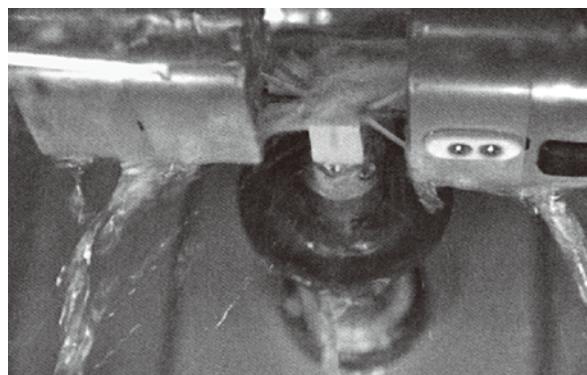
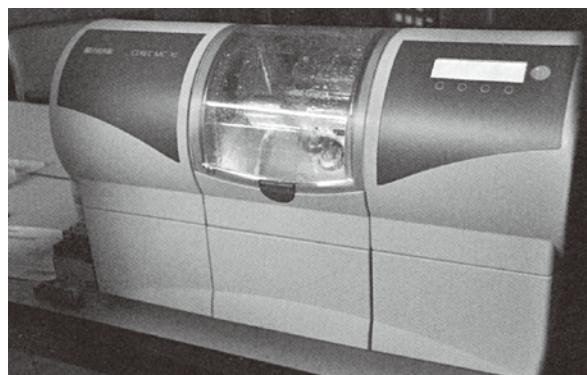
行うことが可能で、その作業工程は実に興味深く見ていて飽きのこないものでした。

研磨作業が行えるので、チアサイドにての調整後に鋳造冠と同様に研磨して口腔内に装着する事も可能で、艶出しを技工所に依頼する事もないでの納期がかかりません。

ブリッジや連結冠といった連続した補綴装置の製作が出来ない事や、より細かい色調の再現が難しく審美領域での使用に対して制限がある等といった欠点は残っておりますが、昨今の金属代の高騰を考えても材料代が比較的安価であり技工料金がかからず、納期が殆ど無いので治療を短期間で出来る（形成面の汚染リスクも少ない！）このシステムは、非常に将来性の高いこれから歯科診療の選択肢の1つとして今後発展していくものと思われます。

日々進歩を続けている様々な素晴らしい治療の手段に対して、我々歯科医師も当たり前ですが精進しなければならないと思いました。

(上都賀歯科医師会 星 雅朗：記  
鈴木定幸：写真



- 6月7日 鹿沼市歯科保健推進条例検討勉強会  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
研修)  
(5)「命を狙う歯周病」【鈴木定幸】  
(4)「口腔癌の恐怖」【田代高志】  
出席者) 鹿沼市議会議員：18名  
議会事務局：2名  
会員：11名
- 6月11日 よい歯のコンクール  
《第4回》 作文・標語審査  
於) 鹿沼市民情報センター
- 6月14日 よい歯のコンクール 2次審査  
於) 県西健康福祉センター
- 6月16日 楽しく学ぶ「親子むし歯予防教室  
参加児童数) 336名  
打合せ会) H24年5月11日  
鹿沼市民情報センター  
衛生教育担当打合せ会)  
H24年6月11日  
鹿沼市総合福祉センター  
反省会) H24年6月16日  
鹿沼市民情報センター
- 6月21日 医療管理研修会  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
講師) ANAラーニング講師・エ  
アライスクールの面接指  
導講師 山田貴子 先生  
テーマ) 「医療現場の接遇&マナー  
研修」  
出席者) 他歯科医師会会員：7名  
会員：8名  
他歯科医師会従業員：13名  
衛生士会：2名  
従業員：22名
- 7月1日 学術・調査合同研修会  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
講師) 獨協医科大学 口腔外科学講座  
今井 裕 主任教授  
テーマ) 上都賀総合病院 歯科口腔  
外科 開設記念  
1) 病診連携の意義と将来展望  
2) 医療安全管理について  
～医療事故防止と医療事故発生時  
の対応を中心に～

## 上都賀歯科医師会

### 第3回(仮)鹿沼市歯科保健推進条例 検討勉強会 開催報告

平成24年6月7日（木）午後4時30分より、鹿沼市総合福祉センターに於いて、鹿沼市議会議員の方々を対象に勉強会が開催されました。鹿沼市議18名、議会事務局2名、当歯科医師会から11名が出席しました。

第3回となる今回のテーマ『命を狙う歯周病について』を鈴木定幸庶務理事が、『口腔癌の恐怖』～口腔がん検診の必要性について～を田代高志専務理事が解説しました。

内容は、歯周病とは何か、どうしてそれが起こるのか、歯周病が命を狙うということはどういうことなのかについてで、歯周組織から入り込んだ細菌が心臓や脳に、または妊娠中の胎児に悪影響を与えてしまうということ。歯周病の慢性的な炎症によって、糖尿病を悪化させてしまうこと。そして、歯周病による肺炎について等を解説しました。



口腔がんについては『がん』とはどういう病気なのか、良性腫瘍と悪性腫瘍の違い、口腔がんの組織型、発生部位、治療法などについて、実際の舌や歯肉にできた口腔がんの写真や、外科的な再建術の写真を見ながら説明しました。口腔がん検診の必要性については、早期発見、早期治療により、肉体的、精神的、経済的負担が軽減される事等や、口腔がんの検査法、セルフチェック、予防法について分かりやすく話され、大変有意義で内容の濃いものでした。

議員の方々にとっては、歯科に関するこのような勉強会はあまり機会が無いようで、質疑応答でも多くの質問を戴くことになり、回を追うごとに関心も高くなっています。

議員立法に向けての条例作成のための勉強会によって、口腔や歯の健康維持、増進が全身の健康に深く関わりがあることを理解して戴き、延いては市民のために利益となる歯科保健推進条例が制定されることを願いつつ、勉強会の開催報告とします。

（上都賀歯科医師会 調査委員会担当理事  
手塚史雄：記）

## 上都賀歯科医師会

### 歯の衛生週間行事

上都賀歯科医師会の“歯の衛生週間行事”は「よい歯のコンクール（図画・ポスター・作文・標語）審査」と「親子むし歯予防教室」の2つです。

まず、平成24年6月4日（月）午後7時より鹿沼市民情報センターにて「よい歯のコンクール」図画・ポスターの審査を行いました。歯科医師会代表11名、鹿沼市教育委員会6名の計17名にて、小学校低学年・高学年・中学生のそれぞれに最優秀賞・教育長賞・優秀賞・佳作を選びました。同様に6月11日（月）には作文・標語の審査を行いました。今年の応募数は西方町が合併により栃木市となった影響もあり（昨年度の西方町

からの出品数141作品) 昨年より153減って応募総数394作品でした。

6月16日(土)午後1時30分からは、同じく鹿沼市民情報センターにて鹿沼市との共催による第38回“楽しく学ぶ「親子むし歯予防教室」”を開催しました。

対象は鹿沼市内の幼稚園・保育園の年長児(910名)と小学1・2年生(1733名)の希望者とその保護者の方々です。本年度は年長児、小学生合わせて336名とその保護者が参加しました。前年比で対象者が44名増、参加者は23名減となり、参加率は1.1%下がりました。

当日の会場の流れは、まず1Fにて受付を行います。そのロビーでは「上都賀歯科医師会統一刷掃法」のDVDを大画面テレビにて上映しました。これは鹿沼市内の小学校にて昼休みに放送し、それに合わせて児童が歯磨きを行っているものです。受付の後、歯科医師による簡単な健診を行い、その後子供は25名、保護者は50名でそれ

ぞれグループを作り2Fへ移動します。子供たちは上都賀歯科衛生士会によるブラッシング指導をうけた後、移動してフロリアートにてフッ素イオン導入を行いました。その間、保護者の方には歯科医師による口腔衛生講話を聞いていただきます。両者はほぼ同時に終わる時間設定にしてあり、栄養士によるおやつ展示コーナー前にて合流して終了とあります。帰路には歯科相談コーナーを設け、保護者の方の質問、相談を受け付けました。以上が当日の流れですが、本年もスムーズに進行したものと思われます。

また、就任以来欠かさず参加されている佐藤信鹿沼市長は二期目当選後、イベントとしては初仕事であり、本年も小森基伊鹿沼市保健福祉部長共々ご協力下さいました。そしてもはや恒例の「子供達と一緒にブラッシング指導を受ける」など、この教室の広報活動にも共催としてのご尽力をいただきました。

(上都賀広報編集モニター 鈴木定幸：記)



図画・ポスター審査



子供達とブラッシング指導を受ける  
(左)佐藤 信鹿沼市長 (右)小森基伊保健福祉部長



歯科衛生士会によるブラッシング指導



フロリアートによるフッ素イオン導入

## 上都賀歯科医師会

### 平成24年度 上都賀歯科医師会 医療管理研修会 「医療現場の接遇&マナー」開催報告

平成24年6月21日（木）午後2時から、鹿沼市総合福祉センター大会議室に於いて、ANAラーニング講師・エアラインスクール面接指導講師である山田貴子先生をお招きし、「医療現場の接遇&マナー」と題して標記研修会が開催された。他支部会員とスタッフ、上都賀歯科衛生士会、上都賀歯科医師会会員並びにご家族とスタッフ計58名の参加だった。

開会挨拶を大貫真裕副会長が行い、佐川徹三会長の主催者挨拶の後、講師紹介と続きいよいよ「医療現場の接遇研修」の講義が始まった。その際のレジュメを紹介すると以下の通りである。



1. 接遇とは
2. 顧客（患者様）満足とは
3. 内部顧客
4. 第一印象について
  - (1) 第一印象の重要性
  - (2) 短時間で好印象を与えるポイント
5. ANAの6つのS
  - (1) SMILE
  - (2) SMART
  - (3) SOEEDY
  - (4) SINCERITY

#### (5) STUDY (6) SPECIALITY

接遇とは、おもてなしすることである。という導入から始まり、顧客満足には、ハードサービス（物理的サービス、システムサービス）とソフトサービス（精神的サービス、知的サービス）の2種類があり、前者にはピークがあるが、後者にはピークがなく、永続することが可能であるとの説明があった。

そして、内部顧客の項では、「自分以外は、皆、お客様」。上司であろうと部下であろうと、お客様に接する様に、相手を大切に思うことでコミュニケーションがスムーズになり、互いに仕事がしやすくなり、明るく楽しい、良い職場につながる。わかっちゃいるが、たまに怒鳴りたくなることがある私は、まだまだ未熟者。（いや、相手を大切に思いながら怒鳴るなら、それは正しいのかも…怒鳴らず、冷静に指摘できれば良いのですよね！）

そして第一印象。第一印象は15秒で決まるそうです。（場合によっては5秒で決まってしまうことも）その94%は視覚（表情・動作・身だしなみ）と聴覚（言葉遣い・話し方・声）で決定してしまうとのこと。そして、「you never get a second chance to make a first impression」～第一印象を与えるおすすめのチャンスは、決して訪れない～そうです。因みに、身だしなみとは、清潔で上品でひかえめ（相手が判断する）ものです。短時間で好印象を与えるポイントは、①グッスマイルとアイコンタクト、②常にきちんと清潔な身だしなみ、③きびきびとした動作、④ハキハキとした話し方です。

みなさん、初対面の際の言動、表情、身だしなみ、そして動作にはくれぐれも気をつけて下さい！

そしていよいよANAの真骨頂、6つのSの時間です。

SMILE

「笑い」ではなく、「笑顔」がポイント。笑顔は相手の警戒心、不安感を無くし、安心感を与える、相手の心を開きます。その際には相手の目を見ましょう。（アイコンタクト）そして相手より1秒長く目を見ましょう！手始めに患者様への挨拶からこの手法で始めてみて下さい！…きっと何かが変わる…はず！

そしてあいさつは、「あ」明るく、「い」いつも、「さ」さきに、「つ」続けて行って下さい。

#### SMART

身だしなみ…清潔・上品・控えめ  
立ち居振舞い〈5つの基本〉  
姿勢を正しく・動作の最後をゆっくりと静かに・  
動作に区切りをつける  
指を揃える・視線の動きを気をつける  
言葉遣い・親しみやすい話し方、聴き方  
患者様に伝える正しい（ふさわしい）表現にし  
てください。

#### SPEEDY

物理的スピード…「時計」で計れる時間  
演出的スピード…「心」で感じる時間  
物理的スピードは変えられないので、患者様  
をお待たせするときは、①目安時間を使えたり、

②理由、状況を説明したり、③途中経過を報告したりして、心から「お待たせしました！」と言いましょう。

#### SINCERITY（思いやり、気配り、誠意）

これに関しては、「空の上で本当にあった心温まる話」あさ出版社 三枝理恵子著を、ご一読下さい。この本の一節をご紹介頂きました。本物の真心は、人の感動を呼び、人を動かす、と言う内容の実話です。私は、映画「ペイ・フォワード」を思い出し、思わず涙ぐみそうになりました。

#### STUDY

専門分野の研究・「感性」を磨く

#### SPECIALITY

向上心とプロ意識

結びに「小さい事ほど丁寧に、当たり前の事ほど真剣に」というキーワードを頂き、福島隆夫副会長の謝辞の後、研修会は閉会となりました。

尚、遠方からご出席頂いた他支部の先生方、な  
らびにスタッフの方々に感謝の意を表しつつ、上  
都賀歯科医師会医療管理研修会の開催報告と致し  
ます。

（上都賀歯科医師会医療管理担当理事  
駒橋 武：記）



出席者)

上都賀総合病院 十川康弘 病院長  
他歯科医師会会員：7名  
会員：21名 衛生士会：1名

7月6日 保険相談会・上都賀歯科医師会史  
編纂委員会

於) 鹿沼市総合福祉センター

8月2日 日光・上都賀歯科医師会合同地区別  
社保講習会

於) 日光市 ブライダルパレスあさの

8月9日 鹿沼市歯科保健推進条例検討勉強会  
於) 鹿沼市総合福祉センター

研修) (7) 「スポーツマウスガード  
の普及を目指して」  
【手塚史雄】

(8) 「ライフステージを通した  
健診（検診）システムの  
構築に向けて」  
～健康寿命を伸ばすには～  
【大貫真裕】

出席者) 鹿沼市議会議員：19名  
議会事務局：2名  
会 員：13名

8月23日 歯科保健指導者講習会

於) 鹿沼市総合福祉センター  
講師) 栃木県歯科医師会  
学校歯科委員会

菊地英世 委員長

テーマ) 学校歯科検診におけるCO·  
GOの考え方  
～事後後措置を含めて～

9月7日 保険相談会・上都賀歯科医師会史  
編纂委員会

於) 鹿沼市総合福祉センター

9月12日 講話会  
於) 割烹「石ばし」  
出席者) 終身会員：5名  
役 員：16名

## 上都賀歯科医師会

### 学術・調査合同研修会開催報告

上都賀総合病院歯科口腔外科 開設記念

テーマ1：「病診連携の意義と将来展望」

テーマ2：「医学安全管理について」

～医療事故防止と医療事故

発生時の対応を中心に～

《講 師》

獨協医科大学 口腔外科学講座

主任教授 今井裕先生

平成24年7月1日（日）午後2時より、鹿沼市総合福祉センター大会議室に於いて、標記研修会が開催された。

標題にもあるように、本年4月1日に上都賀地区の中核病院である上都賀総合病院に歯科口腔外科が開設された。現在、獨協医科大学から派遣された泉さや香先生お1人の陣容ではあるが、入院患者の口腔ケアを中心に歯科医師会会員からの紹介患者の外来を行っている。この歯科口腔外科開設は獨協医科大学今井教授のご発案により、約2年前に準備が始まり上都賀総合病院の十河院長、当会佐川会長の3者によりその理念が話し合われてきた。その後、県西地域に於ける医療再生の一環として上都賀病院の建て替えを含めて行政等への働きかけが各方面より行われており、また十河院長、今井教授、上都賀歯科医師会との



上都賀総合病院 十河院長

意見交換会を通じて3者の立場から当地域に求められる口腔外科による連携の形が纏められ開設に至ったものである。

講演に先立ち佐川会長は、「この度の口腔外科開設は上都賀地区の地域医療にとって大変ありがたいことであり、ご尽力いただいた今井教授、十河院長に感謝したい。また、着任された泉さや香先生が上都賀歯科医師会に準会員として入会されたことは連携を強固なものとする上で喜ばしい。我々は現在、鹿沼市の（仮）歯科保健推進条例制定に向けて、市議会議員の先生方と勉強会を進めているところだが、この条例を生かして更なる地域医療の向上に向けて共に努力していくたい。」と挨拶した。続いて、十河院長から「ガン中核病院として口腔ケアの向上を考えていたところ今井教授からこのお話をいただき、また地元歯科医師会の先生方のご理解をいただいて開設に辿り着いたことを感謝したい。医科に於いても口腔ケアの重要性は認識されてきている。今後も更に円滑な病診連携を進めることで中核病院としての務めを果たしていきたい。」と御挨拶いただいた。



獨協医科大学 今井教授

講演は、テーマ1では獨協医科大学口腔外科のサテライトとして上都賀総合病院に歯科口腔外科を開設した経緯、目的や今回の点数改正において新たに導入された周術期口腔管理の概要と運用についてを、テーマ2では医療事故防止に関して全身疾患と薬剤の禁忌についてを中心に最新の情報をお話いただいた。

その後の質疑応答でも活発に質問が行われ、十河院長にも御回答いただくなど地域連携を実践する場となった。

尚、本研修会は「医療安全管理研修会」として受講証を発行したことと併せて付記し、学術・調査合同研修会の開催報告とする。

(上都賀広報編集モニター 鈴木定幸：記)



泉さや香先生



- 7月6日 保険相談会・上都賀歯科医師会史  
編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 9月13日 臨床研修会〔学術委員会担当〕  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
講師) 株式会社 ナカニシ社員  
テーマ) ビバメイトG5(往診用携帯型  
マイクロモーターユニット)  
並びにビバサポート2(歯科往  
診用注水・排唾システム)の概  
要及び機器説明[デモを含む]
- 10月27日 福祉大会(第29回)  
於) 福田屋コンベンションホール  
参加者) 60名 14医院  
内容)  
《第1部》懇親会タイム  
(18:00 ~閉会まで)  
《第2部》ショータイム  
(18:40~19:15)  
「手品師によるパフォーマンス」  
【手品師】宗 碧華・和久井利光  
《第3部》大bingoゲームタイム  
(19:30~)  
協賛) (株)アマガイ・(株)岩瀬歯科商会・  
ケオーデンタル(株)・(株)ナカニシ・  
相田化学工業(株)・アサヒプリ  
テック(株)・福田屋百貨店・  
栃木銀行鹿沼支店・石ばし・  
若駒・とき・みしま・七草・  
吉成カメラ店
- 11月1日 鹿沼地区歯科医師警察連絡会  
於) 福田屋コンベンションホール  
特別講演) 歯科界の新たな役割  
~子供虐待の根絶といじめへの取  
組み~  
[講師] 東京歯科大学 法歯学講座  
花岡洋一 准教授
- 11月5日 臨床研修会〔調査委員会担当〕  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 講師) 上都賀歯科医師会  
田代高志 専務理事  
テーマ) 無料で簡単なホームページ  
の作り方
- 11月7日 保険相談会・上都賀歯科医師会史  
編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 12月1日~12月2日午前 5:38 出発  
上都賀歯科医師会研修視察  
於) 京都大学をはじめ京都市内各所  
宿泊地) 京都市内ホテル  
1日目 昼食 いろは本店  
オイル焼き  
夕食 なかひがし みの家  
2日目 昼食 わらじや  
「う鍋・う雑炊」
- 12月7日 保険相談会・上都賀歯科医師会史  
編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 12月9日 鹿沼市・上都賀歯科医師会共催  
市民公開講座  
於) 鹿沼市民文化センター小ホール  
講師) 岡山大学小児歯科  
講師 岡崎好秀 先生  
テーマ) クイズで語る おもしろ食  
育最前線  
~健口から健考、健幸へ~
- 12月13日 保険請求に関する講習会  
於) 栃木県教育会館  
講師) 関東信越厚生局 栃木事務所  
指導医療官 笹井義宣 先生  
テーマ) 保険診療の実際(診療録記  
載を含む)
- 12月20日 病気療養中の鈴木裕之先生をご自宅  
に佐川徹三会長・大貫真裕副会長・  
福島隆夫副会長・田代高志専務理事  
が見舞う。

## 上都賀歯科医師会 京都‘視察研修’～ただいま！編

山中伸弥教授のノーベル医学・生理学賞受賞により、一般の方にもiPS細胞技術がもたらす医療の革命と期待と関心が高まる中、平成24年12月1日（土）、2日（日）に今年度の上都賀歯科医師会‘視察研修’（←次年度からの法人化に向けて「旅行」は廃止され「視察研修」となったのです！）として、25名参加のもと京都へ言ってきました。「え、またあ？」～はい、そうです、H19、H22年も京都でしたよ。いいです、もう認めます。上都賀は京都が好きなんです。飽きる飽きないでなく、もはや「ただいま！」って感覚ですね。

午前5時38分、まだ暗いJR鹿沼駅出発。早速車中でビール、焼酎…あれ？いつもより少し大人しいような…ま、視察ですから。10時京都着。つけものの「にしだや」にて時間調節の後、目的の京都大学へ。12月11日に行われるノーベル賞授賞式前ということで、ご多忙中の山中教授との面会は叶いませんでしたが、iPS細胞技術がもたらす歯科界の将来に思いを巡らせました。

さてさて、やっと（もう!?）お昼。今回は「たまには京都で肉食べない？」との声に応えて、先斗町の「いろは本店」にて名物オイル焼きを。



いろは本店

オイル焼きとは…簡単に言えば、すき焼きを割り下無しで「素焼き」にして、網焼きによく使う濃いポン酢でいただく、といった料理です。関西のすき焼きは甘いイメージかと思いますが、これはビールに合う合う！やっと調子が！

いつもの赤ら顔になったところで、平安神宮に参拝です。平安神宮は明治28年に平安遷都1100年を記念して、幕末の戦乱で荒廃した京都の復興のために創建されました。平安京を拓いた桓武天皇を奉斎する太極殿の体制にならって造営され、後に平安京有終の天皇であらせられる孝明のご神靈が合わせ祀られて「日本文化のふるさと京都」のおや神様として京都市民に親しまれています。また京都三大祭りのひとつ「時代祭り」が行われることでも有名ですが…



平安神宮 九条総宮司と

はい、京都と言えば今回も…例の「見えない力!？」は健在で、ここでは平安神宮の九条総宮司にご案内頂けました。お名前からも分かるように、本来は高位のお公家様ですから…世が世なら「下野の口中医」がお目どおり叶う方ではと感じさせる気品に…自らを省みて別の意味で再び赤ら顔になってしまいました。

続いて下鴨神社へ。正式には賀茂御祖神社とい一すみません、なんかもう面倒くさっ。詳しくはWEBで！－とりあえず、みたらし団子発祥の「みたらしの池」や、これまた三大祭のひとつ「葵祭」の神社ですね。ここでも歓迎を受けてい

るのですが、皆そろそろお疲れモードで…この文章同様「後でWEBで見ればいいやあ」な空気での参拝に…

その後ホテルへ。紅葉時期ということもあり2つのホテルに分かれての宿泊。ちょっと離れた夕食会場にはタクシーに分乗して集合する手筈に。これも皆京都慣れして「ただいま感覚」だから出来ること。しかし夕刻の川端通り、しかも南行…当然大渋滞につかり、遠方のホテル組は休憩する間もなく、予定より遅れて【なかひがし】に到着。－ここ、ちゃんと「えっ!?」って言って読んでくれましたか？前にも書きましたが「なかひがし」に団体で!?ってー前回はお昼だった為、後ろ髪をひかれまくりで店を出た経験から、今回は時間を気にしないで済む夕食にしたのです。

この料理は豪華さとか派手さとか、そんなのを通り超えた文字どおり「馳走」なんですよ、なんていうか…こう「沁みる」おいしさと言うか…本当に心地良い料理とお酒に時間を忘れて…。でも、そりゃ行きましたよ、お茶屋さんにも。やっぱ舞妓さんと呑まなきゃ、京都だもん。またバラバラにタクシー移動。ごもごもした祇園のお茶屋街も、いつもの「みの家」だから皆無事到着。と、

思ったら…あれ？ 1人…もっとも京都を知る老師は…まさかの個人行動!? まあ、それも旅のアクセントってことで。あ、観察だったか（笑）

翌朝9時出発。寺社仏閣ばかりじゃあ…の声に応えてサントリー山崎蒸留所へ。ここは言わずと知れた日本ウイスキーの聖地。ここにも「見えない力」は及んでおり、一般見学者とは違うコースでの見学です。各蒸留所がウイスキー原酒を調達しあえるスコットランドとは違い、日本唯一の蒸留所であったこの山崎ではタイプの異なるモルト原酒をつくらなければならなかった為、異なる蒸留釜や貯蔵樽を使い分け100種類以上の個性ある原酒を作り上げたという先人の情熱に感謝の気持ちが湧いてきます。その上で～お待ちかねの試飲タイム。同じ「山崎」といっても、10年18年は樽が違うから…といった蘊蓄とともにクイクイ呑み比べます。あ、ちなみに「山崎」のボトルにある筆文字を書いたのは誰か知っていますか？当時のマスターブレインダー「佐〇〇三」氏によるものです。正解は「佐治敬三」です「佐川徹三」じゃないですよー！

昼食は当会お約束の「わらじや」へ。ここでの「う鍋＆雑炊」は本当に〈お酒に疲れた胃〉にや



山崎蒸留所 貯蔵庫にて

さしくて…（と言いつつ‘白焼き’や‘うざく’でぬる燶でグイグイ～になってしまふのもお約束）です。ただーし！近年のうなぎ高騰のせいか…ぶつ切のはずのうなぎが短冊状になっていたことは報告しちゃいます…

あとは京の台所「錦市場」でお土産買って新幹線。今年の旅行も無事終了となりました。

じゃ、近いうちまた来るはー！！

（上都賀広報編集モニター 鈴木定幸：記）



みの家で楽しく！



わらじや

## 会長日誌

- 1月4日 鹿沼市・鹿沼商工会議所共催  
「新春賀詞交歓会」  
於)鹿沼商工会議所アザレアホール
- 1月12日 法人改革委員会  
於) 栄歎会館
- 2月3日 栃木県県西健康福祉センター所長表彰式  
於) 鹿沼市民情報センター
- 2月3日 栃木県県西健康福祉センター協議会  
於) 鹿沼市民情報センター
- 2月20日 鹿沼地区保健医療協議会  
於) 鹿沼市民情報センター
- 3月1日 全国歯科医師国保組合栃木県支部  
運営委員会  
於) 栄歎会館
- 3月1日 法人改革委員会  
於) 栄歎会館
- 3月1日 栄歎連盟役員会  
於) 栄歎会館
- 3月1日 郡市歯科医師会長会議  
於) 栄歎会館
- 3月26日 県西地域医療再生コンソーシアム  
於) 栃木県公館
- 4月19日 法人改革委員会  
於) 栄歎会館
- 5月31日 法人改革委員会  
於) 栄歎会館
- 6月18日 鹿沼地区保健医療協議会  
於) 鹿沼市民情報センター
- 6月20日 鹿沼市健康づくり推進協議会  
於) 鹿沼市民情報センター
- 7月27日 県西健康福祉センター健康危機管理  
連絡会議  
於) 鹿沼市文化センター
- 7月27日 県西健康福祉センター協議会  
於) 鹿沼市文化センター
- 8月8日 法人改革委員会  
於) 栄歎会館

---

9月20日 全国歯科医師国保組合栃木県支部  
運営委員会  
於) 栃歯会館

9月20日 栃歯連盟役員会11月22日  
於) 栃歯会館

10月10日 県西健康福祉センター協議会  
於) 鹿沼市民情報センター

10月10日 県西地域医療再生コンソーシアム  
於) 鹿沼市民情報センター

11月2日 鹿沼警察署被害者支援連絡協議会総会  
於) 鹿沼警察署

11月14日 県西地域医療再生コンソーシアム  
於) 栃木県公館

11月17日 栃木県法医談話会  
於) 宇都宮市 アピア

11月19日 鹿沼地区保健医療協議会  
於) 鹿沼市民情報センター

11月22日 県健康増進課による在宅歯科診療  
設備支援事業（ポータブルユニット  
等設備）に関する説明会  
於) 栃歯会館

11月22日 法人改革委員会  
於) 栃歯会館

11月30日 県西健康福祉センター協議会  
於) 日光市中央公民館

11月30日 新型インフルエンザ対策県西地域  
連絡協議会  
於) 日光市中央公民館

12月23日 人権を考える市民のつどい  
於) 鹿沼市民文化センター

---

## 世 相

---

- 政 治 • 自民党勝利  
社 会 • ノーベル物理学賞受賞  
• 山中伸弥教授ips細胞の作成  
• 東京スカイツリー完成634m  
（世界一の自立式電波塔）  
• 金環日食（5月21日）
- 流 行 語 • ウィルドだろお（すぎちゃん）  
• 爆弾低気圧
- 食 品 • 塩麹
- 映画・芸能 • テルマエ ロマエ  
• キャリーぱみゅぱみゅ
- 流行歌 • 花は咲く
-

## 平成25年(2013)

- 1月7日 保険相談会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 1月21日 第24回 法人化検討委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 1月24日 税務講習会  
テーマ)  
1) 平成24年度版暮らしの税情報  
(国税庁発行)  
2) 平成24年度税制改正  
(財務省発行)  
3) こんなときこんな税金～私の税  
金ナビ～：平成24年版  
4) What's 税理士  
(関東信越税理士会)  
5) その他  
① e-Taxご利用案内(国税庁発行)  
②簡単・便利なダイレクト納付  
(国税庁発行)  
③納税証明書のオンライン請求・  
発行手続き (国税庁発行)  
④新聞記事の紹介  
講師) 安納 弘昌 顧問税理士  
鹿沼地区歯科医師警察連絡会 歯科  
医師対象の研修会  
テーマ)  
現場鑑識の現状について  
講師) 栃木県警察本部 刑事部  
鑑識課 鑑識指導官  
細波 勝也 警視  
新年宴会  
於) 福田屋コンベンションホール
- 2月4日 B型肝炎ウィルス検査及びワクチン接種  
於) 上都賀総合病院  
B型肝炎ウィルス検査  
期間) 2月4日(月)～3月16日(日)  
ワクチン接種 期間) 3月末～
- 2月6日 保険相談会  
上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター

### 新年宴会及び税務講習会・鹿沼地区歯科医師警察連絡会研修会開催

平成25年1月24日(木)福田屋鹿沼店コンベンションホールにて、恒例の「上都賀歯科医師会新年宴会」が催行された。

これに先立ち、まず午後3時より「税務講習会」が行われた。この講習会は会員の正しい納税と適正な節税を目的に、税理士の安納弘昌先生を講師にお迎えし、確定申告前のこの時期に毎年ご講演いただいているものである。平成24年度税制改正についてなどのお話をいただき会員21名が聴講した。

続いて、4時30分より「鹿沼地区歯科医師警察連絡会研修会」が行われた。全国的にも稀有な“地域単位”での歯科医師と警察の連絡会である当連絡会は、毎年“歯科医師を対象に警察側から”と“警察官を対象に歯科医師会側から”的研修会を行っており、今回は栃木県警察本部 刑事部鑑識課鑑識指導官である細波勝也先生を講師に迎え、「現場鑑識の現状について」をテーマにご講演いただいた。更に、2名の現職鑑識課員を同行され、固体法・液体法による指紋の検出や静電気法による足跡の検出などの実演も行われ、会員23名が参加した。



そして午後6時、「新年宴会」が開会された。佐川徹三会長の挨拶につづき、佐藤 信鹿沼市市長、柴田 勝県歯会長からご挨拶をいただいた。併せてご臨席の17名の来賓の方々の御紹介ののち、中田嘉之議長の発声により乾杯となった。当



会員37名ともども本年の充実に向け互いに杯を重ねた。

「割烹 石ばし」にて行われた第二会場にも柴田会長をはじめ県歯役員の先生方、角田昭夫教育長をはじめ行政関係者にご臨席いただき、更なる談義と懇親を深め、盛会のうちに開きとなった。



(編集モニター 鈴木定幸：記)

## 平成24年度 第2回臨床研修会 開催報告(調査委員会担当)

平成25年2月13日（水）午後7時より、鹿沼市総合福祉センターにおいて臨床研修会が開催されました。今回は『誤嚥性肺炎の予防に必要な歯科的アプローチ』と題して、JA上都賀厚生連 上都賀総合病院 リウマチ膠原病内科 部長 花岡亮輔先生と、同病院 歯科口腔外科 泉さやか先生に御講演戴きました。

花岡先生の御講演の意味するところは、近年感染性肺炎、特に高齢者の誤嚥性肺炎は増加の一途を辿っており、当院のような地域基幹病院におい

てはその経営を圧迫するほど患者数が増えており、深刻な問題になっている。口腔は誤嚥性肺炎における起因菌の供給部位であり、口腔内清潔を保持し病原菌の絶対数を減少させることは誤嚥性肺炎の予防にきわめて重要な意味を持っている等の歯科的アプローチと、口腔ケアの一般社会への啓蒙が是が非でも必要な対策であるということで、今回の演題となりました。

本邦における肺炎による死者数は1985年頃から増加しており、死亡総数に占める割合の3番目に多く、そのうち90%が高齢者ということでした。また過去30年間の人口ピラミッドを比較して、近年の高齢者の層が凄まじい勢いで増加し、感染に対する防御能力の低下した高齢者が経年に増加していることが原因であるということでした。こうした人口構成の変化は肺炎の疾患概念にも変化をもたらし、従来は罹患する場所によって市中肺炎（CPA）と院内肺炎（HAP）の2種類に分類されていたそうですが、最近では全身状態が悪化した高齢者が地域の介護施設や療養型施設に長期に通所したり入所して、CPAともHAPとも異なる臨床像を呈するため、医療介護関連肺炎（NHCAP）と呼ばれるようになったということです。誤嚥性肺炎はNHCAPが極めて大きな割合を占めているということでした。

一般的なCPAはウイルス性上気道感染によって、気管粘膜の纖毛運動が低下し口腔内の常在菌が下気道に定着しやすくなることが主な原因であるため、多くのCPAは風邪をひいて2～3日で1度熱が下がった後、約1週間してから悪寒戦慄を伴う発熱を発症するということです。

誤嚥性肺炎の発症機構はCPAとは異なり、纖毛運動障害よりも咳嗽の減少、上気道の誤嚥性防止機構の障害に高いウエイトがあるということでした。誤嚥性肺炎を繰り返す主な原因として神経筋疾患、認知症、球麻痺（延髄脳神経の運動神経核障害）、仮性球麻痺（延髄脳神経核より上位の麻痺）が挙げられ、頻度的には大脳基底核の障害による仮性球麻痺が非常に多く誤嚥性肺炎に与え

## 成人病検査

於) 宇都宮市 関湊記念会クリニック  
 期間) 2月6日～3月7日  
 検査項目) 胸部X線撮影・胃透視・  
 心電図・尿検査・血液一般検査・内  
 科検診・肝・腎機能検査・エコー(上  
 腹部)・B型肝炎ウィルス検査  
 その他希望によりオプション検査

- 2月13日 臨床研修会〔調査委員会担当〕  
 テーマ) 誤嚥性肺炎の予防に必要な  
 歯科的アプローチ  
 講師) 上都賀総合病院 リウマチ膠  
 原病内科 部長 花岡亮輔 先生  
 上都賀総合病院 歯科口腔外科  
 部長 泉 さや香 先生
- 2月16日 小林みきお後援会「新春の集い」  
 於) 日晃そば
- 2月19日 鹿沼地区三師会新年懇親会  
 於) 福田屋コンベンションホール
- 2月25日 田邊 章先生のご母堂  
 田邊 永子 様 御逝去  
 瓦井 昭二先生 ご尊父  
 笠原 春海 様 御逝去

## 第25回法人化検討委員会

於) 鹿沼市総合福祉センター

- 2月28日 警察官対象の研修会  
 テーマ) 頸骨の発育と犯罪について  
 講師) 岡本 真利  
 田邊 章先生のご母堂  
 故 田邊 永子 様 告別式  
 於) 黒川ホール千手町店  
 瓦井 昭二先生 ご尊父  
 故 笠原 春海 様 告別式  
 於)えこうホールみづべ(長野県)  
 ※御靈前に香典、生花を供した。

- 3月6日 保険相談会  
 於) 鹿沼市総合福祉センター
- 3月18日 第26回 法人化検討委員会  
 於) 鹿沼市総合福祉センター

る影響が大きいと思われるということでした。

誤嚥性肺炎の病体は加齢、神経筋疾患、栄養不足、薬剤性パーキンソニズム等が嚥下機能、咳嗽反射、食道蠕動機能を低下させ、状態の悪い高齢者では口腔内のセルフケアが悪化している場合が多く口腔の細菌は非常に多くなっており、誤嚥性肺炎予防の為に口腔ケアが重要であるということでした。

『頻度的には大脳基底核の障害に多く、その部位でのラクナ梗塞がある程度増えるといつの間にか仮性球麻痺を発症し、不顕性誤嚥が増え誤嚥性肺炎を発症する。脳梗塞の範囲の拡大に伴って嚥下反射が低下して誤嚥性肺炎が増大する。』というお話をしました。



花岡 良輔 先生

## 誤嚥性肺炎の予防について

- 基礎疾患の制御、予防（高血圧、糖尿病など）
- 脳梗塞、特にラクナ梗塞（抗血小板薬投与）
- 口腔内細菌量の減少（口腔ケア）
- 嚥下、咳嗽反射の賦活（アマンタジン投与、ACE阻害薬投与）
- 食道蠕動運動の賦活（マクロライド少量投与）

誤嚥性肺炎の予防を目的とした手術療法等については、反復性誤嚥性肺炎予防の流れとして内科的療法、リハビリテーション、口腔ケア、このようなことに反応が少しでもあるようなら嚥下機能改善手術を考慮していく。反応がないようであれば、食事摂取を希望している場合は誤嚥防止手術（声を失うことと引き換えになる）食事の摂取の希望が無い場合は延命的な栄養療法継続の意味があるのかどうか考えなければならないということ

とも話されました。

最後に、誤嚥性肺炎はその発症基盤となる嚥下機能障害が改善困難な場合は極めて予後不良となり、内科的なアプローチ、リハビリテーション、外科的治療にも限界がある。口腔ケアを含めた集学的な対応が必要とされているということで締めくくられました。

続きまして、泉先生にご講演を戴きました。

誤嚥性肺炎が疑われる所見としては

- 1 基礎疾患や常用薬（抗精神薬、抗コリン薬、筋弛緩薬等）
- 2 嚥下障害を疑わせる臨床症状（食事中のむせ、咳が出る、常に喉がゴロゴロ鳴っている）等が考えられます。嚥下障害の検査では、造影剤（インジウム、アイソトープ）の就寝中においての肺内への取り込みを、健康高齢者と急性肺炎既往ありの高齢者とで比較すると誤嚥率が前者で10%、後者で71%でした。

口腔ケアを行った場合と行わない場合の発熱者の割合や肺炎の発症数、栄養改善効果等のいずれも口腔ケアを行った場合の方が良い結果が示されました。

また上都賀総合病院の取り組みでは、平成24年5月に口腔ケア委員会を設置し、栄養サポートチーム（NST）や呼吸サポートチーム（RST）に参加し、歯科的アプローチを行い、口腔ケアの実習や口腔ケアの流れのマニュアルの作成等を行い、また口腔ケアによって口腔内の菌量が減少し、誤

嚥をしたとしても肺炎のリスクが下がるということを確認し、また口腔ケアを行うまでの問題点がいくつかあるという事を挙げられました。

また、菌の濃度からみると無歯顎よりは有歯顎の方が口腔内細菌が潜在的に多くなる可能性のある事を示唆され、歯科の観点からは1本でも多くの歯を残したいが、有病者になってしまうと問題が出てくる可能性があり、その点においても口腔ケア（単に口清掃のみを指すものでなく歯の治療や咬合の確立等も含める）が重要ということを話されました。有病者の口腔ケアを効率よく実践するには

- 1 病院と歯科医院との連携（病院内に歯科がある場合は院内歯科とする）
- 2 病院と療養施設や在宅医療の地域連携
- 3 チーム医療に歯科が参加する（NSTチームや摂食嚥下のリハビリテーションに参加する）

最後に、口腔内細菌は容易に気道、消化管に流れ込み、高齢者や脳血管障害等の嚥下機能の低下がある場合、誤嚥性肺炎の頻度は高くなる。誤嚥性肺炎を予防するためには普段から歯科医院へ定期的に受診し口腔を清掃しやすい状態に保つ（人はいつ病気になるか分からない）。施設であれば介護員に、自宅であれば家族が協力しやすい状態を普段から作ることが大切、という話を戴きました。

今回は、内科的な観点と歯科的な見地からのコラボレーションという形で、誤嚥性肺炎の予防について研修会が開催された訳ですが、今後さらに介護関係者そして歯科医師会との綿密な連携を図る必要性を痛感した次第であり、次に繋がねばと願いつつ開催報告といたします。

（調査委員会担当理事 手塚 史雄：記）



泉さやか先生

- 3月23日 定 時 総 会  
於) まちなか交流プラザ
- 3月28日 独立行政法人「水資源機構思川開発建設所」歯科健診  
於) 独立行政法人「水資源機構思川開発建設所」  
担当者) 田代 高志
- 4月 1日 慰労金を下記会員に支給  
新島剛・畠二郎・高崎道子・茂呂允  
茂呂周・木村佐智子・茂 呂兀
- 4月 8日 保険相談会  
上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 4月12日 小林幹夫県議会副議長就任祝賀会  
於) ニューサンピア栃木
- 4月18日 上都賀総合病院第1期工事完成見学会（開院前の新病院の外来病棟）  
於) 上都賀総合病院
- 4月23日 第27回法人化検討委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 4月26日 鹿沼市・栃木市西方地区保健福祉部  
(課)・教育委員会との合同協議会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 5月 7日 保険相談会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 5月 9日 成人病検査〔脳ドック〕  
於) 池田脳神経外科  
期間) 5月9日(木)～9月26日  
査項目) 脳MRI・MCファン・VSRAD  
その他希望によりオプション検査(眼底検査)  
歯科関連情報交換会  
於) 楽日すし「七草」  
出席者) (株)ナカニシ 歯科医師会
- 5月10日 第39回“楽しく学ぶ「親子むし歯予防教室」”打合わせ会  
於) 市民情報センター
- 5月13日 鹿沼地区歯科医師警察連絡会  
《第1回 役員会》  
於) 「とき」
- 5月14日 第28回法人化検討委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 5月16日 よい歯のコンクール一次審査  
於) 鹿沼市民情報センター
- 5月20日 在宅寝たきり老人等歯科保健推進事業・歯科ドック事業機器説明会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 5月22日 顧問税理士予定者との懇談会  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
出席者) 染宮剛太税理士
- 5月24日 上都賀歯科医師会解散式  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
製品説明会  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
製品説明) 昭和新葉株式会社  
テーマ) “口腔カンジタ症薬「フロリート  
ゲル経口用2%」説明”
- 5月30日 県央四歯科医師会合同学術研修会の  
為の会場打合わせ会  
於) 鹿沼市 ニューサンピア栃木
- 6月 3日 よい歯のコンクール審査会  
《第1回》 図画・ポスター審査  
於) 鹿沼市民情報センター
- 6月 5日 上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
衛生教育担当打合わせ会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 6月 6日 よい歯のコンクール2次審査  
於) 今市健康福祉センター



## 上都賀歯科医師会解散式 報告

平成25年5月24日（金）午後7時15分より、鹿沼市総合福祉センター大会議室において上都賀歯科医師会解散式が行われた。

大正14年に「上都賀歯科医師会」として発足した当会は、本年4月1日より「一般社団法人鹿沼歯科医師会」へと発展的解消を遂げた。この式は、その88年に及ぶ歴史へのけじめとして総会形式で「上都賀歯科医師会」の解散を宣言し新たな一步を踏み出すために行うものである。

式は上都賀歯科医師会の総会形式に則り、大貫副会長の開会挨拶に始まり、最後の議長である中田嘉之先生の進行のもと、佐川会長より「1. 本日をもって上都賀歯科医師会を解散すること 2. 3月決算後の全ての財産を一般社団法人鹿沼歯科医師会に譲渡すること 3. 会員の身分は法人移行後も保証されること」が宣されると、出席者全員がこれに賛成、承認され、これを以って任意団体としての上都賀医師会は解散した。

平成23年に「上都賀歯科医師会創立85年記念誌」を発行した際の編纂責任者であり、最も当会の辿った歴史を知る一人である福島副会長が閉会の辞を述べ、ここに上都賀歯科医師会は幕を下ろした。

(鹿沼歯科医師会 鈴木 定幸：記  
茂呂 尚紀：写真)



- 6月7日 保険相談会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 6月10日 よい歯のコンクール審査会  
《第2回》 作文・標語審査  
於) 鹿沼市民情報センター  
第29回法人化検討委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 6月11日 定時総会  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
鹿沼歯科医師会理事及び監事選挙  
A) 理事立候補者届出 [5月28日締め切り]  
佐川徹三・福島隆夫・田代高志・  
相馬英人・石澤隆之・畠 健一・  
大貫真裕・鈴木定幸・手塚史雄・  
駒橋 武・茂呂英運・岡本真利  
B) 監事立候補者届出 [5月28日締め切り]  
小林幹夫・瓦井昭二  
\* 6月11日定時総会において選挙  
が行われ、上記14名が決定  
栃木県歯科医師会代議員及び予備  
代議員選挙  
A) 代議員候補者届出 [5月28日締め切り]  
佐川 徹三・大貫 真裕  
B) 予備代議員候補者届出 [5月28日締め切り]  
相馬 英人・鈴木 裕之  
\* 6月11日定時総会において選挙  
が行われ、上記4名が決定
- 6月15日 第39回“楽しく学ぶ「親子むし歯予防教室」”  
於) 鹿沼市民情報センター  
反省会  
法人設立並びに条例制定記念祝賀会  
於) 福田屋百貨店鹿沼店
- 6月20日 医療管理研修会  
於) 鹿沼市民情報センター  
テーマ) 紅茶のある暮らしとその効用  
～紅茶の正しい知識と、その樂  
しみ方を学ぶ～  
講師)ワiziティーネットワーク株式会社  
代表取締役社長 根本泰昌 様

- 7月9日 第30回県央四都市歯科医師会合同学術研修会《打合わせ会》  
於) ホテルニューイタヤ
- 7月10日 病気療養中の金子實先生をご自宅に  
佐川徹三会長・大貫真裕副会長・福島隆  
夫副会長・田代高志専務理事が見舞う。
- 7月19日 第30回 法人化検討委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 7月25日 鹿沼・芳賀歯科医師会合同「ナカニ  
シ見学会」  
於) 株式会社 ナカニシ  
内容) 会社概要説明・工場見学・新  
製品説明・意見交換
- 8月6日 保険相談会  
上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 8月19日 第31回法人化検討委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 8月25日 県央四歯科医師会合同学術研修会の  
為の会場打合わせ会  
於) 鹿沼市 ニューサンピア栃木
- 8月27日 歯科保健指導者講習会  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
講師) 宇都宮大学 教育学部 特別支  
援教育専攻  
梅永雄二 教授  
テーマ) 一緒に考えてみませんか、  
発達障害や特別支援のこと  
～ 少子高齢社会の中、共に生きる  
道を求めて ～
- 9月1日 第30回県央四都市歯科医師会合同  
学術研修会  
於) ニューサンピア栃木  
講師) 国立病院機構 相模原病院  
臨床研究センター  
アレルギー性疾患研究部  
海老澤元宏 部長  
テーマ) 「食物アレルギー・アナ  
フィラキシー」への対応  
～現代のアレルギーについて考える～

## 歯と口の健康週間行事

鹿沼医師会の“歯と口の健康週間行事”は「よい歯のコンクール（図画・ポスター・作文・標語）審査」と「親子むし歯予防教室」の二つです。

まず、平成25年6月3日（月）午後7時より鹿沼市民情報センターにて「よい歯のコンクール」図画・ポスターの審査を行いました。歯科医師会代表11名、鹿沼市教育委員会6名の計17名にて、小学校低学年・高学年・中学生のそれぞれに最優秀賞・教育長賞・優秀賞・佳作を選びました。同様に6月10日（月）には作文・標語の審査を行いました。今年の応募数は図画・ポスターが計125点（前年比△4）、作文が37点（同+17）、標語が244点（同△1）の合計406点（同+12）でした。



図画・ポスター審査

6月15日（土）午後1時30分からは、同じく鹿沼市民情報センターにて鹿沼市との共催による第39回“楽しく学ぶ「親子むし歯予防教室」”を開催しました。

対象は鹿沼市内の幼稚園・保育園の年長児（922名）と小学1・2年生（1774名）の希望者とその保護者の方々です。本年度は年長児、小学生合わせて313名とその保護者が参加しました。前年比で対象者が53名増、参加者は23名減となり、参加率は11.6%（△1.1%）となりました。

当日の会場の流れは、まず1Fにて受付を行います。そのロビーでは「鹿沼歯科医師会統一刷掃法」のDVDを大画面テレビにて上映しました。

これは鹿沼市内の小学校にて昼休みに放送し、それに合わせて児童が歯磨きをお行なっているものです。受付の後、歯科医師による簡単な健診を行い、その後子供は25名、保護者は50名でそれぞれグループを作り2Fへ移動します。子供たちは上都賀歯科衛生士会の衛生士によるブラッシング指導をうけた後、移動してフロリアートにてフッ素イオン導入を行いました。その間、保護者の方には歯科医師による口腔衛生講話を聞いていただきます。両者はほぼ同時に終わる時間設定にしてあり、栄養士によるおやつ展示コーナー前にて合流して終了となります。帰路には歯科相談コーナーを設け、保護者の方の質問、相談を受け付けました。以上が当日の流れですが、本年もスムーズに進行したものと思われます。



フロリアートによるフッ素イオン導入



保護者に対する講話

また、就任以来欠かさず参加されている佐藤信鹿沼市長は、本年も小森基伊鹿沼市保険福祉部長共々ご協力下さいました。そしてやはり恒例の「子供達と一緒にブラッシング指導を受ける」など、この教室の広報活動にも共催としてのご尽力をいただきました。



子供達と一緒にブラッシング指導を受ける  
(左)佐藤信鹿沼市長 (右)小森基伊保険福祉部長

(鹿沼歯科医師会 常務理事 鈴木定幸：記)

## 「法人設立並びに条例制定記念祝賀会」 開催報告

平成25年6月15日（土）午後6時より、福田屋鹿沼店3Fコンベンションホールにおいて「法人設立並びに条例制定記念祝賀会」が催行された。

既にご報告のように、本年4月1日をもって大正14年に「上都賀郡歯科医師会」として発足した当会は「一般社団法人鹿沼歯科医師会」へと発展的解消を遂げた。また同日には、本年3月21日に条例第14号として制定された「鹿沼市歯と口腔の健康づくり推進条例」が施行された。鹿沼市の口腔衛生の更なる向上への大きな転換点となりうる二つの事項を記念して、会員32名、鹿沼市議会議員16名が参加しての祝宴となった。

祝賀会では、まず主催者として佐川徹三会長が「祝賀会と銘打ちましたが、気持ち的な名を正直に申し上げれば祝賀会というよりも出発式という感じがしております。と申しますのも法人化にせよ推進条例制定にせよ、ようやく緒についた段階でございまして、法人化に関しましては市民により開かれた歯科医師会を目指したいということ、自助・共助・公助の部分で専門的見地から、より責務を果して参りたいと考えております。その1つとして大正14年発足以来88年の歴史的名称である上都賀歯科医師会を鹿沼歯科医師会と改め、よりその存在を明確にさせて戴きました。また推

進条例に関しましては、栃木県が平成23年4月に、国の歯科口腔保健法が同年8月に施行され地区のおいても必須なものとなって参りましたが、その中で我が鹿沼市は他市に、いや全国に誇れるものが出来たのではないかと考えております。厳密に申し上げれば条例そのものは理念法であり、どこも骨子的には似たものとなっておりますが、どうやって出来たかが他とは一線を画していると思います。何故ならば、議員の皆様が研修会にご出席され、深くご理解を戴いた上で制定されたからでございまして、市町村レベルでは全国初と伺っております。今後基本計画の策定に入る訳ですが少しでも市民の健康増進に繋がるよう、ひいては健康寿命の延伸が実現できれば医療費の削減にも結びつく訳でございまして、微力ではありますが、よりよい基本計画ができるよう、力を傾注して参りたいと考えております」と挨拶を述べた。

続いて、法人化に際し十数回に亘る会議に出席し法的助言をしていただいた佐伯全弘司法書士、鹿沼市では初めてとなる「議員提案」による条例制定に向けて議員団をリードしていただいた富久田耕平議長の二氏に感謝状を贈呈した。



感謝状を受ける富久田耕平議長

また、よりよい条例を制定していただくために市議会議員の先生方に歯及び口腔についての理解を深めていただこうと4回8テーマについて研修会を行ってきた訳だが、この研修会の修了証を参加議員を代表して鹿沼市議会政策・調査・研究委員会委員長である赤坂日出夫議員に授与した。

小林幹夫監事による乾杯の後、賑やかな歓談の環の中を佐川会長が廻り参加議員一人ひとりに修

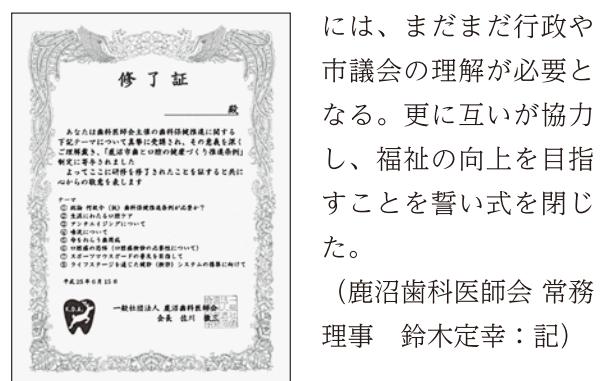


修了証を受ける赤坂日出男議長

了証を授与した。（実はこの修了証、文面は同一ですが額縁は金と銀の2種類があり、全8テーマを受講した方が金縁…とわかると、議員諸氏も「金だ！銀だ！」と大いに盛り上りました）

宴もたけなわとなった頃、事務員として28年の長きに亘って（半数以上の会員より長い時期です!!）当会を縁の下から支えてくれた吉成恭子さんに、サプライズとして感謝状を贈った。日頃の仕事ぶりを知る会員達は万雷の拍手で感謝の意を示した。

条例は制定されたが、あくまで理念を定めたものであり真に市民にとって有効な施策を行うためには、まだまだ行政や市議会の理解が必要となる。更に互いが協力し、福祉の向上を目指すことを誓い式を閉じた。



## 鹿沼歯科医師会医療管理研修会 「紅茶のある暮らしとその効果」～紅茶の正しい知識と、その楽しみ方を学ぶ～ 開 催 報 告

平成25年6月20日本曜日、午後2時から、鹿沼市民情報センターに於いて、ワイスティーネットワーク代表取締役社長である根本泰昌様をお招きして、上記研修会が開催された。他支部会員、上都賀衛生士会、鹿沼歯科医師会会員並びにご家族とスタッフの計36名の参加だった。



開会の挨拶を福島隆夫副会長、主催者挨拶を佐川徹三会長、講師紹介を手塚史雄理事が行い、講演が開始された。レジュメは以下の通りである。

プロローグ：紅茶とは 1：紅茶に辿りついた訳 2：お茶は“おもてなしの象徴” 3：おいしい紅茶の淹れ方 4：紅茶の魅力と効能あれこれ 5：「ティーセラピー」について 6：一杯の紅茶から生まれた数々のキセキ 7：質疑応答

プロローグでは、緑茶・烏龍茶・紅茶の区別について解説して戴いた。既にご存知の方もいらっしゃるかもしれないが、茶葉はすべて同じ木、「カメリアシネンシス」というツバキ科の茶の樹のものである。3者の違いは茶葉の作り方。それは葉っぱを発酵させることである。「発酵度合」でどのお茶になるかが決まる。緑茶が「不発酵茶」であるのに対し、烏龍茶は「半発酵茶」、紅茶は「完全発酵茶」である。ここで言う発酵は、真の意味での発酵ではなく、空気に触れて酵素反応（酸化）が起こることである。（真の意味での発酵茶はプーアール茶だけ）因みに、タイワンの烏龍茶は緑色をしているが、発酵茶だそ

うだ（発酵度合いが少ないだけ）。茶葉を揉んだりしながら発酵させ、熱で発酵を終了させる。

### 1、紅茶に辿り着いた訳

演者はかつて大塚製薬のマーケティング部門でCM制作等に携わっていたそうで、海外ドラマ「24」のCMで大賞受賞を最後に栃木に戻って来られた。紅茶が全く売れず、家賃が東京並に高い宇都宮で起業するのは無謀とも思われたが、地元に愛着があったので2006年に帰郷し、オリオン通りで開業した。開業の際、カロリーメイトで「未病」の患者さんが救えなかった事に疑問を抱き、そういう人を元気にできないかと考えた。その頃の日本はこころ、居場所、ふれあいが足りない、「こころ」の不景気であると思われた。そこで、身近で大人も子供も毎日摂取可能で副作用がなく、経済的に負担が少なく気づかぬうちに癒されて健康になり笑顔をもたらせるようなものの候補を5000個くらい列挙し、消去法の末、元々薬局で販売していた経緯を持ち、自分の前職と関連性が見いだせる紅茶に辿り着いた。しかし、紅茶は堅苦しいイメージがあり、栃木では受け入れられづらい印象があったが、あえて勝負することにした。お茶を飲むことで心にゆとりを持つことが、現在の日本人に最も必要とされていることだと考えた。紅茶を通じてお付き合いしている場所は幅広く幼稚園児から、葬儀の際には「セレブレーション」という名前の紅茶を配ったりもしている。



### 2、お茶は“おもてなしの象徴”

オリジナルブレンドの紅茶の茶葉を作る際には、種々の茶葉とフレーバーティーをブレンドし、そ

の人に合ったイメージで紅茶を制作する。その人の本質に合わせたブレンドもできるし、仕事に合わせてブレンドすることもある。更には、イライラをとるようなブレンドをすることもある。

お茶を淹れてくれた人の精神状況でお茶の味が変わってしまうくらい、紅茶の味わいは微妙なものである。

### 3、美味しい紅茶の淹れ方（紅茶淹れ方実演）

当日は、演者がブレンドしたシャンパンパティー、UTS（宇都宮ティーストーリー）という紅茶を、その日の朝に焼き上げた手作りの美味しいクッキーと共に戴いた。シャンパンパティーは有機栽培のダージリンとフレーバードティーをブレンドした紅茶で元々美味しいダージリンを更にパワーアップした紅茶である。UTSは日本紅茶協会をもうなさせた、配合が断定できないような濃厚な美味しさと香りを併せ持った逸品である。

さて、まず水を用意するところからであるが、水は汲みたての水道水が良い。適度な空気（酸素）が入るので紅茶がジャンピング（グルグル廻る）する。水は沸騰させて、カルキは飛んでしまうから気にしなくてよい。ミネラルが多いと紅茶の成分を抽出しづらいのでミネラルウォーターは好ましくない。ティーポットは2つ使い、両方のポットを温める。90度以上の温度に紅茶を維持しないと、タンニンという旨み成分が抽出されない。ティースプーン大山1杯で一人分。お湯を入れる前から香る。お湯を勢いよく注ぐとジャンピングする。葉っぱが開いているかどうかが重要。温度が低いと茶葉はジャンピングせず浮いてしまうので注意。見た目にも楽しんで戴きたい。茶葉が落ち着いたら茶葉を一掻きする。すると、色と艶が変わる。旨みはポットの下に溜まっているのでそれを浮き立たせる。最後の一滴が一番美味しいので、本場では最後の一滴は最も重要な立場の人に淹れるそうだ。2煎目は、うがい薬に使って下さいとのことである。

演者曰く、紅茶の淹れ方には上手下手はないとのことである。必要なのは心。ゆとりを持って楽しくいれることが最重要である。



### 4、紅茶の魅力と効能あれこれ

冷え性に紅茶。保湿作用がある。緑茶と烏龍茶は下熱作用。体を冷ます。紫外線から肌を守る作用がある。（抗酸化作用）ウイルス対策。紅茶の抗菌作用は緑茶よりも遙かに高い。紅茶は匂いを発しつつ、嫌な臭いは吸着する。乾いた出がらしは、冷蔵庫に入れて脱臭剤として使える。更に捨てる時はガーデニングの場所に播いて、肥料として使うとよい。潤い補給や、アセトアルデヒドを代謝して出す作用もあるので二日酔い対策にも良い。

紅茶を1日4杯6週間飲み続けると、ストレスからの回復がかなり早くなるそうである。紅茶の成分である「テアニン」は、セロトニンに拮抗して脳の中に入り、疲労物質を軽減する。癒されるが眠くならない。アルファ一波は出るがシータ一波（レム睡眠時に出る）は出ない。抗うつ薬にもその成分が使用されている。細菌感染などに対して自然抵抗力を高める効果がある。紅茶の製造過程でカテキン類から生成されるポリフェノール（テアフラビンジガレート）が、高い感染予防効果を持つ。カフェインは、胃が痛くなるとか等があるが、基本的には心臓を強くしたり、代謝を良くしたり、覚醒をさせたりする栄養素。紅茶に入っている成分の「タンニン」は、カフェインの悪い影響を中和し、胃を壊したり不眠症になったりするのを抑える。

## 5、「ティーセラピー」について

五感を刺激しながら患者さんのQOLの向上のお手伝い。東京の不眠病棟で紅茶を飲んでもらったところ、カップの香りを嗅いだ瞬間から眠ってしまった人がいる。紅茶の香りにはアロマの効果もある。宇都宮のある医院で、患者さんに紅茶を飲んでもらったところ、文字を書き始めたり、しゃべったりし始めた。紅茶が元気になるスイッチを入れる。

## 6、一杯の紅茶から生まれた数々のキセキ

①保育園児にお茶の教室を開いている。大人と同じセッティングで茶器を使って飲む。落ち着きのない子が茶器を割ってしまう事もなくお利口に飲んでいる。

②障害者の方に自立支援の一環で喫茶店をやってもらう。きちんとした手順で紅茶を淹れてサービスしてもらったところ、1日6万円も売上を出し大反響であった。

そのほか、子供に直にお茶葉を触ってもらいお茶の啓蒙や、紅茶で町おこしも可能である。

東京駅に自社ブレンドの紅茶を出荷したり、航空会社にその会社のイメージのお茶を作ったりもしている。農家の方々とコラボで梨の紅茶、イチゴの紅茶を作っている。被災地支援も行っている。  
(宮城、山元町)

一日10分の時間を作り、頑張る前の褒美としてのティーブレイクができるようなゆとりのある日々を送ってください。という言葉で、講演は終了した。

## 7、質疑応答

講義終了後、活発な質疑応答があったが、原稿の都合もあるので1つの質問を除き、割愛させて戴く。

Q. ティバックの淹れ方について何かコツは?

A. ティーポットを温めて、そっとティバックを入れ、その上からティーソーサーを被せて蒸らすと美味しく淹れられる。揺すったりしない。最後に一度だけ揺すったらすぐ出す。

何れにしても今回の研修会のテーマである「紅

茶」には、現代人にとって最も必要な「癒し効果」があるようだ。すなわち、人間にとって身近で毎日、美味しく、老若男女誰もが楽しめ、カロリーもなく、気付かぬうちに癒されて健康になる。そして飲めば、誰もが笑顔になる…そんな紅茶を日々の生活に取り入れたいものである。

最後に、鈴木定幸常務理事が閉会の辞を述べ無事修了となった。

(鹿沼歯科医師会 医療管理担当理事

駒橋 武：記)

## 鹿沼歯科医師会・芳賀歯科医師会 合同研修会及び懇親会

平成25年7月25日（木）、鹿沼歯科医師会と芳賀歯科医師会合同研修会として株式会社ナカニシの工場見学会が開催されました。

芳賀歯科医師会では、芳賀歯学研究会でパソコン講習会に田代高志先生を、忘年会でそばを打つていただくために福島隆夫先生・相馬英人先生を鹿沼歯科医師会から派遣していただくなど、親密な交流をさせていただいており、今回も株式会社ナカニシの工場見学を企画した際、佐川徹三鹿沼歯科医師会会长にご相談申し上げたところ、せっかくの機会なので、合同で見学会を開催し、その後、鹿沼の名店にて懇親会をという嬉しいご提案をいただき、芳賀歯科医師会より14名、鹿沼歯科医師会より12名の参加での開催となった次第である。

芳賀からはバスを仕立てて鹿沼市下日向の株式会社ナカニシの本社工場へと乗り込み、鹿沼の先生方と合流し、中西賢介代表取締役副社長、押田薰取締役常務執行役員はじめとする社員の方々の歓迎を受けた。

最初に中西副会長と押田常務より、会社概要と生産システムに関してご講演いただいた。ナカニシは「堅牢、優美にして廉価な製品を提供する」という会社創業以来の理念を掲げ「開発・生産・販売の三位一体」の体制を敷き、「三直三現主

義」で直ちに現場に行き、直ちに現物を見て、直ちに現実的対応をするという、また「三ない主義」として悪いものは「入れない・つくらない・出さない」ということを徹底しているという。鋼材などの原料とオーリング以外は全て自社で製作加工組み上げを行い、切削工程で使用するオイルも自社で97%のリサイクルを行う。排水も濾過処理後、自社の池に貯めて、その安全性を確認後川に流すなど、環境問題にも徹底的にとり組んでおられるという話に、皆感心しきりであった。

次に3班に分かれて、専用キャップと靴カバーを付けて、押田常務をはじめとする会社の方の案内で、工場内を一次・二次製作、加工、組立、検査、出荷までの全行程を見学した。油の1滴の垂れもない磨き上げられた床、整然と動く機械群、4時間に1回10分だけの休憩しかないというのに黙々と立ち作業に励む工員の方々。直行率が組立99.5%、部品加工99.7%と超ハイレベルな上に、各工程で不良品が排除されるため最終的にはほぼ不良品はないというクオリティの高さが、さもありなんとひしひしと感じられ、驚嘆と感動の声がしきりに上がった。こうやって作られた製品を我々はもっと大切に扱わねばと皆が感じ入った見学会であった。



最後にお土産まで頂き、全員で記念写真を撮って、副社長はじめ社員の皆様に見送られてナカニシ本社をあとにした。

その後、日吉町の割烹「とき」にて懇親会となった。新鮮な刺身、見事な鮎の塩焼き、松茸と鹿沼牛のすき焼き、釜飯、そして蕎麦名人の福島先生、相馬先生のご用意くださった蕎麦というご

馳走攻め。伊佐美、絹島十四代、梵、白岳仙と持ち込んだ銘酒もあつという間に飲み干し、次から次へとお店のお酒も飲み、鹿沼・芳賀そして老若の区別なく楽しく語らい、懇親を深め、あつという間の3時間余。大満足し、我々芳賀歯科医師会の面々は、バスの中でもその日の感動を語り合い、賑やかに帰途についたのであった。



今回は佐川会長並びに鹿沼歯科医師会の先生方には細やかで温かいご配慮いただきとともに、株式会社ナカニシの皆様には、お忙しい中大変お世話になりました有難うございました。また、K.Oデンタルの小林さんにも大変お世話になりました。鹿沼歯科医師会と芳賀歯科医師会は、今後も連携して、より良い歯科医師会を築いていけたらと思います。何かと厳しい最近の歯科界ではありますが、今後とも宜しくお願ひいたします。

今回参加できなかった先生方、また他の歯科医師会の先生方も、何かの機会がございましたら、ぜひ、ナカニシの見学をお勧めいたします。

(鹿沼歯科医師会 駒端 武：写真  
芳賀歯科医師会 田代貴之：記)



---

## 第30回 栃歯共催県央四歯科医師会 合同学術研修会（県民公開講座） 開 催 報 告

平成25年9月1日（日）鹿沼市のニューサンピア栃木「龍飛の間」において、標記の研修会が開催された。この合同研修会は本年30回目という節目の年であり、また既に法人格を取得されていた宇都宮市歯科医師会のみならず、日光、芳賀、鹿沼歯科医師会も本年4月より、一般社団法人として新たなスタートを切る運びとなった為、栃木県歯科医師会のご指導、そして共催のもと、より県民に開かれた歯科医師会を目指すべく、初の『県民公開講座』という形態で行ったものである。

当日は、9月とは言え暑さ厳しい中での講演会となったが、四歯科医師会の会員のみならず、歯科衛生士、養護教諭をはじめとして教育委員会関係、幼稚園・保育園関係、健康課やこども支援課等の保健福祉部関係、栄養士会等のみならず、チケットによる一般の方々も多数受講され、総数190名による研修会となった。

開会セレモニーとして、大貫真裕鹿沼歯科医師会副会長の司会のもと、中村雅夫日光歯科医師会会長の開会の辞に始まり、主催者を代表して当番会である佐川徹三鹿沼歯科医師会会长並びに柴田勝栃木県歯科医師会会长が挨拶を行った。続いて北條茂男宇都宮市歯科医師会会长の講師紹介により講演に移った訳だが、今回は公開講座という点も考慮して、マスコミ等を通じて今最も旬な、しかも身近な問題として、医療界・教育界が看過出来ない「食物アレルギー」をテーマとして選択した。従って、講師の招聘には苦慮したが、国内において唯一無二の「食物アレルギー研究会」において代表世話を努めておられる、国立病院機構相模原病院臨床研究センター アレルギー性疾患研究部長であり、東京慈恵医大小児科学教室客員教授である第一線でご活躍の海老澤元宏先生に白羽の矢が立った次第である。



### ☆研修会テーマ☆

『食物アレルギー・アナフィラキシー』への対応  
～現代のアレルギーについて考える～  
講師は、先ずアレルギーやアナフィラキシー等について、その基礎的なものをわかりやすく説明する事を主眼に講演へと移っていましたが、目から鱗の内容が多く、次にその要旨を列記したいと思う。

- ①食物アレルギーは先進国を中心に増加、小児では大きな問題となっている。
- ②日本においても、第二次世界大戦以降、喘息、アトピー性皮膚炎、花粉症も含めアレルギーが増加し、看過出来ない状況となっている。
- ③成人においても花粉症に関連した果物アレルギーが増加、小児の食物アレルギーは乳児期のアトピー性皮膚炎に合併し発症するケースが多い。
- ④乳児期発症の食物アレルギーの原因としては、鶏卵、牛乳、小麦の順で、他に大豆、ゴマ、ピーナッツ等が挙げられる。但し、早期（離乳食開始前）対応により、アトピーも食物アレルギーも軽症化する。
- ⑤食物アレルギーの診断は血液検査だけでなく、食物経口負荷試験を行う事が重要である。
- ⑥食物アレルギーは幼稚園・保育園・学校での給食や日常生活の管理が大切な為、社会的な対応が迫られている。⇒文科省、厚生省のガイドライン要参照
- ⑦アナフィラキシーに対して、エピペン等のアドレナリンの太ももの前外側に垂直に行う自己注射が有効だが、現時点では、有効性に関する認識が十分とは言えない。

何れにしても、食物アレルギーに関しては我々歯科医師会を含めた医療界と学校・幼稚園・保育園を管轄する行政や教育委員会、更には地域や家庭がより緊密な連携をとってガイドラインに基づいた対応が必要であり、そのシステムの構築が急務であろうと思われる。因にエピペンのガイドブック等の監修も講師である海老澤元宏先生である事を付記したい。

尚、研修会に参加した一人ひとりの胸には、食物アレルギーに対してのそれぞれの取り組むべき課題が見出された筈であり、小林康彦芳賀歯科医師会会长の謝辞を兼ねた閉会の辞により盛会裡に修了となった。

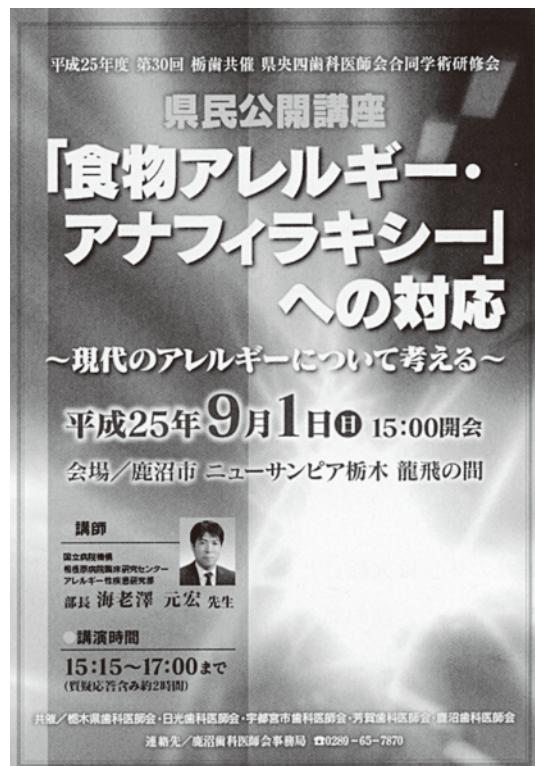


その後、合同研修会のもう一つの大きな目的である会員どうしの親睦融和を図るべく、田代高志鹿沼歯科医師会専務理事の司会のもと、会場を「男体の間」に移しての懇親会となった訳だが、講師並びに県歯会長を囲んで、和気藹々とした中談論風発、有意義なひと時を過ごせたのではないかと思われる。



また、特筆すべきは鹿沼歯科医師会の誇る蕎麦打ち名人、福島隆夫副会長、相馬英人常務理事の早朝から準備した特製の蕎麦に舌鼓を打ちつつ、次年度当番の宇都宮市歯科医師会にエールを送りお開きとなった。

(鹿沼歯科医師会 会長 佐川徹三：記  
常務理事 鈴木定幸：写真)



- 9月11日 講話会  
於) 割烹「石ばし」
- 9月17日 鹿沼地区歯科医師警察連絡会  
《第2回役員会》  
於) 粟野「西むら」
- 9月27日 保健福祉部との懇談会  
於) 「若駒」  
佐藤市長を囲む会
- 9月30日 第32回法人化検討委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 10月7日 保険相談会  
上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 10月16日 臨床研修会〔学術委員会担当〕  
於) 鹿沼市総合福祉センター  
講師) エルコデント社 スタッフ  
テーマ) スポーツマウスガードの製作  
実習
- 10月21日 第33回 法人化検討委員会  
於) 鹿沼市総合福祉センター
- 10月26日 福祉大会(第30回)  
於) 福田屋コンベンションホール  
内容) 《第1部》懇親会タイム  
(18:00~閉会まで)  
《第2部》ショータイム  
(18:40~19:15)  
「三遊亭歌司師匠による落語の高座」  
《第3部》大ビンゴゲームタイム  
(19:30~)
- 11月7日 鹿沼地区歯科医師警察連絡会《総会》  
於) 福田屋コンベンションホール  
特別講演) 犯罪心理学を使った犯人の行動パターンの分析と予測  
～大量殺傷事件「黒い未亡人型」連続殺人～  
講師) 法政大学 文学部 心理学科  
越智啓太 教授
- 11月11日 臨床研修会〔企画広報委員会担当〕  
於) 鹿沼市総合福祉センター

## 鹿沼歯科医師会 第28回「謫謫会」開催報告

平成25年9月11日(水)午後7時より、割烹“石ばし”にて、第28回「謫謫会」が、開催されました。

毎年恒例となりますこの会は、「和気謫々」を理念として、鹿沼歯科医師会の会員であり満70歳以上の先生方に敬意とねぎらいの気持ちを表す会として、昭和61年より開催されております。

本年度は、新島剛先生、高崎道子先生、茂呂允先生、茂呂周先生、木村佐智子先生、そして新たに茂呂元先生が、古稀を迎られ6名の先生方にご出席して戴きました。

今年も出席者一同拍手の中、先生方をお迎えしました。大貫副会長の開会挨拶に始まり佐川会長より主催者を代表しての挨拶を戴き、次に会長より花束を贈呈後、記念撮影となりました。祝宴の中、主役の先生方からお話を伺いますと、歯科界の事は勿論のこと他の分野のお話もして戴き、知識や経験豊富なその貴重な興味深いお話に、我々も自然と耳を傾けてしまいました。



その後も和やかな雰囲気の中、会は進んで行きます。その傍らで、福島副会長と相馬常務理事両名人による蕎麦打ちが行われており、その見事な手さばきに先生方も見入っていました。その三たて（挽きたて、打ちたて、茹でたて）の絶品の蕎麦を、蕎麦の味を引き立てる特製のつゆと美味しい鴨汁の二つの汁で頂きました。この事も藪藪会の楽しみになっております。

楽しいひとときを過ごし、福島副会長の閉会の挨拶で今回の藪藪会は御開きとなりました。

今後も、先生方には、ご指導ご鞭撻のほどを宜しくお願ひ致したく、益々のご活躍とご健勝をお祈りして、ご報告とさせて戴きます。

(鹿沼歯科医師会 手塚史雄：記  
鈴木定幸：写真)

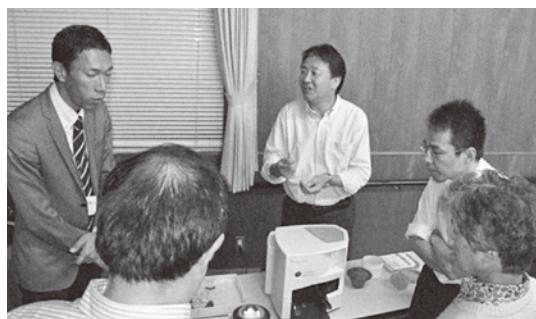


## 平成25年度 鹿沼歯科医師会臨床研修会 (学術委員会担当)開催報告 「スポーツマウスガードの製作実習」

平成25年10月16日（水）午後7時から鹿沼市総合福祉センター大会議室で、上記研修会が開催された。今回はスポーツによる外傷から歯及び周囲の組織を保護することを目的とし、法人化された鹿沼歯科医師会がどのように取り組むかということで、スポーツマウスガードの作製がテーマとして取り上げられた。また本年4月に鹿沼市歯と口腔の健康づくり推進条例が施行され、ライフステージを通した健康診断システムの構築と共に、各世代の施策充実の一環としてスポーツマウスガードの普及を目指している。

研修会はエルコンデント社の輸入代理店スマートプラクティスのスタッフによりスライドによる

スポーツマウスガード作製の説明の後デモが行われた。デモは、エルコプレスの操作方法、模型の位置決め、プレートの加熱軟化、模型への圧接、トリミング、辺縁の修正等懇切丁寧な説明とともに



に行われた。デモに用いられたエルコプレスはコンプレッサーが内蔵されており、液晶画面のタッチパネルを操作する方式で、軟化温度・加圧時間等プレートの種類によって理想的に加圧成形できるようにプログラムされていた。経験や勘にたよらず、誰が操作しても均一なマウスガードの作製が可能になった。さらに複数のプレートを積層することによって、スポーツの種類の応じてより適したスポーツマウスガードが作製でき、静的、動的スポーツに使用する使い分けをトリミングの仕方によって行うことによりスポーツパフォーマンスの向上に役立つことができる。

当日は鹿沼歯科医師会20名、宇都宮市歯科医師会3名、小山歯科医師会2名、塩谷歯科医師会3名の会員の先生が出席、熱心に聴講され充実した研修会となったが、今後のコンタクトスポーツにおけるマウスガードの普及を願いつつ開催報告としたい。

(鹿沼歯科医師会理事 石澤隆之：記)



## 平成25年度 鹿沼歯科医師会福祉大会 開催報告

平成25年10月26日（土）午後6時から、福田屋鹿沼店3Fコンベンションホールにて上記大会が行われた。昨年、一昨年と懇親会の席でのショウタイムが好評だったので、デンタルスタッフの慰労とリフレッシュを願い、本年度もショウタイムをメインに楽しむこととなった。

私ども支部の佐川会長の人脈の広さを生かし、本年度は三遊亭歌司師匠をお招きし、落語の高座を披露して戴いた。（師匠は、1964年に三遊亭圓歌師匠に入門し、1981年真打昇進、2006年から2010年まで落語協会常任理事を務められた。）



午後6時に開会セレモニーを行い、6時10分頃から懇親会が始まった。歓談の中、いよいよお待ちかねのショウタイム開始。今回は決まった演目というものではなく、歌司師匠が圓歌師匠に入門してからの楽しいエピソードの数々をご披露して戴いた。若い頃は随分と林家三平師匠に可愛がっていたいただいたそうで、その頃の爆笑エピソード

や、圓歌師匠の付き人として全国各地を旅していた頃のエピソード等々…抱腹絶倒の30分間だった。しかし…今、その面白かった話しを記せと言われても中々出て来ない！？…一流の笑いというものは、こうでなくちゃいけないのかも知れない。何度聞いても色褪せず笑える笑い、これこそが笑いの真髄であろう。とにかく面白かった。

（師匠の話しに御興味のある方は鹿沼の佐川会長か駒橋（武）までご連絡下さい。バックマージンなしで師匠をご紹介させて戴きます。）

続いてbingo大会。今回も空くじなしのbingo大会で、最後まで盛り上がり幕を閉じた。

最後に…福祉大会の進行を仰せつかり本年で5年目になりますが、ご協力戴いた会員の先生方に感謝の意を表し、開催報告とさせて戴きます。

（鹿沼歯科医師会医療管理担当理事

駒橋 武：記）



## 第23回 鹿沼地区 歯科医師警察連絡会総会 開催報告

### 【特別講演】

『犯罪心理学を使った犯人の行動パターンの分析と予測～大量殺傷事件と「黒い未亡人型」連続殺人』

【講師】法政大学 文学部心理学科  
教授 越智啓太 先生

平成25年11月7日（木）午後3時30分より、鹿沼市福田屋百貨店3階コンベンションホールにて第23回鹿沼地区歯科医師警察連絡会総会が開

催された。

総会では、本連絡会会長 佐川徹三先生、顧問鹿沼警察署 高久 仁署長の挨拶の後、来賓としてお越しいただいた県歯副会長 宮下 均先生より祝辞をいただいた。総会では、まず議長に中田嘉之先生を選任し、その円滑な進行により①平成26年度事業計画②法人化に伴い『鹿沼地区歯科医師警察連合会会則』各条の上都賀歯科医師会から鹿沼歯科医師会への読み替えーの2議案が承認され無事閉会となった。



高久 仁 鹿沼署長

引き続き、特別講演として法政大学 文学部心理学科 教授 越智啓太先生より『犯罪心理学を使った犯人の行動パターンの分析と予測～大量殺傷事件と「黒い未亡人型連續殺人」』と題しご講演いただいた。昨年度『歯科界の新たな役割～子ども虐待の根絶といじめへの取組み～』と題して東京歯科大学法歯学講座 准教授の花岡洋一先生にご講演いただいた際、そのテーマに鑑みて鹿沼市保健福祉部並びに教育委員会等にも講演会への参加を呼びかけたところ非常に好評であったことから、今回も関係機関に広く周知し行政、教育、被害者支援センター関係者等が多数出席し、警察官並びに会員と合わせて116名が受講した。

講演は、犯罪心理学の歴史・分類にはじまり  
1. 犯罪の分析の方法 2. 大量殺傷事件の分析  
3. 「黒い未亡人型」連續殺人の分析 4. 犯罪捜査の心理学の課題についてーとの講演内容の提示が行われ、これらについて、主に犯罪捜査への心理学の応用について研究する「捜査心理学」の

一部であるプロファイリングの観点から話しあすんだ。大阪教育大学付属池田小学校の事件や秋



越智啓太 教授

葉原における大量殺傷事件等、我々の知る事件についての分析と解説は大変興味深いものであった。また、犯罪心理学のこれからのテーマ及び可能性として、弁護側からのプロファイリングの利用、ストーカー・デートDVに関する事件の危険性の予測、殺人事件におけるVO関係<sup>(註)</sup>の予測等を挙げられ、受講者にとって有意義な特別講演となったものと思われる。

6時からは同所にて懇親会となり佐藤 信鹿沼市長にもご臨席いただき、会員と署員、行政が胸襟を開いて懇親を深め、より一層の連携を確認しあった。

註) VO関係ー殺人事件は2種類に分類され、被害者と加害者に人間関係があるかないかを「VO関係」と言う。VO関係があれば被害者の身近な人で怪しい人を見つければすぐに犯人を割り出せるが、VO関係が無い場合、捜査から犯人を見つけ出すのは困難となる。よってVO関係の有無の判断は捜査に重要な意味を持つ場合が多い。

(鹿沼歯科医師会 常務理事 鈴木定幸：記)



---

## 鹿沼歯科医師会 臨床研修会開催報告 (企画広報委員会担当)

平成25年11月11日（月）午後7時30分より鹿沼市総合福祉センターに於いて臨床研修会が開催されました。今回は『骨粗鬆症の診断と治療…歯科との関連性について』と題して、倉持整形外科鹿沼院長 星野亮一先生にご講演いただきました。



歯科診療を行っている中で、骨粗鬆症によりビスフォスホネート製剤を投与されている患者が来院した時、外科処置による顎骨壊死の懸念のある事があります。

今回の臨床研修会は、そのBP製剤を処方されている医師の立場から骨粗鬆症についてお話を戴き、より骨粗鬆症への理解を深め日々の治療に役立てていく事を目的として開催されました。

骨粗鬆症患者は日本において1300万人と推測されており、骨粗鬆症による骨折は脊髄の椎体、前腕骨、大腿骨の部位に生じやすいと言う事でした。

骨粗鬆症は骨の病的老化による明らかな疾患で、骨折は骨がもろくなる為に起こる合併症です。骨粗鬆症は予防及び治療が必要であり、予防には成長期から骨量を増加させる事も重要だと話され、若いうちからの食生活も影響するので大切だと感じました。

骨の代謝は、破骨細胞と骨芽細胞がバランスよく作用し健康な骨が維持されていますが、女性は

閉経後にエストロゲンの分泌が急激に減少するため、その二つの細胞の働きのバランスが崩れて骨密度が低下するという事でした。

検査にはX線（胸椎や腰椎）検査、超音波検査（骨密度測定）、血液、尿検査（骨代謝マーカーの測定）等があり、骨折や骨変形、骨粗鬆化の有無を確認して診断されると言う事です。

薬に関しては活性型ビタミンD製剤、ビタミンK2製剤、エストロゲン、ビスフォスホネート製剤、SERM,アルシトニン製剤について話されました。ビスフォスホネート製剤では1日1回服薬が1週間に1回、4週間に1回の物や、点滴により1ヶ月に1回になる等、長い間隔で投与される薬が開発されているということです。

薬物療法と併用して日常生活の改善についても話され、カルシウムやビタミンDやビタミンKを多く含む食品を摂る事や、骨密度を低下させない運動療法（フラミンゴ体操、転倒を防ぐ運動等）について学びました。大腿骨の近くの骨折85%は転倒が原因であり、この事により要介護状態を作り出してしまうという事でした。

後半は顎骨壊死についてのお話で、2003年ビスフォスホネート注射剤によって顎骨壊死のリスクが増大するという報告がされたという事でした。そのためオーストラリアではBP製剤は処方されなくなりましたが、それによって骨折が増加したため骨折を防ぐ事が優先すべきであろうという事で、再び高齢者にBP製剤が使用される様になつたという事です。

歯科の治療の対応としては、BP製剤を使用している患者に対して対象疾患（骨粗鬆症、悪性腫瘍）を考慮して、生命維持、QOLの保持、ADLの確保の為にBP製剤が必要であることを理解し、その理解に基づいて口腔管理をしていくことが必要と述べられました。

今後の展望として他科との連携が重要であるとし、顎骨壊死を発症したとしてもそれ自体は生命

に重要な影響を直接与える事は少ないので骨粗鬆症の治療の有益性を考え、QOLが低下してしまうのであればビスフォスホネートの投与を優先してもらう。発生した顎骨壊死に対してはガイドラインやポジショニングペーパーを参考にしながら最新最良な方法を処方医と連携しながら可能な限り積極的に介入し治療を行うと述べられました。

休薬出来るかどうかについては、比率としては少ないが骨密度が極端に少ない患者、頻繁に骨折している患者については、休薬はしない方が良いと考えられると言う事でした。

また、BP製剤は従来悪性腫瘍の治療時に点滴により投与されていたが、骨粗鬆症でも内服出来ない患者に対しては、点滴や皮下注射で投与される様になってきたそうです。

私たちの歯科診療に於いても、高齢化により骨粗鬆症を伴う患者数は増加していくと考えられ、骨粗鬆症と歯科との関連性を患者に理解してもらい予防等の啓蒙を歯科医も行っていく必要があるのではないかと思いました。

(鹿沼歯科医師会 企画広報委員会

担当 手塚史雄：記)

## 鹿沼歯科医師連盟 栃木県庁並びに栃木県議会視察・訪問 (見学会)

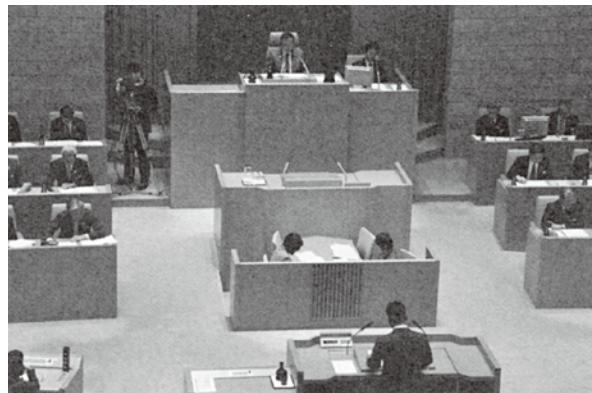
平成25年11月28日（木）鹿沼歯科医師連盟では、標記視察・訪問（見学会）を行った。

佐川徹三鹿沼歯科医師連盟会長をはじめとする会員一行は、午後1時に栃木県庁1階ロビーに集合し、まず最上階15階展望レストランで昼食をとった。

続いて地元鹿沼選出で我々鹿沼歯科医師会監事でもある小林幹夫先生の秘書の方の案内で、県議会議場での質問を傍聴した。栃木県議会議員3期目である小林幹夫先生は、現在、栃木県議会第

107代副議長の要職に就いておられ、おりしも質問者が鹿沼選出の松井正一議員、議長席には副議長である小林幹夫先生が壇上という場面を見学することができた。

引き続き副議長室も見せて頂いた。この部屋は現職の副議長がいないことにはなかなか見学できない場所でもあり、さすがは副議長室ということ



だけあって広く整然としていた。副議長室のホワイトボードには副議長の毎日の予定が時間刻み、分刻みに記入されており副議長職がいかに激務であるか、その重要さが推察された。隣接の応接室も大変明るく広々としており立派だった。

また、議会開催中のお忙しい中、栃木県知事室において福田富一知事にも面談することができた。



鹿沼歯科医師会がこの4月1日から一般社団法人となったこと、また、鹿沼歯科医師会連盟が会員相互の協力により鹿沼歯科医師会の目的達成のためにその必要な政治活動を行い、会員の診療環境向上を目指しもって地域医療の発展に寄与するこ

とを目的としてこの10月1日に発足にいたったこと、鹿沼市民ひいては栃木県民の歯科保健推進・向上のためには、栃木県が行う歯科保健に関する事業、県民のための健康推進事業にはできる限り協力することなど多岐にわたった話しをすることができた。

その後、小林副議長の計らいで再び副議長室にもどり、県が進める栃木県在宅医療チーム等構築支援事業に関する話を県の担当職員2名から具体的に説明を受けた。この件に関しては鹿沼歯科医師会の担当者も2名決定し、まずは実務者どうしが連絡を取り合い、この事業を実現するためにお互いに連携していくこととなった。



今回の栃木県議会視察・訪問（見学会）は、鹿沼歯科医師会連盟が行った初めての事業であったが、実りの多い大変有意義なものとなった。

（鹿沼歯科医師連盟理事長 大貫真裕：記  
鹿沼歯科医師連盟常任理事 鈴木定幸：写真）

講師）鹿沼市 倉持整形外科

星野亮一 先生

テーマ）骨粗鬆症の診断と治療

～歯科との関連性について～

11月17日 第33回 鹿沼市健康づくりのつどい  
於）鹿沼市民情報センター

テーマ）知らなきゃ損するたばこの話

担当者）茂呂英運・星雅朗・  
三浦秀憲

11月18日 第34回 法人化検討委員会  
於）鹿沼市総合福祉センター

11月21日 親と子のよい歯のコンクール  
於）栃木県歯科医師会館

12月1日～2日 鹿沼歯科医師会視察研修  
場所）湯布院・大宰府天満宮方面  
宿泊地）湯布院

12月6日 保険相談会  
於）鹿沼市総合福祉センター  
上都賀歯科医師会史編纂委員会  
於）鹿沼市総合福祉センター

12月8日 鹿沼市・鹿沼歯科医師会共催 市民  
公開講座〔市制施行65周年記念〕  
於）鹿沼市民情報センター

講師）日本歯科医師会 常務理事  
倉治ななえ 先生

テーマ）歯がいい人はボケにくい  
～元気でハツラツとした生涯をおく  
る為に～

12月16日 第35回 法人化検討委員会  
於）鹿沼市総合福祉センター



## 平成25年度 鹿沼歯科医師会 視察研修（旅行）報告

平成25年12月1日（日）から2日（月）にかけて、九州の大分・福岡方面に視察研修を行った。宿泊は湯布院の亀の井別荘である。この旅館は大正の始め、VIP招待用の別荘として建てられたものである。（詳しくはホームページをご覧下さい。）

鶴見大学歯科研究科の学生だった26才の頃、教授の鞆持ちで湯布院を訪れたことがあるが、この土地は、30余年前から変わらぬ佇まいである。素晴らしい景色、落ち着いた街並み、とても心落ち着く風土であると思う。

さて、話しを戻そう。初日は時間を有効に使う為に午前3時30分に集合し、羽田へ向かった。羽田を7：50発のANA191便にて出発、午前9：35大分空港に到着。まずは先日、柴田会長が訪れて感動したという、九重夢大吊橋<sup>\*1</sup>に向かった。紅葉の旬は悲しいかな過ぎてはいたものの、周囲の峡谷を見下ろす快感は正に一見の価値有りである。その後バスで移動し、湯布院由布まぶし「心（しん）」にて昼食を採った。ここには豊後牛まぶし、地鶏まぶし、地元の天然ものの鰻まぶしと三種類のまぶしのメニューがあり、三種類をシェアして皆で地産地消の美食を堪能した。その際に場所的に湯布院駅が割合近かつた為、皆で記念撮影を行ったが、偶然にも今話題のクルーズトレイン「ななつ星in九州」が停車しており、いつかは妻と！と心に誓った。



昼食を愉しんで一路湯布院<sup>\*2</sup>の見学場所へ。  
まずは湯布院のパワースポットの一つである宇奈

岐日女神社を参拝したが、ここはその祭神が、かつて湖であった湯布院を盆地に変えた女神とかで、境内の樹木は鬱蒼としており、さすが古社といった趣であったが、惜しまるくは国の天然記念物にも指定されている「大杵の大杉」を始めとして、多くの巨木が平成3年の大型台風の被害で倒れてしまい、十数本の根の部分が保存、鎮座ましましていたが、それは本当に見事なものであった。次に別府にも向かうことの出来る九州横断道路沿いにある阿蘇九重国立公園の名所の一つである「狭霧台」に立ち寄ったが、その名の由来通り正に湯布院盆地を一望出来ると共に、霧と雄大な風景が調和していて、時間を忘れてその絶景に観入ったものである。いよいよ午後3：30頃に亀の井別荘に到着し、夕食まで銘々に70～80店舗の土産物屋や雑貨屋そしてレストラン等が立ち並ぶ「湯の坪街道」や金鱗湖を散策したり、温泉に浸かったりして楽しんだ。午後6：30からは、本館2階にある純和風の湯の岳庵にて宴会が始まり大いに盛り上がった。

因みに、宿泊は4名位づつ広大な庭園内に点在する個性あふれる一軒家であった為、通常ならその別荘毎の食事となる処を一堂に会しての宴会となつた次第である。

さすがに、リピーター率も日本有数という名宿だけあって、「おもてなし」と真心のこもった料理の数々に舌鼓を打ちつつ感嘆したのも又事実である。よって、盃を休める暇が無かったかどうかは想像に難くない。次の朝は各自温泉に入ったり、朝霧の濃い金鱗湖を散策したりして自由に時間を過ごしたが、朝食は過日世界文化遺産に登録された「和食」ここにありといった感じで、皆同様に満ち足りたのではなかろうか。



午前9：30にスタッフの皆さんに見送られながら、宿を後にし大分自動車道にて太宰府を目指した。菅原道真所縁の太宰府天満宮では、受験を控えた子弟の為にお守りを拝受する者、「東風吹けば匂ひおこせよ梅の花あるじなしとて春を忘るな」で有名な『飛び梅』をバックに写真撮影を行うもの皆其々であったが、維新の志士ゆかりの「松屋」での抹茶と梅が枝餅の心に沁みる味は日々の慌ただしさから開放された瞬間ではなかつたかと思う。



さて、2日目の昼食は創業百年の歴史を誇る博多の水炊きの元祖的な存在である「新三浦」本店である。鶏料理のフルコースをお願いしたが、メインはやはり何日もの手間ひまをかけた鶏の濃厚な白濁スープと水炊きで、とても美味しく頂戴した。私の隣で食事をしていた鈴木定幸先生は、ずっと「美味しい!!」と唸りっぱなしであった程である。(締のスープかけご飯はかなりの絶品で、ここだけしか食べられないそうです)ここでも、かなりメートルは上がった筈なのに、胃の方もスッキリなのは鶏のスープのお陰だったかもしれない。

その後、九州大学にての視察があったようだが、チョット酔っていたせいか、あまり記憶がなく、猛省している。尚、福岡空港から午後4：40の飛行機に乗り、いい夢を見ながら、思い出を胸に帰路に着いた。何れにしても、今年もまた、「美味しいもの尽くしの旅」であった。

参加された先生方におかれましては、拙いツアコンで何かとご迷惑をお掛けしました事を深くお詫び申し上げます。また、ご協力戴いた先生方に

は大変お世話になりました。特に両日の昼食の手配、更にはこのレポートの添削までして戴いた佐川会長には大変感謝しております。ありがとうございました。ここに改めて感謝の意を表し、今回の視察研修のレポートさせて戴きます。

(鹿沼歯科医師会医療管理担当理事

駒橋 武：記)

- ※1 本体着工 平成6年5月  
平成18年10月30日落成式 同日正午より営業開始  
総工費（周辺整備費を含む）約20億円  
国・県の補助なし
- ※2 昭和30年に由布院町と湯平村が合併して湯布院町となりました。昭和30年以前には“湯布院”という“湯”的字の付く地名はなかったのです。それゆえ町全体を言うときは湯布院ですが、昔からある地名などは由布院と“由”的字を使います。たとえば由布院温泉、JR由布院駅、由布岳というぐあいです。



## 平成25年度 市民公開講座開催報告

平成25年12月8日（日）pm 3：00より、鹿沼市情報センターにおいて、市制施工65周年記念・第7回鹿沼市・鹿沼歯科医師会共催、栃木県歯科医師会、下野新聞社、鹿沼市教育委員会、鹿沼歯科衛生士会、鹿沼地区介護支援専門員連絡会、鹿沼市老人クラブ連合会後援の標記の市民公開講座が開催され、百名強の市民が熱心に聴講した。

今回は、「歯がいい人はボケにくい！…元気でハツラツとした生涯をおくる為に…」をテーマに講師として、日本歯科医師会広報担当常務理事、日本歯科大学附属病院臨床教授であるクラジ歯科院長の倉治ななえ先生をお迎えし、ご講演戴いた。佐川徹三鹿沼歯科医師会会长の開会挨拶並びに

司会進行のもと、主催者を代表して佐藤 信鹿沼市長、そして柴田 勝県歯会長にもご挨拶を戴き講演となった。



司会の佐川会長と手話通訳をした奥様

主な内容としては80歳まで元気でいたい人に知ってほしい歯の新常識として次の事を話された。  
①歯がいい人ほど病気になりにくい②歯の本数が多い人ほど長生き出来る③例え歯が無くてもピッタリ合った入れ歯もいい④歯が悪いとメタボになりやすい⑤よく噛む事で脳を活性化し痴呆の予防になる。等々噛む事の大切さ、効果について話された。

また歯を失う原因の二大疾患「歯周病」「むし歯」についても注釈が加えられ、その中でも8割の人は歯周病に感染している事、そしてその予防の一つとして、自分で出来る世界一？正しい「歯



の磨き方」を指導された。

次に姿勢は全身の健康や歯の健康にも大きな影響を与えており、そしてちょっとした姿勢の歪みや首の傾きにより、歯や口腔の健康を支えている動脈血管の血流が滞ると歯茎等は貧血状態になり、歯周病や歯痛、肩こり等の原因にもなり注意を要する事、更には健康な歯が輝く笑顔は正し



い姿勢が大切で、腹筋をしっかり意識して全身美人を目指そうと話された。

まとめとして、①毎日よく歩きよく動く②よく噛んで食事をする③歯磨剤はフッ素入りを選ぶ④代替甘味料とキシリトールを利用する⑤むし歯や歯周病は自分で防ぐ事は困難で『かかりつけ歯科医』を活用する⑥常に正しい姿勢を意識する⑦歯と口の周りの血流をよくするように心がける→特に歯ブラシの柄の末端部を使っての歯肉境移行部の血管マッサージは有効であると実際に実技を交えつつ結ばれた。

尚、今回の公開講座は会長夫人が手話通訳士という関係もあり、ろう者も多数聴講されたが、講演終了後の質疑応答においても一般参加者のみならず、聴覚障がい者からの質問等もあり非常に有意義であったように思われ、小森基伊鹿沼市保健福祉部長の閉会挨拶により無事終了した。

また、会場ロビーに恒例となった栃木県歯科医師会監修・作成の『食育』についてのパネル展示及び解説も大変好評であった事を付記し、開催報告としたい。



パネル展示

(鹿沼歯科医師会 常務理事 相馬英人：記  
常務理事 鈴木定幸：写真)

## わが家の休日

### 私の健康法について

平成25年当たり年会員

鹿沼歯科医師会 茂呂 元

糖尿病と診断され、14年前に入院を余儀なくされた時、血糖値450mg/dl、HbA1c10.5%となり重病の糖尿病患者でした。その後10年間くらい薬物療法、食事療法、運動療法等実施してきました。あせって早く治そうと思い、色々な薬を飲んでみましたが余り良好な結果は得られませんでした。カロリー計算などして食事療法もやってみましたが中々うまくいかず、残りは運動療法しかありません。手軽な運動ということで歩くことにしました。毎日、朝夕30分程度の散歩をします。1日1万5千歩を目標にして愛犬を連れて歩きます。愛犬はゴールデンレトリバー、オス5才。（飼い主に似てボーッとしている）もう1匹は柴犬10才メス。（家の裏山に捨てられていた犬で、とても俊敏で賢い熟女です）先ず朝風呂に入って体を温めて筋肉をほぐします。それから愛犬と共に家の周りを歩きます。朝はついおっくうで3日坊主になりがちですが、散歩に行きたいと犬にせがまれ、行くまで吠え続けるので、散歩に行かざるを得ません。夕方は怪し気な老人が独りで歩いていると、下着泥棒と間違はられかねませんが、犬のお陰でまだ110番通報されたことはありません。こんなふうに楽しみながら歩き続けて5年が経ち、ようやくその効果が表れてきました。今ではHbA1cも落ちつき、普通の食事・仕事をしても体調が崩れることはありません。そして何よりも歩くことによって、四季折々の自然の移ろいを肌で感じられることは、何にも勝る喜びとなりました。

糖尿病は自分自身との戦いです。全面的に薬に頼らず、適度に運動をして自分自身の体調を見極め維持管理することではないでしょうか。

## 食べる楽しみ考

平成25年当たり年会員

鹿沼歯科医師会 佐川徹三

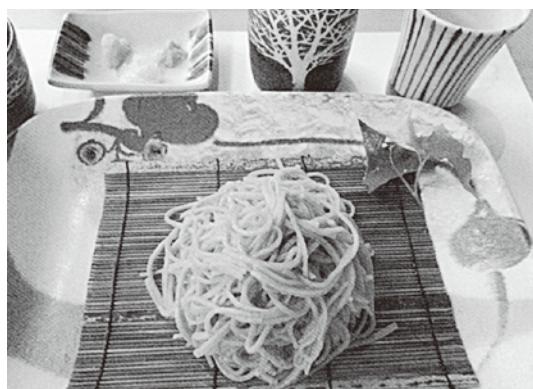
歯科医師会の仕事や、その他にも野暮用があり、休日とは言え、出かけているか何らかの資料作り等に没頭している事が多い。妻も手話関係のボランティアをしており、いい意味で夫婦で切磋琢磨？している感がない訳でもない（笑）娘は少し遠くへ嫁いでおり、息子も大学院の学生であるから、妻との2人暮らしに随分と慣れたが、休日の特別な過ごし方等はあまり考えた事もなく、季節の移ろいを感じながら、「健康が一番ダネ」と取り留めのない会話を楽しんでいるのが実情といった処だろうか。

しかし、いわゆる旨いものと街の散策には2人とも目がなく、東京、横浜や近辺には即断即決で結構出かけており、街歩きのついでにトリュフ犬の如く嗅覚を利かせて、旨いものを探し回る訳だが、今までの情報の蓄積は相当になったと自他共に認めている？

ただ、その中で色々な事がわかってきたし、なるほどと合点がいく事も多々あり、1. 本の紹介やTV等は当てにならない（参考にはなる）、2. 豪華で高い処はあまり旨くない（心が満たされない）、3. 店構えやしつらえの品〔ヒン〕がいいと味もいい（華美で統一性のない処は駄目）、4. スタッフも含め対応のいい処は味もまあまあ（しゃべり過ぎの処はちょっと怪しい）、5. 口コミはある程度信じられる（人の味覚は様々で、エッということも稀にある）、6. 行列の出来る店は確かに旨い（待つ体力の関係か若者向き）、7. 予約の取りにくい店は旨いけど注意（対応が尊大で、それだけでもういいやという処もある）、8. 老舗は確実性が高い（永く続いている所以あり）、9. 和洋に係わらず美味しい店は酒にも拘わっている（むやみやたらに種類が多くりやという事ではない）、10. 明朗会計でなければ絶対駄目（当たり前の事だが、大切）…といった処だ

が、やはり一番は言うまでもなく「空腹が最上のご馳走」「素材が良くて、味付けもシンプルが理想」だと思うし、一人でというのも時には乙だが、妻や家族皆で、更には仲間とワイワイの楽しく語り合いながら、というのも捨てがたい。

そんなことを考えながら休日をばんやりと過ごせた時は実際に行かなくても、頭のリフレッシュに繋がるし、誘惑にまけてふらっと出掛けてしまうのも自然でありたいと願う今日この頃である。



栃歯会報 平成25年(2013)10月15日発行  
【写真の説明】「蕎麦畑」

蕎麦どころの鹿沼市永野地区の蕎麦畑です。  
蕎麦の花が満開でした。

広報委員会 田代高志：撮影・記

## アートトーカー

### ある日、ある時

平成25年当たり年会員

鹿沼歯科医師会 相馬英人

私は昭和56年東北歯科大学（奥羽大学歯学部）を卒業しました。母校保存学教室に籍を置き、保存の勉強をしながら開業医でアルバイトをし4年間を過ごしました。保存科、アルバイト先の先生方には、いろいろと面倒を見ていただき大変お世話になりました。今思えば大学を卒業し歯科医師国家試験に合格したとはいえ、何の考えもなく、ふらふらした医局員でした。保存科、大学には迷惑をかけた医局員であったことだろうと思います。

大学のある福島県郡山市は冬は大変寒く風の強い地であり、冬の朝は路面が凍りつき雪が風に舞い電柱には雪が横に積もるような厳しさです。学生時代を含め10年間住んでいました。

しかし郡山にも遅い春が来ると、開成山公園の桜、三春の滝桜、御靈権峠の山つつじ、磐梯山を背景に菜の花、梅、桜、桃の花がいっせいに咲き乱れます。猪苗代湖畔の木々も緑が芽吹き大変美しく自然豊かです。下宿の2階の窓から見えた安達太良山のなだらかな稜線。少し足をのばせば会津の鶴ヶ城。菜の花、桃の花に雪が残った吾妻小富士すばらしい自然です。休日には海を見に出かけました。いわき市の塩屋崎灯台から見る大海原、小名浜港、わすれられない遠い日の思い出です。いわき市の友人の診療所にも時々遊びに行きました。

そんなすばらしい自然豊かな福島県でしたが一昨年の東日本大震災、福島原子力発電所の放射能事故で一変してしまいました。福島県をはじめ、宮城県、岩手県は完全に破壊されました。今も郡山は放射能が高いそうです。入学生も少ない状態だそうです。多くの同級生、同窓生が被災しました。津波で家も診療室も流されたそうです。なんと言って元気づけていいか言葉がありません。言葉が見付かりません。とにかく頑張るしかないようです。早く福島、宮城、岩手が元気になることを心より願っています。“同級生よ、歳にまげず元気で頑張ってくれ”

## 学生時代の思い出

鹿沼歯科医師会 茂呂尚紀

自分の学生時代の楽しみは連休などで余裕があるときに自動車（ワゴンタイプ）のトランクに布団一式とクーラーボックスを入れて、今で言う車中泊をしながら旅行することでした。大学が東北にあったことから車を運転して青森県と秋田県にまたがる白神山地、岩手県の浄土ヶ浜や龍泉洞、山形の月山や鳥海山など、いろいろな東北各地の名所やその周辺で教えてもらった地元の人だけが知る名所等々を見学していました。

もちろん普通に宿を取りレンタカーやバスツアーやを利用して旅行に行くこともありました。しかし、バスツアーなどの集団見学は決まった場所でしか動き回れず小回りが利かなかったことや見学時間が制限されるといった煩わしさがあり、私は自分の運転で支障が無い距離の旅行は車中泊を利用した旅行がほとんどでした。

車中泊の利点はなにより、その目的地付近で休息宿泊が可能であることです。ホテルや旅館に宿泊する場合、チェックイン・アウトの時間、その目的地への移動手段など何かと時間に拘束されます。車中泊であれば、時間の使い方は自分次第なので好きなように動くことができ途中で気ままに予定を変更して行動できます。

欠点は就寝中事件や事故にあっても誰も助けてくれませんし、トイレや風呂等が無いのでそれらを探す必要があることなどがあげられます。

自分の場合はたいてい夜中高速道路を利用し、事前に調べておいた目的地周辺で車を駐車しても迷惑にならない所で一泊。早朝目的地に到着。周辺の観光や体験コースなどを楽しみ、夕方地元で教えてもらったお店で食事やお土産を購入。その後道路が込まない時間帯をかんがえつて帰宅することが多かったです。もちろん車中泊でもマナーを守ることは必須ですし、全て自己責

任なので真夏の暑い時期や真冬の寒い時期には無理をせず宿を取って休んだほうがいろいろな面から安全でした。

そんな気ままな旅行も最近では思うように時間もとれず日々の雑事を片付けているとあっという間に月日が過ぎていく毎日。全ては自分の段取りの悪さから来ているとはいえ、もう少し効率的な日々の過ごし方を学ばなければならないと思う今日この頃です。



## 会長日誌

- 1月4日 鹿沼市・鹿沼商工会議所共催「新春賀詞交歓会  
於)鹿沼商工会議所アザレアホール
- 1月19日 鹿沼地区保健医療協議会  
於)鹿沼市民情報センター
- 1月23日 鹿沼市休日急患診療所に関する懇談会  
於)鹿沼市民情報センター
- 2月7日 法人改革委員会  
於)栃歯会館
- 2月18日 鹿沼地区保健医療協議会  
於)鹿沼市民情報センター
- 2月28日 全国歯科医師国保組合栃木県支部運営委員会  
栃歯連盟役員会  
都市歯科医師会長会議  
於)栃歯会館
- 3月5日 鹿沼市休日急患診療所に関する懇談会  
於)鹿沼市民情報センター

- 3月11日 鹿沼市健康づくり推進協議会  
於) 鹿沼市民情報センター
- 4月15日 鹿沼市休日急患診療所に関する懇談会  
於) 鹿沼市民情報センター
- 5月9日 ねんりんピック実行委員会設立総会  
於) 鹿沼市民情報センター
- 5月14日 株式会社ナカニシより栃木県歯科医師会への「在宅関連機器」贈呈式  
於) 栃歯会館
- 5月18日 福田とみかず君の政治生活30周年  
を祝う会  
於) 宇都宮グランドホテル
- 5月28日 鹿沼地区保健医療協議会  
於) 鹿沼市民情報センター
- 6月14日 県西健康福祉センター健康危機管理  
連絡会議及び第1回新型インフルエンザ対策県西地域連絡協議会  
於) 県西健康福祉センター
- 6月22日 鹿沼市休日急患診療所建設問題につ  
いての懇談会  
於) 鹿沼市民情報センター
- 6月27日 栃歯連盟役員会  
於) 栃歯会館
- 6月28日 鹿沼警察署被害者支援連絡協議会  
於) 鹿沼警察署
- 7月4日 郡市歯科医師会長会議  
於) 栃歯会館
- 7月4日 県歯役員と郡市会長懇親会  
於) 東日本ホテル宇都宮
- 7月16日 鹿沼市休日・夜間急患診療所運営委  
員会  
於) 鹿沼市民情報センター
- 7月29日 鹿沼市休日・夜間急患診療所並びに  
休日急患歯科診療所の整備に係る打  
合わせ会  
於) 鹿沼市民情報センター
- 8月2日 県西健康福祉センター協議会  
於) 鹿沼市上都賀庁舎
- 8月7日 参議院議員選挙反省会並びに交流会  
於) カスケードガーデン
- 8月22日 上都賀総合病院歯科口腔外科懇談会  
於) 鹿沼市「若駒」
- 8月25日 ねんりんピック栃木2014卓球交流  
リハーサル大会  
於) 鹿沼市 フォレストアリーナ
- 8月28日 鹿沼市休日・夜間急患診療所並びに  
休日急患歯科診療所の整備に係る打  
合わせ会  
於) 鹿沼市民情報センター
- 9月3日 第53回 栃木県公衆衛生大会表彰式  
於) 栃木県総合文化センター
- 9月19日 郡市歯科医師会長会議  
於) 栃歯会館
- 10月31日 栃木県救急・災害医療運営協議会災  
害医療体制検討部会県西地域分科会  
於) 県西健康福祉センター
- 11月10日 神奈川歯科大学同窓会栃木県支部発  
足30周年記念祝賀会  
於) 宇都宮グランドホテル

## 世 相

- |       |  |
|-------|--|
| 政 治   | ・特定秘密保護法 成立  |
| 社 会   | ・出雲大社と伊勢神宮遷宮   |
| 流 行 語 | ・今でしょ！<br>・おもてなし(東京オリンピック2020年決定)<br>・じえじえじえ (あまちゃん)<br>・倍返し (半沢直樹)<br>・アベノミクス |
| 映画・芸能 | ・ふなっしーCM登場で人気に   |
| 流 行 歌 | ・恋するフォーチュンクッキー (AKB48)<br>・しおさいのメモリー   |